



imageFORMULA DR-3010C

ユーザーマニュアル (機能詳細編)



- ◆ご使用前に必ず本書をお読みください。
- ◆将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

■国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの「対象製品に関する基準を満たしている」と判断します。」



■ご注意

- ・本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ・本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

■複製についてのご注意

- ・紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、または公共団体や民間団体発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となり、処罰の対象となります。
- ・書籍、絵画、版画、地図、図面などの著作物の複製は、自己の使用以外の目的でお使いになることは禁じられていますのでご注意ください。

■商標および登録商標について

- ・Microsoft Windows® は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標です。
- ・Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Adobe PDF ロゴ および Adobe Reader は、Adobe System Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- ・ISIS は、EMC Corporation. の米国における商標です。
- ・その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

はじめに

このたびはキヤノンimageFORMULA DR-3010Cスキャナをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本機の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前に本書をよくお読みいただくとともに、お読みになったあとは必ず保管してください。

本書の読みかた

ここでは、本書で使用している記号・表示について説明します。本書をお読みになる前に、ひととおり目を通して、その意味を理解しておいてください。

(→ P.12)

参照ページを表します。カッコ内の数字は、書かれていることについての詳しい説明が記載されているページ数です。



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



お願い

操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。



メモ

操作の参考となることや補足説明が書かれています。必ずお読みください。

目次

はじめに	3
本書の読みかた	3
第1章 お使いになる前に	6
1. 安全にお使いいただくために	6
設置する場所について	6
ACアダプタについて	7
本機の移動について	7
日常の取り扱いについて	7
廃棄する場合について	8
2. 本機の特長	8
3. 各部の名称と機能	10
第2章 本機の準備をする	12
1. 本機の動作環境	12
2. ソフトウェアをインストールする	13
セットアップディスクについて	13
ソフトウェアのインストール	14
コンピュータと接続する	17
3. 電源を入れる	18
本機の認識	18
第3章 本機の使いかた	19
1. 原稿について	19
2. スキャナの準備	21
トレイの準備	21
排紙ストッパーの準備	21
3. 原稿のセット	22
分離給紙の手順	22
非分離給紙の手順	23
カードのセット	24
半折り原稿のセット	25
4. スキャン方法	26
CapturePerfect 3.0 によるスキャン	26
ジョブ機能によるスキャン	28
スキャンパネルについて	29
目的別にスキャンする	30
原稿の文字を鮮明にする	30
カラー / 白黒が混在した原稿をスキャンする	30

サイズが異なる原稿を混在でスキャンする.....	31	モアレ（縞模様）の除去.....	59
原稿の裏面などの白紙面を読み飛ばす.....	31	読み取り領域の調整.....	59
A3 サイズの原稿（片面）をスキャンする.....	31	明るさ / コントラストの調整.....	61
画像の傾きを補正してスキャンする.....	32	ガンマカーブの設定.....	62
モアレ（縞模様）を除去する.....	32	画像の輪郭の調整.....	63
文字方向が異なる原稿を修正してスキャンする.....	32	画像の回転.....	63
薄い原稿や裏面の濃い原稿の裏写りを低減する.....	32	文字向き検知.....	64
指定した色（赤・青・緑）の枠線や罫線を削除する.....	32	裏写り / 原稿の地色の除去.....	64
白黒スキャンでの印影を鮮明にする.....	32	特定の色を読み飛ばす.....	65
サイズが小さいファイルを作成する.....	33	赤色を強調する.....	65
原稿のテキストデータを検索キーワードとして残す.....	33	読み取り中断時の処理の設定.....	66
PDF ファイルにセキュリティを設定する.....	33	原稿の重送検知.....	66
5. こんなときは.....	33	給紙オプションについて.....	67
6. 紙つまり / 重送検知の処理.....	34	プレスキャン.....	68
7. その他の機能.....	36	読み取り条件の登録.....	69
長尺モードの設定.....	36	バージョンの確認.....	69
第 4 章 CaptureOnTouch の操作.....	38	第 6 章 ジョブ登録ツールの設定.....	70
1. CaptureOnTouch とは.....	38	1. ジョブ登録ツールの起動.....	70
2. CaptureOnTouch の起動と終了.....	39	2. ジョブ登録ツール設定ダイアログボックス.....	71
終了するには.....	40	ジョブ登録ツールダイアログボックス.....	71
再起動するには.....	40	新規 / 編集ダイアログボックス.....	71
3. スキャナ設定.....	40	アプリケーション起動の設定.....	75
基本項目の設定.....	41	管理ダイアログボックス.....	77
4. 出力方法の設定.....	42	登録ジョブ一覧の印刷.....	79
5. おまかせスキャン.....	44	第 7 章 メンテナンス.....	80
6. ジョブ選択スキャン.....	46	1. 日常のお手入れ.....	80
ジョブの登録と編集.....	46	本体の清掃.....	80
ジョブを選択してスキャンする.....	48	本体内部の清掃.....	80
7. 環境設定.....	50	読み取りガラスとローラーの清掃.....	81
[基本設定] タブ.....	50	2. ローラーと原稿押えガイドの取り外し / 取り付け.....	83
[メール設定] タブ.....	51	ローラーの交換時期.....	83
第 5 章 ISIS/TWAIN ドライバの設定.....	52	フィードローラーの取り外し / 取り付け.....	83
1. お使いになる前に.....	52	リタードローラーの取り外し / 取り付け.....	85
2. ISIS/TWAIN ドライバ設定ダイアログボックス.....	53	原稿押えガイドの取り外し / 取り付け.....	87
読み取りモードの設定.....	54	カウンタのリセット.....	87
カラー / 白黒原稿の自動検知.....	55	第 8 章 トラブルシューティング.....	89
用紙サイズの設定.....	56	1. お問い合わせの多いトラブル.....	89
読み取る解像度の設定.....	57	2. ソフトウェアの操作で困ったときは.....	91
読み取り面の設定.....	57	3. Q & A（役立つヒント集）.....	91
斜めに読み取られた画像の補正.....	58		

4. ソフトウェアをアンインストールする	93
ISIS/TWAIN ドライバ / CaptureOnTouch / ジョブ登録 ツールのアンインストール	94
CapturePerfect 3.0 のアンインストール	95
5. 給紙トレイの取り外し	95
第9章 付録	97
仕様	97
仕様	97
交換部品	98
外形寸法図	99
保証とアフターサービス	99
修理受付窓口	100
サービス&サポートのご案内	101
保守サービスのご案内	102
アドビシステムズ社製品について	103
索引	104

第1章 お使いになる前に

1. 安全にお使いいただくために.....	6
設置する場所について.....	6
ACアダプタについて.....	7
本機の移動について.....	7
日常の取り扱いについて.....	7
廃棄する場合について.....	8
2. 本機の特長.....	8
3. 各部の名称と機能.....	10

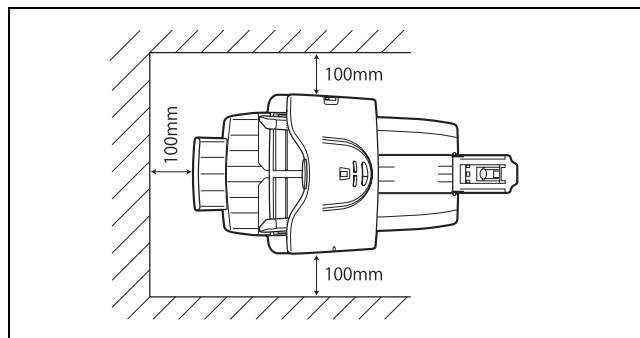
1. 安全にお使いいただくために

本機を安全にお使いいただくため、以下の項目についての注意事項を必ずお読みください。

設置する場所について

本機の性能は、設置されている環境によって影響を受けることがあります。設置する場所が、次の環境条件に合っていることを確認してください。

- 本機の周りには操作、保守、換気のためのスペースを十分確保してください。



- 本機前方に読み取った原稿を排紙するためのスペースを十分確保してください。
- 直射日光が当たる場所は避けてください。やむをえない場合は、厚いカーテンなどで日光をさえぎってください。
- ほこりの多い場所は避けてください。ほこりは本体内部に悪影響を及ぼすことがあります。
- 水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所は避けてください。
- 不安定な場所や、振動しやすい場所は避けてください。
- 温度が急激に変化する場所は避けてください。本体内部で結露が発生すると、品質低下の原因になります。以下の環境下でお使いください。

室温 10℃～32.5℃
湿度 20～80% (RH)

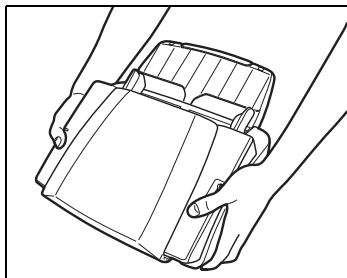
- スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気が発生する機器の近くは避けてください。

AC アダプタについて

- 電源は必ず 100V のコンセントからとってください。
- 他の電気機器と同じコンセントを使用しないでください。また、延長コードを使う場合は、延長コードのアンペア数値に注意してください。
- AC アダプタの分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- AC アダプタおよび電源コードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードを強く引っ張らないでください。電源プラグを抜くときは、電源プラグを持ち、そのまま抜いてください。
- 非常時に電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。
- 付属の AC アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の AC アダプタを他の製品に使用しないでください。
- 電源について不明な点があるときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

本機の移動について

- 本機を移動する場合は、本機を落とさないように必ず両手でしっかり持ってください。本機の質量は約 2.9kg です。
- 本機を移動する場合は、インターフェースケーブルや AC アダプタを、必ず外しておいてください。ケーブル類を付けたまま持ち運ぶと、無理な力が加わってプラグやコネクタが損傷することがあります。



日常の取り扱いについて



警告

本製品をお使いになるときは、次の警告をお守りください。これらは火災や感電の原因になります。

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くには設置しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- タコ足配線をしないでください。
- 電源コードを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。
- 付属の電源コード、AC アダプタ以外は使用しないでください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
- AC アダプタの分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- 本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 清掃の際は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機の清掃には、水を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。
- 異常音、発煙、発熱、異臭があったり、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一、本機が破損した場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

- 本機の上には、クリップ、ステイプルの針、ネックレスなどの金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ると火災や感電の原因になることがあります。万一、これらが本機の中に入ってしまった場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてご購入求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 本機の上には物を載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
- AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などで、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。
- 本機の内部に、水や引火性溶剤（アルコール、シンナー、ベンジンなど）をこぼさないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ず AC アダプタのプラグを本体から抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などにご注意ください。万一、巻き込まれた場合は、直ちに電源スイッチを切って機械を停止してください。
- 原稿をセットするときや、詰まった紙を取り除くときは、慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

廃棄する場合について

- 本機を廃棄するときは、必ず法律およびその地域の条例に従って廃棄するか、ご購入求めの販売店にご相談ください。

2. 本機の特長

DR-3010C の主な特長は以下のとおりです。

- **コンパクトサイズ**
幅 310mm × 高さ 230mm × 奥行き 583mm（トレイを開いた状態）のコンパクトなサイズです。
（トレイを閉じた状態では、幅 310mm × 高さ 197mm × 奥行き 292mm）
- **高速原稿給紙**
小型ながら名刺サイズから A4 までの原稿を最大 30 枚 / 分で読み取ります。
・ 読取条件：白黒 / カラー / A4 縦 / 片面 / 両面 / 200dpi
- **高画質**
光学解像度 600dpi センサの採用により、原稿を高画質で読み取ることができます。
- **排紙トレイ**
読み取った原稿をそろえたいときなどに排紙トレイを開きます。排紙トレイを開かなくても、読み取った原稿を排紙することができます。
- **USB 連動スイッチ**
コンピュータの電源のオン、オフと連動して本機の電源をオン、オフすることができます。
- **USB2.0 インタフェース**
Hi-Speed USB2.0 に対応します。
- **カラー / グレースケール対応**
原稿を 24 ビットカラーや 256 階調グレースケールで読み取ることができます。
- **多様な読み取りモードをサポート**
原稿の種類によって、以下のようなさまざまな読み取りモードに対応しています。
・ 片面または両面モード
・ 連続または一枚
- **カードスキャン**
ISO7810/JIS 規格に準拠したサイズのカードをスキャンすることができます。
- **自動原稿サイズ検知**
読み取った原稿のサイズを自動的に検知して、定形外の原稿も原稿のまわりの余分なスペースを省いて保存します。
- **カラー原稿自動検知**
読み取った原稿がカラーか白黒かを自動判別して、原稿に合わせた形式で画像を保存します。

- **半折りスキャン**
半折りにした原稿をそのままセットし、両面スキャンをして読み取った2枚の画像を1枚の画像に合成します。
- **斜行補正**
原稿が斜めに給紙された場合に、スキャンされた画像をまっすぐに補正します。
- **超音波重送検知**
重なって給紙された原稿と原稿の隙間を超音波で検知したときに重送と判断して搬送を停止します。
- **文字強調モード**
背景が濃い原稿や、背景が均一でない原稿を読みやすくするアドバンステキストエンハンスメントモードと、背景が均一で文字、背景ともに薄い原稿の文字を読みやすくするアドバンステキストエンハンスメントⅡモードを備えています。
* 原稿によっては、有効に機能しない場合があります。
- **ドロップアウトカラー**
原稿の中の特定の色を読み取らないようにする（ドロップアウト）機能と赤色強調機能を備えています。
- **自動白紙スキップ機能**
原稿が片面であるか両面であるかを気にせずにスキャンができる、自動白紙スキップ機能を備えています。
- **プレスキャン機能**
読み取りをする前にプレスキャンをして、プレスキャンした画像で明るさとコントラストを調整してから読み取りをします。
- **ジョブ機能**
本体の操作パネルでスキャンを実行し、指定した方法（保存、印刷、メール添付など、9個まで登録可能）で自動処理します。ジョブ機能の詳細は、「第6章 ジョブ登録ツールの設定（→P.70）」を参照してください。
- **おまかせスキャン**
ジョブ番号1を選んでスタートキーを押すと CaptureOnTouch が起動し、画面の指示に従って簡単な操作でスキャンができます。
- **自動スタート**
原稿を給紙口にセットすると、原稿を検知して自動的にスキャンを開始する自動スタート機能を備えています。
- **感圧紙対応**
感圧紙もスキャンすることができます。
- **スリープモード**
スキャン実行時以外は、スリープモードに移行する省エネ設計です。
- **バーコード検知**
オプションのバーコードモジュールをインストールすることにより、原稿内のバーコードを検知することができます。



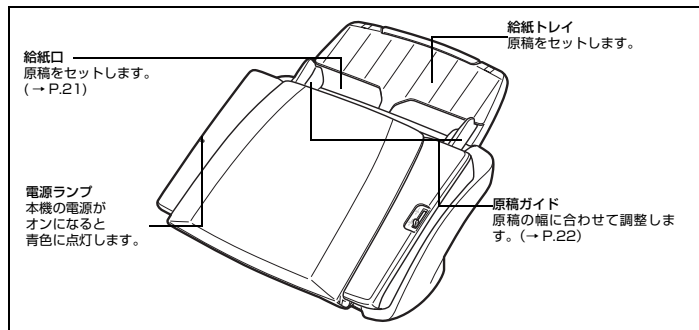
メモ

記載されている機能は、お使いのアプリケーションソフトウェアによっては使用できない場合があります。

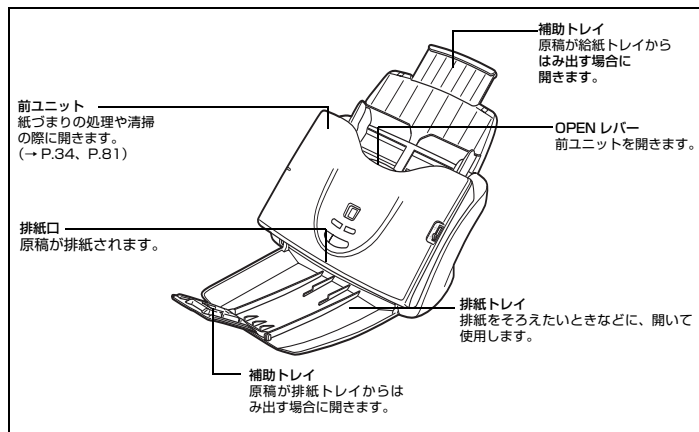
3. 各部の名称と機能

DR-3010C の各部の名称と機能について説明します。本機を使用する前にご確認ください。

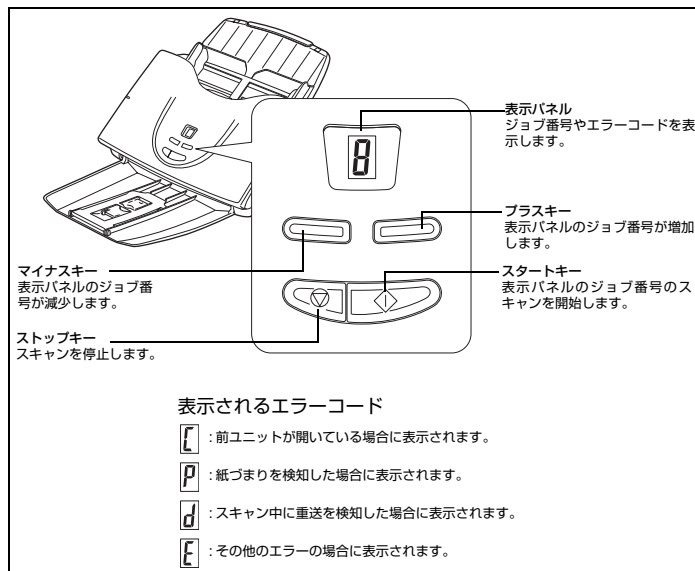
■前面・右側面



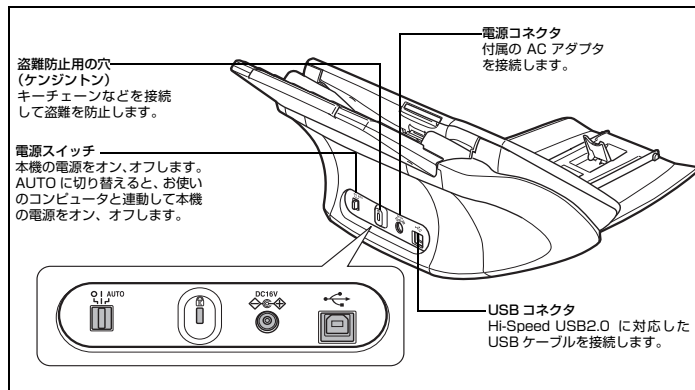
■前面 (給紙トレイと排紙トレイを開いた状態)



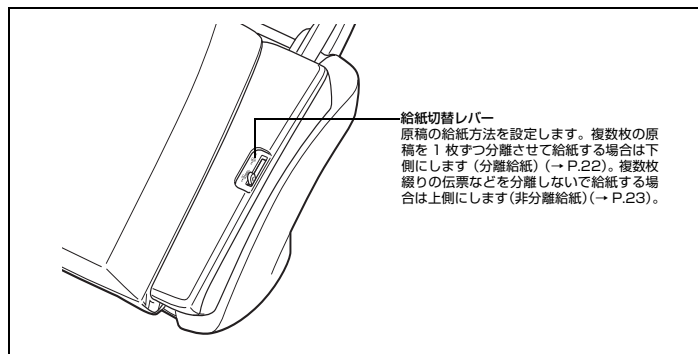
■操作パネルについて



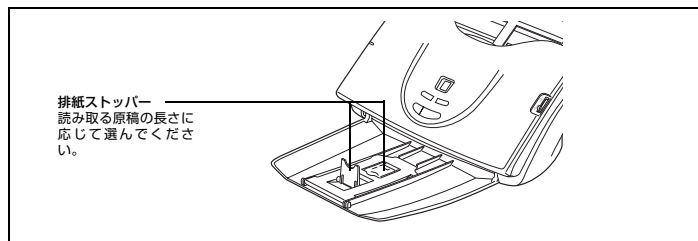
■背面



■給紙切替レバーについて



■排紙ストッパーについて



第2章 本機の準備をする

1. 本機の動作環境.....	12
2. ソフトウェアをインストールする.....	13
セットアップディスクについて.....	13
ソフトウェアのインストール.....	14
コンピュータと接続する.....	17
3. 電源を入れる.....	18
本機の認識.....	18

1. 本機の動作環境

本書に記載されている仕様を満たし、DR-3010C を快適にお使いいただくためには次のシステム要件を推奨します。

- オペレーティングシステム
 - ・ Microsoft Windows 2000 Professional SP4 以上
 - ・ Microsoft Windows XP Professional SP3 以上
 - ・ Microsoft Windows XP Home Edition SP3 以上
 - ・ Microsoft Windows XP Professional x64 Edition SP2 以上
 - ・ Microsoft Windows Vista Home Basic (32 ビット版、64 ビット版) SP1 以上
 - ・ Microsoft Windows Vista Home Premium (32 ビット版、64 ビット版) SP1 以上
 - ・ Microsoft Windows Vista Business (32 ビット版、64 ビット版) SP1 以上
 - ・ Microsoft Windows Vista Ultimate (32 ビット版、64 ビット版) SP1 以上
 - ・ Microsoft Windows Vista Enterprise (32 ビット版、64 ビット版) SP1 以上
- パーソナルコンピュータ
 - ・ CPU : Intel Pentium4 3.2GHz 以上
 - ・ メモリ : 1GB 以上
 - ・ ハードディスク : 1GB 以上の空き容量
 - ・ CD-ROM ドライブ
 - ・ Hi-Speed USB2.0
 - ・ モニタ : 解像度 1024 × 768(XGA) 以上
- 上記のシステム環境で正常に動作する ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェア。



お願い

- お使いのコンピュータのシステム要件が不明な場合には、コンピュータをお買い求めになった販売店またはコンピュータメーカーのサポート窓口にお問い合わせください。
- USB2.0 ドライバは、マイクロソフト社から提供されている最新のドライバをお使いください。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- USB インタフェースは、コンピュータに標準装備された USB ポートを使用してください。ただし、コンピュータに標準装備されたすべての

USB インタフェースにおいて、動作を保証するものではありません。
詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

- コンピュータに標準装備された USB インタフェースが USB Full-Speed(USB1.1 相当) の場合、スキャン速度が低下します。
- USB ケーブルは、同梱品をお使いください。
- CPU、メモリ、インタフェースカードなど、コンピュータの推奨仕様を満たさない場合は、スキャン速度が大幅に低下したり、転送速度に時間を要する場合があります。
- コンピュータの推奨仕様を満たしている場合でも、読み取りの設定によっては、スキャン速度が低下する場合があります。
- 同梱されている ISIS/TWAIN ドライバは、すべての ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェアで動作するとは限りません。詳細についてはアプリケーションソフトウェアの販売元にお問い合わせください。

2. ソフトウェアをインストールする

ソフトウェアのインストールについて説明します。

セットアップディスクについて

DR-3010C のセットアップディスクには、以下のソフトウェアが収納されています。

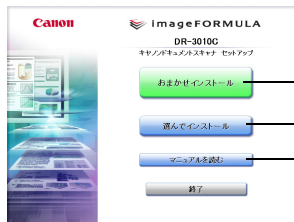
- CaptureOnTouch
本製品専用のスキャニングユーティリティです。
- DR-3010C ドライバ/ジョブ登録ツール
DR-3010C を使用するためのスキャナドライバと、ジョブを登録・設定するためのツールです。
- CapturePerfect 3.0
キヤノンドキュメントスキャナ用に開発された、ISIS互換アプリケーションです。



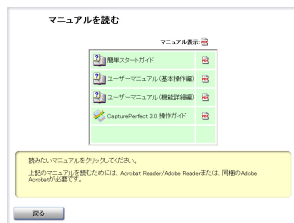
メモ

DR-3010C のセットアップディスクは、以下の構造になっています。ソフトウェアのインストールは、「おまかせインストール」または「選んでインストール」から実行します。

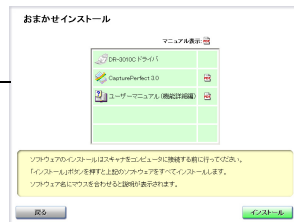
メニュー画面



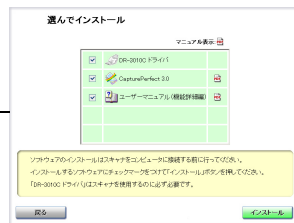
マニュアルを読む



おまかせインストール



選んでインストール



ソフトウェアのインストール

以下の手順でソフトウェアをインストールします。



お願い

- 本機とコンピュータを接続する前にソフトウェアをインストールしてください。
- Administrator 権限のアカウントでログオンしてください。
- ほかのアプリケーションをすべて終了させてからソフトウェアをインストールしてください。

- 1 コンピュータの電源をオンにします。
- 2 DR-3010C のセットアップディスクを CD ドライブにセットします。
- 3 「おまかせインストール」をクリックします。

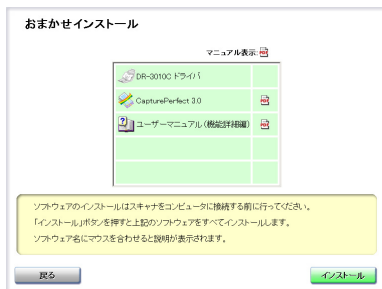




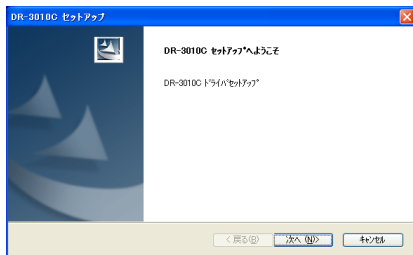
メモ

「おまかせインストール」では、表示されているソフトウェアとユーザーマニュアルを続けてインストールします。アンインストールしたソフトウェアを再インストールするときには、「選んでインストール」をクリックして、アンインストールしたソフトウェアを再インストールします。

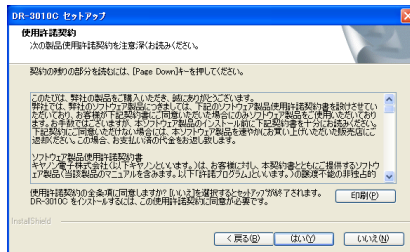
4 「インストール」をクリックします。



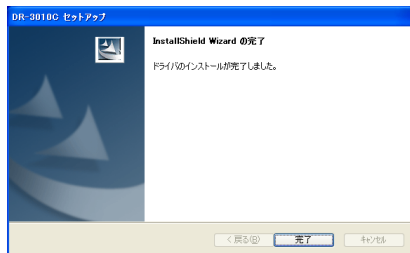
5 「次へ」をクリックします。



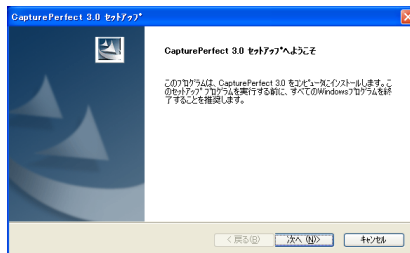
6 「使用許諾契約」を読み、同意いただける場合は [はい] をクリックします。



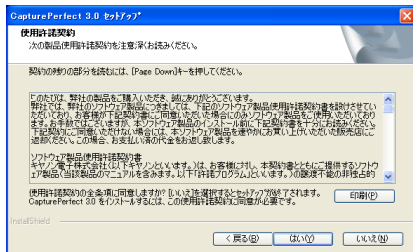
7 ドライバのインストールが完了したら、[完了] をクリックします。



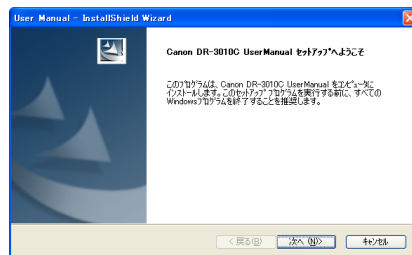
8 「次へ」をクリックします。



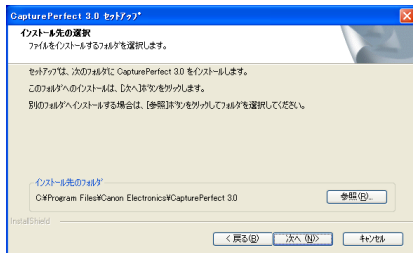
9 「使用許諾契約」を読み、同意いただける場合は [はい] をクリックします。



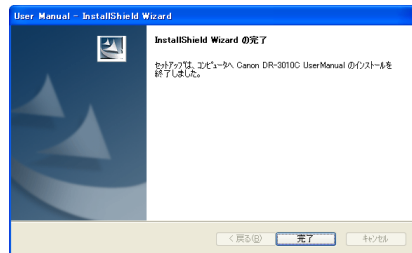
12 [次へ] をクリックします。



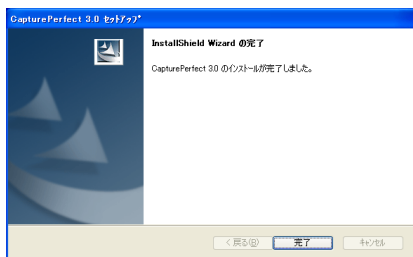
10 インストール先を確認し、[次へ] をクリックします。



13 ユーザーマニュアルのインストールが完了したら [完了] をクリックします。



11 「CapturePerfect 3.0」のインストールが完了したら [完了] をクリックします。



14 [終了] をクリックしてソフトウェアのインストールを終了します。



15 DR-3010C のセットアップディスクを CD ドライブから取り出します。

コンピュータと接続する

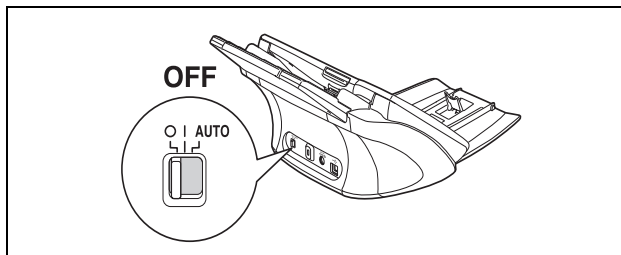
本機をコンピュータと接続します。



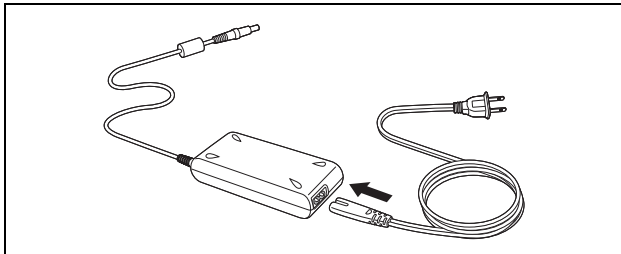
お願い

コンピュータと接続する前に本機の電源スイッチがオフになっていることを必ず確認してください。電源スイッチがオンになっているときは、オフにしてください。

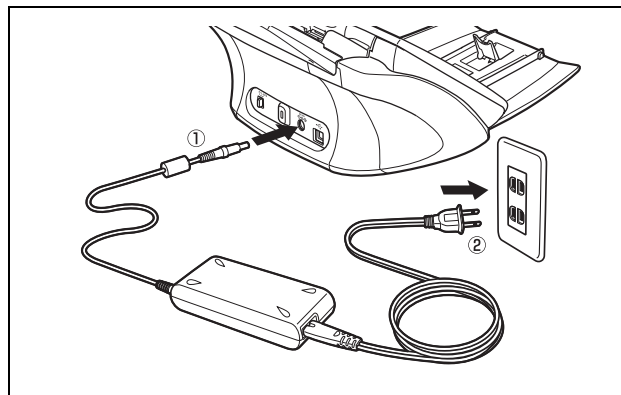
1 本機の電源スイッチがオフになっていることを確認します。



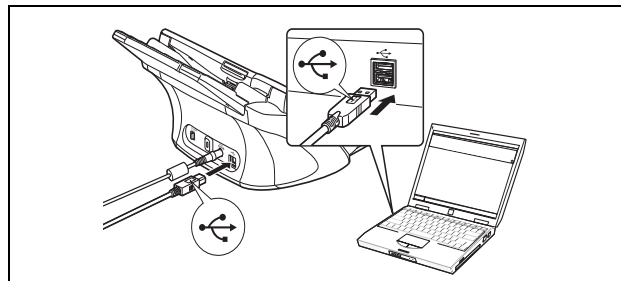
2 電源コードを AC アダプタに接続します。



3 AC アダプタのプラグを本機背面の電源コネクタに接続します。



4 付属の USB ケーブルで本機をコンピュータと接続します。



3. 電源を入れる

本機の電源スイッチをオンにすると、プラグアンドプレイ機能により Windows が本機を認識し、デバイスドライバを自動でインストールします。



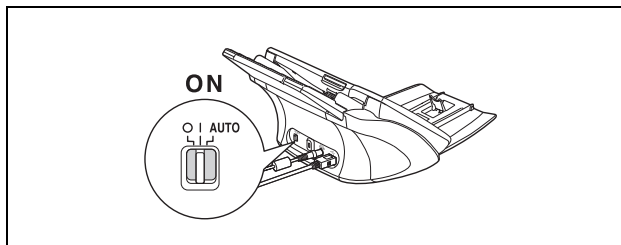
お願い

- 本機の電源スイッチをオフにし、再度電源スイッチをオンにするときには 10 秒以上待ってから電源スイッチをオンにしてください。
- 長時間ご使用にならないときは安全のため、必ず電源スイッチをオフにして電源プラグをコンセントから抜いてください。

本機の認識


本機の認識は、コンピュータに初めて接続したときに認識されます。

- 1 本機とコンピュータの接続を確認します。
- 2 本機背面の電源スイッチを切り替えて本機の電源をオンにします。



- 3 Windows が DR-3010C を新しいハードウェアとして、自動で認識します。



スキャナがコンピュータに正常に接続されているときは、タスクバー（メニューバー）の  (CaptureOnTouch) アイコンが次のように表示されます。



メモ

本機背面の電源スイッチを「AUTO」に切り替えると、お使いのコンピュータと連動して本機の電源をオン、オフします。

第3章 本機の使いかた

1. 原稿について.....	19
2. スキャナの準備.....	21
トレイの準備.....	21
排紙ストッパーの準備.....	21
3. 原稿のセット.....	22
分離給紙の手順.....	22
非分離給紙の手順.....	23
カードのセット.....	24
半折り原稿のセット.....	25
4. スキャン方法.....	26
CapturePerfect 3.0 によるスキャン.....	26
ジョブ機能によるスキャン.....	28
スキャンパネルについて.....	29
目的別にスキャンする.....	30
5. こんなときは.....	33
6. 紙づまり / 重送検知の処理.....	34
7. その他の機能.....	36
長尺モードの設定.....	36

1. 原稿について

本機は、名刺、小切手などの大きさから A4 サイズまでの原稿を読み取ることができます。読み取ることができる原稿の大きさは以下のとおりです。

普通紙

サイズ

幅 : 50 ~ 216mm

長さ : 53.9 ~ 356mm*

紙厚

分離給紙の場合

52 ~ 209g/m² (0.06 ~ 0.25mm)

非分離給紙の場合

40 ~ 209g/m² (0.05 ~ 0.25mm)

* スキャナ本体の設定を長尺モードに設定することにより、最大 1,000mm までの原稿をスキャンすることができます。(→ P.36 「長尺モードの設定」)



お願い

読み取る原稿には一定の基準があります。次の項目をよくお読みください。

- 複数枚のサイズが異なる原稿を一度に読み取るときは、原稿がフィードローラーの全幅にかかるようにセットしてください。
- 297mm (A4 サイズ) を超える原稿は、1 枚給紙を推奨します。
- インクが乾いていない原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。必ず乾かしてから読み取りを行ってください。
- 鉛筆などで書かれた原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。このような原稿を読み取ったあとは、スキャナの内部を清掃してください。
- 薄い紙の両面原稿を読み取る場合、読み取ったときに裏写りすることがあります。あらかじめアプリケーションソフトウェアで読み取る明るさを調整し、裏写り、地色除去機能をドライバで設定してから実行してください。
- 薄い紙は、1 枚給紙を推奨します。
- 次のような原稿を読み取ろうとすると、紙づまりや故障の原因になりますのでご注意ください。このような原稿を読み込むときは、複写機でコピーしてから読み取ってください。



しわや折り目が入っている。



カーボン紙。



カール (巻き付け) がある。



表面がコーティングされている。



破れている。



半透明の薄紙など極端に薄い。



クリップやスティップルの針が付いている。



四角いとじ穴がある。

名刺

サイズ

幅 50mm × 長さ 53.9mm 以上

紙厚

300g/m² (0.35mm) 以下



お願い

名刺の束をセットして正常に搬送できない場合は、セットする名刺の枚数を減らしてください。

カード

サイズ

53.9mm × 85.5mm (ISO7810/JIS 規格準拠)

カード厚

0.76mm 以下

挿入方向

横送りのみ

エンボス付き

可能



注意

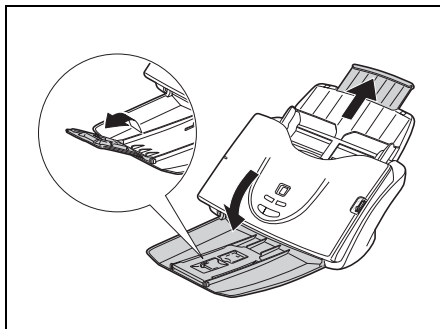
- カードを縦方向にセットすると搬送時にカードに負荷がかかり、正常に排出されない場合があります。また、エラーになったカードを取り除くときは、カードが損傷することがありますので、カードをセットするときは十分注意してください。
- エンボス付きのカードは、エンボスの状態によっては適切な画像が得られない場合があります。

2. スキャナの準備

原稿のサイズや種類に応じて給紙トレイを準備します。

トレイの準備

読み取る原稿のサイズに合わせてトレイを準備します。

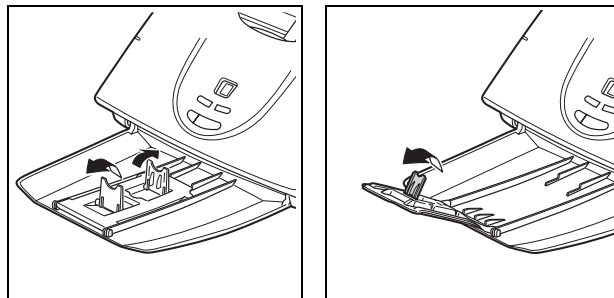


メモ

- 排紙トレイは閉じた状態でもスキャンできます。
- 排紙された原稿をそろえたいときなどは排紙トレイを開いて使用してください。
- 補助トレイは、原稿が排紙トレイからはみ出すときに開いて使用してください。

排紙ストッパーの準備

読み取る原稿の長さに応じて排紙ストッパーを使用します。



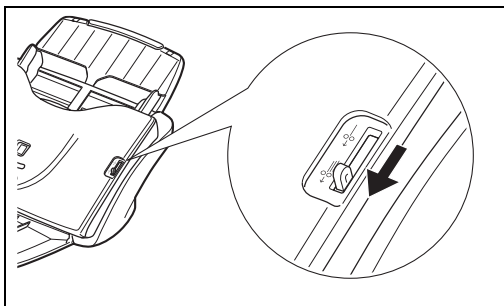
3. 原稿のセット

原稿の給紙方法には、セットした複数枚の原稿を1枚ずつ分離しながら連続給紙する「分離給紙」と、原稿を1枚ずつ手差しで給紙および複数枚綴りの伝票を、とじたまま読み取ることができる「非分離給紙」があります。

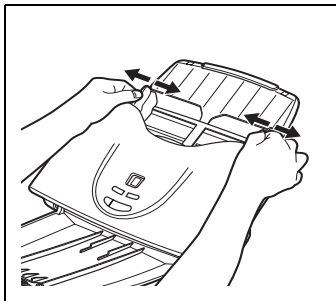
原稿の給紙方法は、給紙切替レバーの操作によって切り替えます。

分離給紙の手順

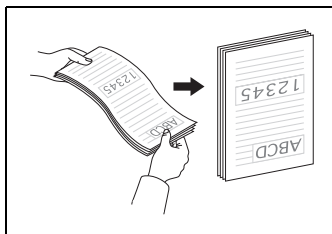
- 1 給紙切替レバーを「分離給紙 ()」に切り替えます。



- 2 読み取る原稿の幅に原稿ガイドを合わせます。



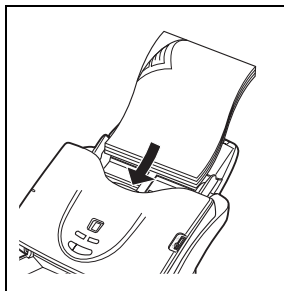
- 3 読み取る原稿の束をさばき、先頭ページの上側（原稿正面の下側）が最も低くなるようにずらしします（原稿は上側を下に向けてセットします）。




注意

原稿をセットするときは慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど思わぬけがをすることがあります。

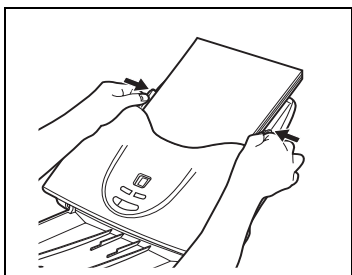
- 4 原稿のうら面を手前に向け、原稿の上側を下に向けてセットします。



お願い

原稿ガイドには積載制限マーク () があります。このマーク（一般的なコピー用紙：80g/m² の用紙で約 50 枚の厚さ）以上に原稿をセットしないでください。紙づまりの原因になります。

5 原稿の幅に合わせて原稿ガイドを調整します。



メモ

スキャンを始める前に、原稿が正しくセットされていることを確認してください。原稿が丸まっていたり、折れている状態でスキャンを行うと原稿が破損することがあります。

6 アプリケーションソフトウェアを利用して読み取りを開始します。

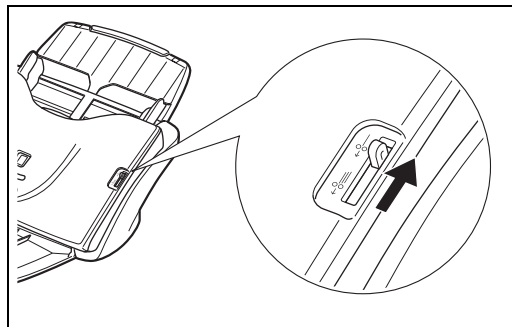


お願い

- 原稿をセットする前に、クリップやステイプルの針などが紛れ込んでいないか、必ず確認してください。万一、これらが紛れ込んでいると、大事な原稿が破れたり、紙づまりが発生するなど、本機の故障の原因になります。
- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれて、けがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などにはご注意ください。万一、巻き込まれた場合は、直ちに電源プラグを本体から抜いて本機を停止してください。
- 原稿の先端がカールしていると原稿が折れたり、紙づまりの原因になります。カールが大きい場合は、カールを矯正してから本機にセットしてください。
- 読み取り中に、システムエラーまたは紙づまりによって給紙が停止した場合は、処理をしたあと、給紙している原稿の最後のページが正しく記録されていることを確認してから読み取り作業を続けてください。
- 読み取りが終了し、スキャナを使用しないときは、本機の損傷を防ぐために給紙トレイと排紙トレイを閉じてください。

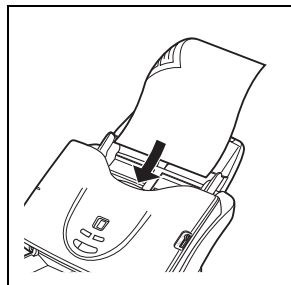
非分離給紙の手順

1 給紙切替レバーを「非分離給紙 (✚)」に切り替えます。



2 読み取る原稿の幅に原稿ガイドを合わせます。(→ P.22)

3 原稿のうら面を手前に向け、原稿の上側を下に向けてセットします。(→ P.22)



4 アプリケーションソフトウェアを利用して読み取りを開始します。

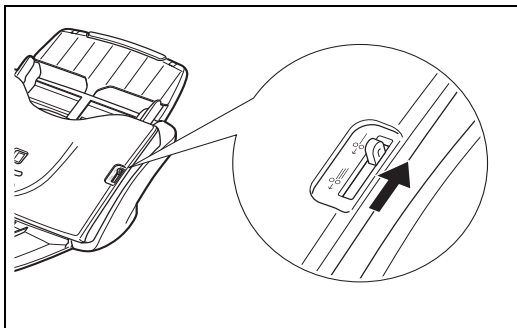


お願い

- 複数枚綴りの伝票などをセットするときは、とじてある側を下に向けてセットしてください。
- 読み取りが終了し、スキャナを使用しないときは、本機の損傷を防ぐために排紙トレイを閉じてください。

カードのセット

- 1 給紙切替レバーを「非分離給紙 (♪)」に切り替えます。



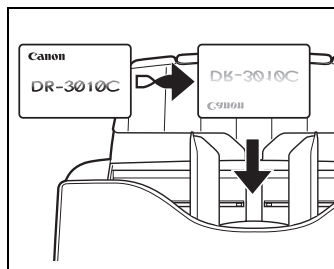
注意

カードを読み取るときは、給紙切替レバーを「非分離給紙」に切り替えて、必ず1枚ずつ読み取ってください。

- 2 読み取るカードの幅に原稿ガイドを合わせます。(→ P.22)

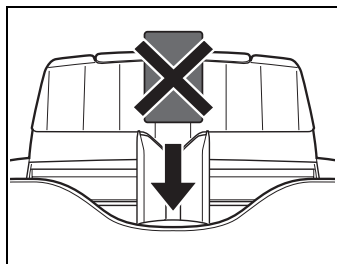
3

カードを横向きにして裏返し、上端を下にしてセットします。



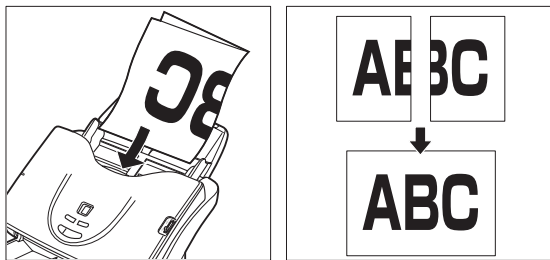
注意

カードを縦方向にセットすると搬送時にカードに負荷がかかり、正常に排出されない場合があります。また、エラーになったカードを取り除くときは、カードが損傷することがありますので、カードをセットするときは十分注意してください。



半折り原稿のセット

給紙口にセットすることができない A4 サイズより大きい原稿（最大 A3 サイズ）を読み取る方法として「半折りスキャン」があります。半折りスキャンでは、原稿を半折りにしてセットし、半折り原稿の両面を読み取ってできた表裏の画像を 1 つの画像に合成します。



お願い

- 原稿を折るときは、原稿の左右の端を揃えて、折り目をしっかり付けてください。原稿の折り方によっては、紙つまりや画像のズレの原因になります。
- 折り目の部分は、画像の一部が欠落します。折り目に文字や写真などがある原稿をスキャンするときは注意してください。
- 半折り原稿は非分離給紙でスキャンします。原稿は 1 枚ずつセットしてください。
- 原稿ガイドは原稿の幅に合わせてください。原稿ガイドの位置が広くなっていると斜行、画像のズレの原因になります。



メモ

- 半折り原稿をスキャンする場合は、給紙切替レバーを「非分離給紙」に切り替えます。
- 半折り原稿をセットするときは、折り目を右側にして本機にセットします。半折り原稿の手前になる面の画像が、合成された画像の右半分になります。

- 半折り原稿をスキャンする場合は、ISIS/TWAIN ドライバの [基本] タブをクリックし、[読み取り面] ボックスの [半折り] をクリックして、[OK] をクリックします。（「第 5 章 ISIS/TWAIN ドライバの設定 読み取り面の設定（→ P.57）」）
- 合成される画像は最大 A3 サイズの画像です。非定形サイズの原稿を半折りスキャンする場合は、ISIS/TWAIN ドライバの [基本] タブをクリックし、[用紙サイズ] ボックスの [自動検知] をクリックして、[OK] をクリックします。
- 半折り原稿をスキャンする場合は、超音波重送検知が使用できません。

4. スキャン方法

DR-3010C のスキャン方法には、アプリケーションを起動してスキャンをするほかに、スタートキーを押すだけでスキャンができる CaptureOnTouch やジョブ機能があります。ここでは、同梱されている「CapturePerfect 3.0」、「ジョブ機能」、目的別スキャンの概要について説明します。スキャン設定の詳細については、「第 5 章 ISIS/TWAIN ドライバの設定 (→ P.52)」を参照してください。



メモ

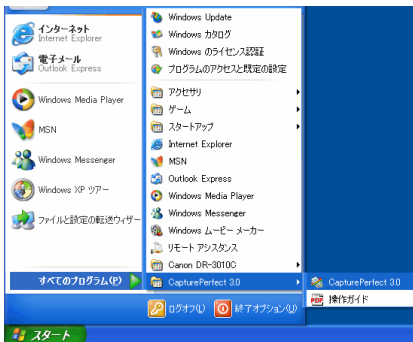
CaptureOnTouch については、「第 4 章 CaptureOnTouch の操作」で詳しく説明しています。

CapturePerfect 3.0 によるスキャン

ここでは、CapturePerfect 3.0 の起動からスキャナを選ぶまでの手順と、「スキャンバッチファイル」によるスキャンまでの手順について説明します。

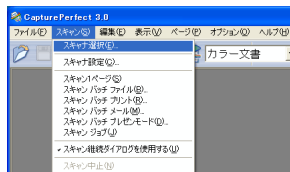
詳細については、「CapturePerfect 3.0 操作ガイド」またはヘルプを参照してください。

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] をクリックします。
次に [CapturePerfect 3.0] をクリックし、[CapturePerfect 3.0] をクリックします。



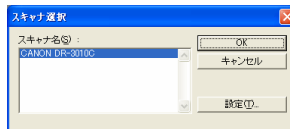
2

[スキャン] メニューの [スキャナ選択] をクリックします。



3

[CANON DR-3010C] を選択し、[OK] をクリックします。

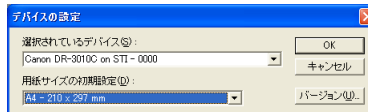


メモ

[CANON DR-3010C] が表示されないときは、ISIS/TWAIN ドライバを再インストールしてください。(「第 2 章 本機の準備をする 2. ソフトウェアをインストールする (→ P.13)」)

4

用紙サイズの初期サイズを設定します。

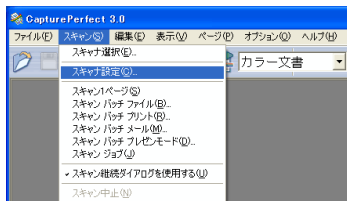


メモ

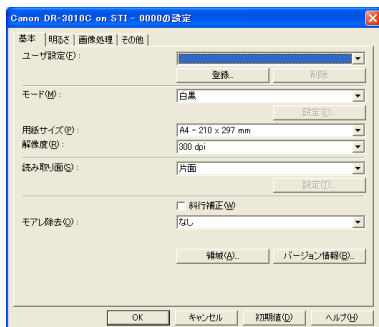
- [デバイスの設定] ダイアログボックスは、[スキャナ選択] ダイアログボックスで [CANON DR-3010C] をはじめて選んで [OK] をクリックしたとき、および [スキャナ選択] ダイアログボックスの [設定] をクリックすると表示されます。

- ISIS ドライバの設定ダイアログボックスで [初期値] をクリックしたときに、ここでの設定が反映されます。
- TWAIN ドライバの場合、初期値は「A4」に設定され、変更することはできません。

5 [スキャン] メニューの [スキャナ設定] をクリックします。

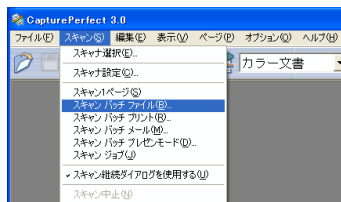


6 読み取り条件を設定します。読み取り条件の設定については、「第5章 ISIS/TWAIN ドライバの設定 (→ P.52)」を参照してください。



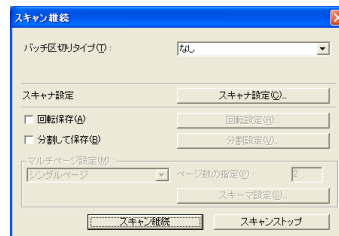
7 原稿をセットします。(→ P.22 「3. 原稿のセット」)

8 [スキャン] メニューの [スキャンバッチファイル] をクリックします。

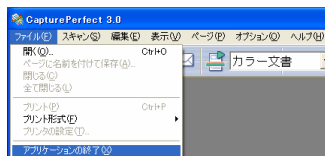


9 保存する場所、保存するファイル名、ファイル形式を設定し、[保存] をクリックしてスキャンを開始します。

10 セットした原稿がなくなるとスキャンが中断し、[スキャン継続] ダイアログボックスが表示されます。スキャンを継続する場合は原稿を追加して [スキャン継続] を、スキャンを終了する場合は [スキャンストップ] をクリックします。



11 スキャンが終了したら、[ファイル] メニューの [アプリケーションの終了] をクリックします。



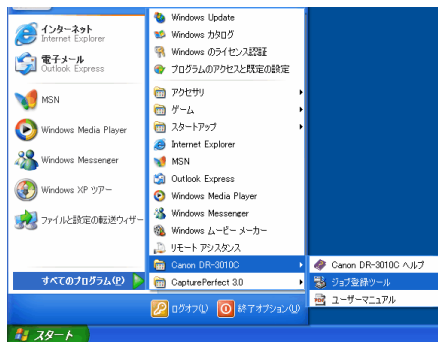
ジョブ機能によるスキャン

ここでは、ジョブ登録ツールの起動からジョブスキャンまでの手順について説明します。詳細については、「第6章 ジョブ登録ツールの設定（→ P.70）」を参照してください。

ジョブ機能について

ジョブ機能は、[ジョブ登録ツール] でジョブを登録し、登録したジョブ番号を表示パネルから選択 / 実行してスキャンを行う機能です。スキャン条件や、保存する画像データの形式、保存先はジョブに登録されている条件で処理されます。

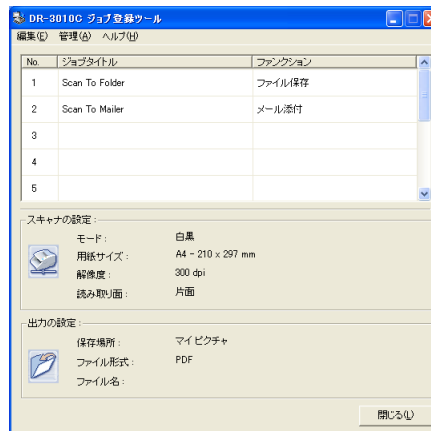
- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] をクリックします。次に [Canon DR-3010C] をクリックし、[ジョブ登録ツール] をクリックします。



メモ

ジョブ登録ツールは、ISIS/TWAIN ドライバと一緒にインストールされる TWAIN 互換アプリケーションソフトウェアで、本体のスタートキーを押したときに実行されるジョブを登録します。

- 2 ジョブを登録します。ジョブの登録については、「第6章 ジョブ登録ツールの設定（→ P.70）」を参照してください。



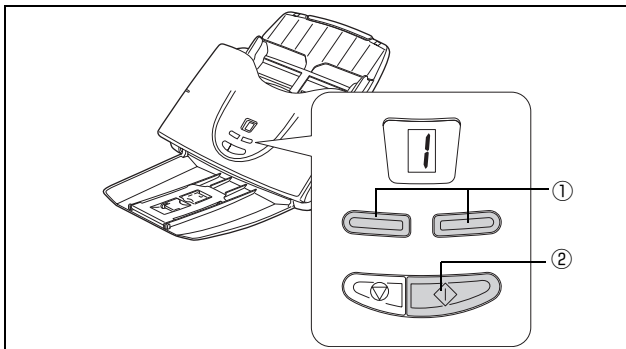
メモ

- ジョブは、No.1 から No.9 まで登録できます。
- 登録ジョブ一覧には、あらかじめ以下のジョブが登録されています。
 - ① No.1 Scan To Folder: スキャンした画像を設定したフォルダに設定したファイル形式で保存します。
 - ② No.2 Scan To Mailer: スキャンした画像を設定したファイル形式で電子メールに添付します。

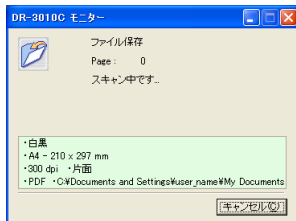
- 3 [ジョブ登録ツール] ダイアログボックスの [閉じる] をクリックします。

- 4 原稿をセットします。（→ P.22 「3. 原稿のセット」）

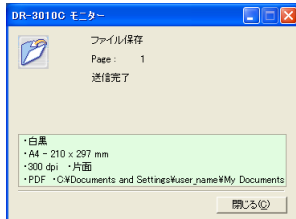
- 5 プラスキー、マイナスキーを押して表示パネルのジョブ番号を選択し (①)、スタートキーを押します (②)。



- 6 [DR-3010C モニター] ダイアログボックスが表示され、スキャンを開始します。



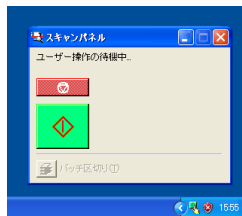
- 7 スキャン終了後、設定した条件で画像データを送信します。



- 8 [DR-3010C モニター] ダイアログボックスの [閉じる] をクリックします。

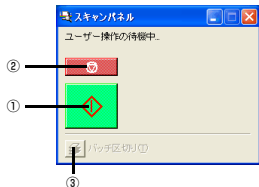
スキャンパネルについて

スキャンパネルは、ISIS/TWAIN ドライバと一緒にインストールされるアプリケーションで、DR-3010C ドライバが起動したときにタスクバーの通知領域に常駐します。読み取り条件の設定で、「給紙オプション」が「パネルで給紙」または「自動給紙」に設定されていると、スキャンを開始したときにスキャンパネルが表示されます。



スキャンパネルの機能

スキャンパネルには、以下の機能があります。



① スタートボタン

給紙オプションの設定が「パネルで給紙」のとき、スキャンを開始します。

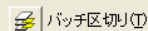
② ストップボタン

スキャンを中止します。

③ バッチ区切りボタン

このボタンは、「[その他] タブのバッチ区切りの設定で「パネル」をクリックし、アプリケーションでバッチ区切りを有効にしてスキャンを開始して、セットした原稿がなくなってスキャンが停止するとボタンが有効になります。

このボタンをクリックするとボタンが押下状態になり、この状態でスキャンを継続するとバッチが区切られ、セットした原稿がなくなってスキャンが停止するとボタンが元に戻ります。



目的別にスキャンする

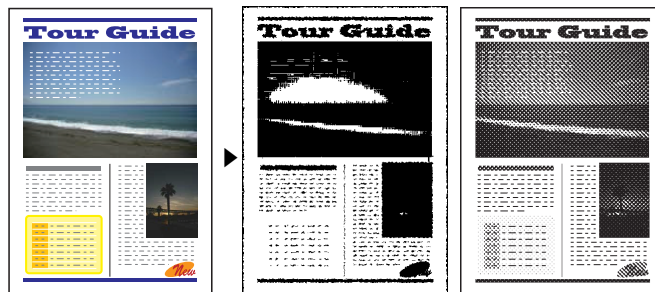
ここでは、DR-3010C を使ってスキャンするときの設定の一例について、概要を説明します。詳細については、「第 5 章 ISIS/TWAIN ドライバの設定 (→ P.52)」またはヘルプを参照してください。

原稿の文字を鮮明にする

背景色が濃い原稿、背景色が均一で文字や背景が薄い原稿の文字が鮮明になるように読み取り条件を設定します。

設定ダイアログボックスの「[基本]」タブをクリックし、「[モード]」ボックスの「[アドバンスドテキストエンハンスメント II]」をクリックします。

読み取り条件の設定の詳細は、「第 5 章 ISIS/TWAIN ドライバの設定 読み取りモードの設定 (→ P.54)」を参照してください。



読み取り原稿

白黒モード

テキストエンハンスメント

カラー / 白黒が混在した原稿をスキャンする

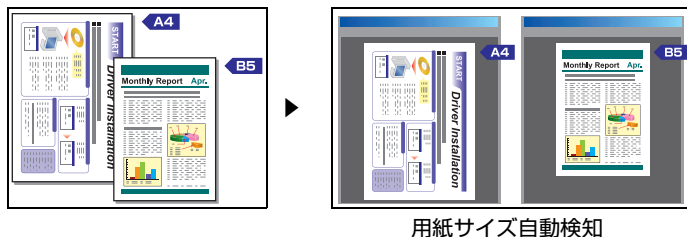
読み取る原稿が、カラーか白黒かを検知して、カラー画像または白黒画像で保存するように読み取り条件を設定します。

設定ダイアログボックスの「[基本]」タブをクリックし、「[モード]」ボックスの「[カラー-白黒検知]」をクリックします。

読み取り条件の設定の詳細は、「第 5 章 ISIS/TWAIN ドライバの設定 カラー / 白黒原稿の自動検知 (→ P.55)」を参照してください。

サイズが異なる原稿を混在でスキャンする

A4 や B5 など、異なるサイズが混在する原稿を原稿の大きさに応じた画像サイズで読み取ることができるように読み取り条件を設定します。設定ダイアログボックスの [基本] タブをクリックし、[用紙サイズ] ボックスの [自動検知] をクリックします。読み取り条件の設定の詳細は、「第 5 章 ISIS/TWAIN ドライバの設定 用紙サイズの設定 (→ P.56)」を参照してください。

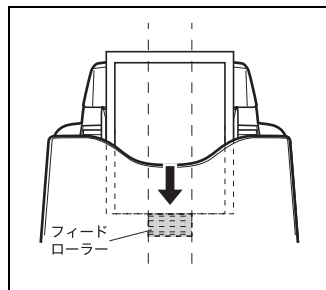


用紙サイズ自動検知



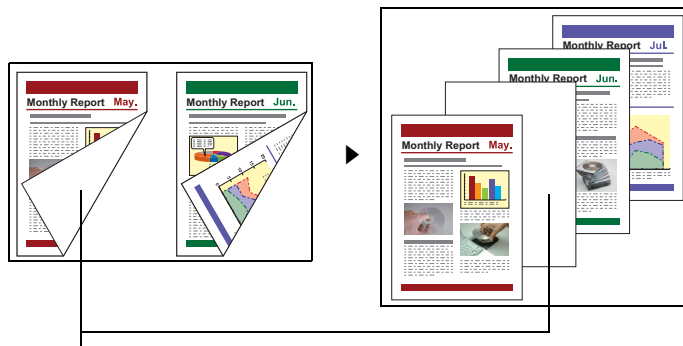
お願い

サイズが異なる原稿を一度に読み取るときは、フィードローラーが原稿の中央にかかるように、中心を揃えてセットしてください。



原稿の裏面などの白紙面を読み飛ばす

スキャンした画像から原稿が白紙かどうかを判断し、白紙と判断された画像を保存しないように読み取り条件を設定します。設定ダイアログボックスの [基本] タブをクリックし、[読み取り面] ボックスの [白紙をスキップする] をクリックします。読み取り条件の設定の詳細は、「第 5 章 ISIS/TWAIN ドライバの設定 読み取り面の設定 (→ P.57)」を参照してください。



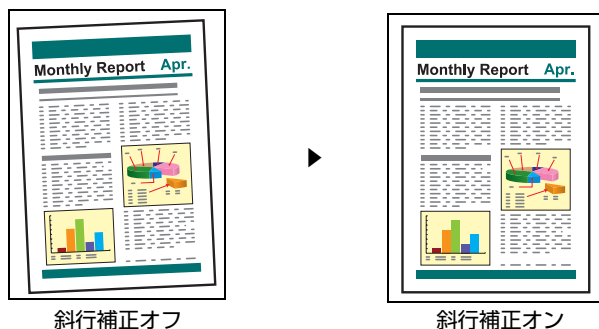
この白いページが画像として保存されることなくスキップされます

A3 サイズの原稿 (片面) をスキャンする

A3 サイズの原稿を 2 つ折りにしてセットし、両面スキャンをして表面と裏面の画像を 1 枚の画像に合成するように読み取り条件を設定します。設定ダイアログボックスの [基本] タブをクリックし、[読み取り面] ボックスの [半折り] をクリックします。読み取り条件の設定の詳細は、「半折り原稿のセット (→ P.25)」、[第 5 章 ISIS/TWAIN ドライバの設定 読み取り面の設定 (→ P.57)] を参照してください。

画像の傾きを補正してスキャンする

セットした原稿が斜めに給紙されたときに、スキャンした画像で斜行を検知して画像の傾きを補正するように読み取り条件を設定します。設定ダイアログボックスの [基本] タブをクリックし、[斜行補正] チェックボックスをオンにします。読み取り条件の設定の詳細は、「第 5 章 ISIS/TWAIN ドライバの設定 斜めに読み取られた画像の補正 (→ P.58)」を参照してください。センサ幅を超えて斜行する原稿は破損する恐れがあります。また、正しくスキャン画像が出力されません。



モアレ (縞模様) を除去する

カラー原稿やグレースケールでスキャンしたときに発生しやすいモアレ (縞模様) を除去するように読み取り条件を設定します。読み取り条件の設定の詳細は、「第 5 章 ISIS/TWAIN ドライバの設定 モアレ (縞模様) の除去 (→ P.59)」を参照してください。

文字方向が異なる原稿を修正してスキャンする

原稿の文字の向きを検知し、保存するファイル上で文字の向きが正立になるようにスキャンした画像を90度単位で回転させるように読み取り条件を設定します。読み取り条件の設定の詳細は、「第 5 章 ISIS/TWAIN ドライバの設定 文字向き検知 (→ P.64)」を参照してください。

薄い原稿や裏面の濃い原稿の裏写りを低減する

薄い原稿や裏面が濃い原稿をスキャンしたときに発生する裏写りや原稿の地色を低減するように読み取り条件を設定します。読み取り条件の設定の詳細は、「第 5 章 ISIS/TWAIN ドライバの設定 裏写り / 原稿の地色の除去 (→ P.64)」を参照してください。

指定した色 (赤・青・緑) の枠線や罫線を削除する

赤・青・緑の 3 色の中から指定した色の枠線や罫線を読み飛ばして原稿をスキャンするように読み取り条件を設定します。(ただし、白黒スキャン時のみ有効です) 読み取り条件の設定の詳細は、「第 5 章 ISIS/TWAIN ドライバの設定 特定の色を読み飛ばす (→ P.65)」を参照してください。



白黒スキャンでの印影を鮮明にする

原稿を白黒スキャンするときに赤色を強調して、印影が鮮明になるように読み取り条件を設定します。読み取り条件の設定の詳細は、「第 5 章 ISIS/TWAIN ドライバの設定 赤色を強調する (→ P.65)」を参照してください。

サイズが小さいファイルを作成する

原稿をスキャンして読み取った画像を高圧縮のPDF形式で保存する読み取り条件を設定します。

CapturePerfect 3.0の[オプション]メニューの[PDFファイル]をクリックし、[モード]の[高圧縮]をクリックします。読み取り条件の設定の詳細は、「CapturePerfect 3.0操作ガイド」を参照してください。

原稿のテキストデータを検索キーワードとして残す

PDFファイル作成時に原稿の文字情報をテキストデータ化し、コンピュータで文字検索をすることができるように読み取り条件を設定します。

CapturePerfect 3.0の[オプション]メニューの[OCR設定]をクリックし、[有効]チェックボックスをオンにします。読み取り条件の設定の詳細は、「CapturePerfect 3.0操作ガイド」を参照してください。

PDFファイルにセキュリティを設定する

CapturePerfect 3.0でスキャンしたPDF形式のファイルに閲覧、印刷およびページの編集を制限するためのセキュリティを設定することができます。

セキュリティの設定の詳細は、「CapturePerfect 3.0操作ガイド」を参照してください。

5. こんなときは

DR-3010Cでスキャンをする場合の設定例です。ISIS/TWAINドライバを設定する際の参考にしてください。該当項目の設定については、「第5章 ISIS/TWAINドライバの設定(→P.52)」を参照してください。

両面原稿の読み取り

- 両面原稿をスキャンしたい
[読み取り面]ボックスの[両面]をクリックします。

非定形サイズ原稿の読み取り

- 非定形サイズの原稿をスキャンしたい
非定形サイズの原稿をスキャンするときは、[用紙サイズ]ボックスの[自動検知]をクリックします。原稿のサイズが自動検知されます。
- 非定形サイズの原稿サイズを登録したい
用紙サイズに登録されていない原稿サイズを「カスタム用紙サイズ」として登録することができます。
→P.59「読み取り領域の調整」
- 原稿の一部をスキャンしたい
スキャン領域を指定してスキャンします。ただし、[用紙サイズ]ボックスの[自動検知]をクリックしたときは領域を指定することはできません。
→P.59「読み取り領域の調整」

複数枚原稿の読み取り

- 一度にセットできない原稿の束を複数の束に分けて連続スキャンしたい
[給紙オプション]ボックスの[自動給紙]をクリックします。原稿のセットをスキャナが検知すると自動でスキャンをするため、原稿を繰り返しセットするだけで連続してスキャンをすることができます。

[給紙オプション]ボックスの[パネルで給紙]をクリックした場合は、原稿をセットしたあとに、スキャンボタンを押さないとスキャンされません。原稿をセットしたあとに原稿を揃えるときになど有効です。

- 連続スキャンで原稿の束ごとにファイルを分けたい
[給紙オプション] ボックスの [自動給紙] または [パネルで給紙] をクリックし、[バッチ区切り] ボックスの [自動] をクリックします。(ISIS ドライバのみ)
- 原稿の束を 1 枚ずつスキャンしたい
[給紙オプション] ボックスの [自動給紙] または [パネルで給紙] をクリックして 1 枚ずつスキャンします。原稿を 1 枚スキャンすると [スキャンパネル] ダイアログボックスが表示されます。[給紙オプション] ボックスの [自動給紙] をクリックしたときは、次の原稿をセットし、スキャナが原稿を検知すると次のスキャンをします。[給紙オプション] ボックスの [パネルで給紙] をクリックしたときは、次の原稿をセットしてスキャンボタンを押すと次のスキャンをします。

プレスキャン

- スキャンする前に画像を確認したい
[プレスキャン] チェックボックスをオンにします。スキャン開始時に [プレスキャン] ウィンドウが表示されます。
→ P.68 「プレスキャン」

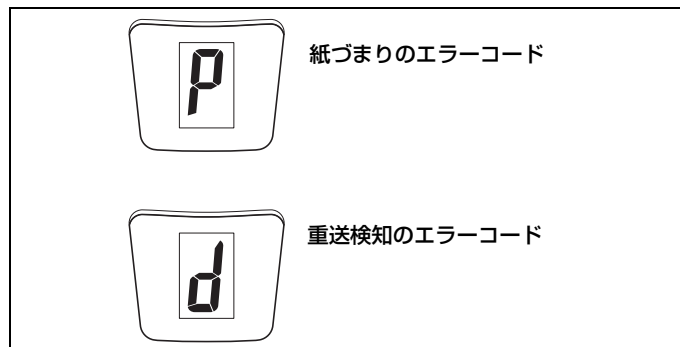
設定の登録

- 設定した読み取り条件を次回も使用したい
ユーザ設定に名前を付けて登録します。登録したユーザ設定の名前を選ぶと、読み取り条件がダイアログボックスに反映されます。
→ P.69 「読み取り条件の登録」

ジョブ機能や CapturePerfect 3.0 のジョブスキャンでは、読み取り条件やスキャンした画像ファイルの処理方法をジョブとして登録でき、登録したジョブを選んでスキャンをすることができます。

6. 紙づまり/重送検知の処理

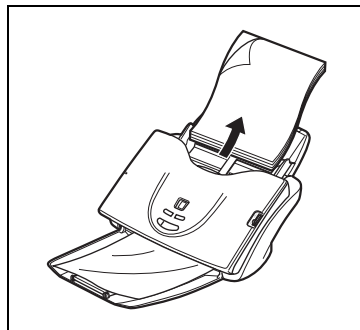
原稿をスキャン中に紙づまりや重送を検知すると、本体の表示パネルに以下のエラーコードを表示してスキャン処理を中断します。



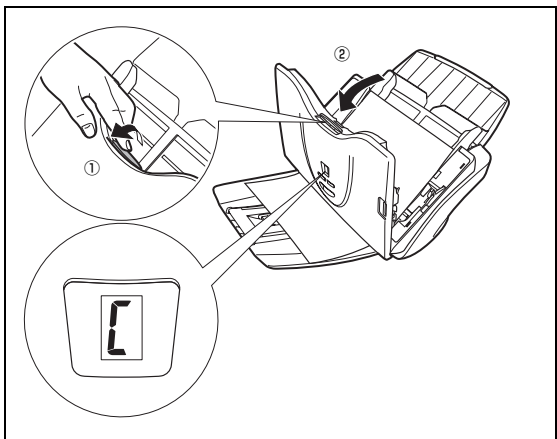
⚠ 注意

原稿を取り除くときは慎重に取り除いてください。紙の端で手を切るなど思わぬけがをすることがあります。

- 1 給紙トレイに残っている原稿を取り除きます。

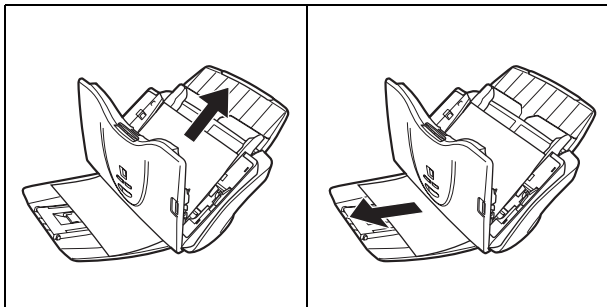


- 2** OPEN レバーを手前に引きながら (①)、前ユニットを開きます (②)。表示パネルのエラーコードが「C」に変わります。



メモ
表示パネルのエラーコード「C」は、前ユニットが開いている場合に表示されます。

- 3** 給紙側または排紙側から原稿を取り除きます。

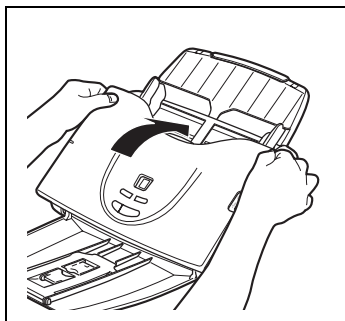


お願い

原稿は無理に引っ張らず、慎重に取り除いてください。万一、原稿が破れてしまった場合は、残りの紙片も必ず取り除いてください。

4

前ユニット上部の左右をゆっくり押します。カチッと音がして確実に元の位置に戻り、表示パネルにエラーコードが表示されていないことを確認します。



メモ

- 処理が終わったら、最後の原稿が記録されているかどうかを確認し、作業を続けてください。
- ISIS/TWAIN ドライバ設定ダイアログボックスの [その他] タブの [継続モード] チェックボックスをオンにすると、紙づまりを起こした原稿の画像を保存しないで中断します。紙づまりの処理が終わったら、紙づまりを起こした原稿からスキャンを継続することができます。

7. その他の機能

長尺モードの設定

DR-3010Cでスキャンすることができる原稿の長さは、標準で356mmまでですが、長尺モードに設定することにより最大1,000mmまでの原稿をスキャンすることができます。



お願い

長尺モードに設定して、ISIS/TWAIN ドライバ設定ダイアログボックスの [基本] タブをクリックし、[用紙サイズ] ボックスの [自動検知] をクリックすると、1,000mm までの長さの原稿を検知してスキャンすることができます。長尺モードに設定したときは、以下の項目に注意してください。

- ・長尺原稿をスキャンするときは、必ず給紙切替レバーを「非分離給紙」に切り替えて1枚ずつスキャンしてください。
- ・長尺原稿をスキャンするときに原稿が傾いてセットされると、本機の給紙部の両端に当たり、原稿が破損することがあります。原稿の傾きには十分注意してください。
- ・長尺原稿をスキャンすると、紙づまりの検知が遅れて原稿が破損することがあります。紙づまりには十分注意してください。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。



2 コントロールパネルがカテゴリ表示の場合は、作業する分野で [プリンタとその他のハードウェア] をクリックし、[スキャナとカメラ] をクリックします。クラシック表示の場合には、[スキャナとカメラ] をダブルクリックします。

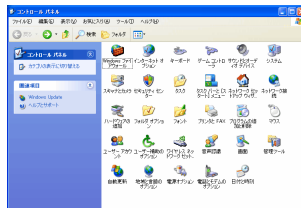
コントロールパネル (カテゴリ表示)



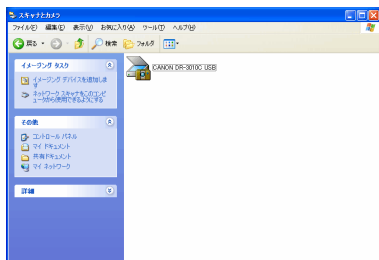
プリンタとその他のハードウェア



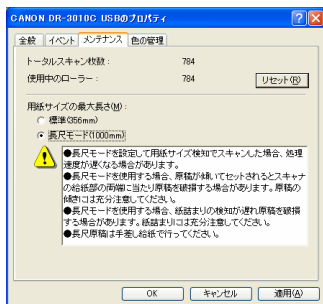
コントロールパネル (クラシック表示)



- 3 [CANON DR-3010C USB] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。



- 4 [メンテナンス] タブをクリックし、[長尺モード (1000mm)] をクリックします。



- 5 [適用] をクリックし、[OK] をクリックします。

- 6 DR-3010C の電源を入れ直します。

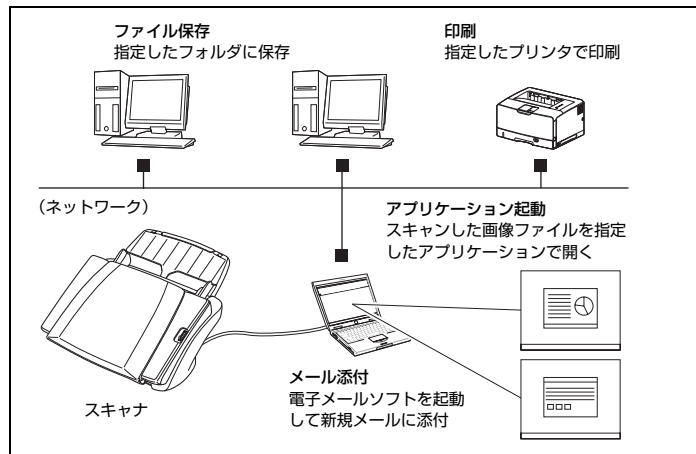
第4章 CaptureOnTouch の操作

1. CaptureOnTouch とは	38
2. CaptureOnTouch の起動と終了	39
終了するには	40
再起動するには	40
3. スキャナ設定	40
基本項目の設定	41
4. 出力方法の設定	42
5. おまかせスキャン	44
6. ジョブ選択スキャン	46
ジョブの登録と編集	46
ジョブを選択してスキャンする	48
7. 環境設定	50
[基本設定] タブ	50
[メール設定] タブ	51

この章で使用されている画面イメージは、フラットベッドスキャナのドライバがインストールされている場合のものであります。そのため、フラットベッドスキャナのドライバをインストールしていない場合の画面とは若干表示が異なります。

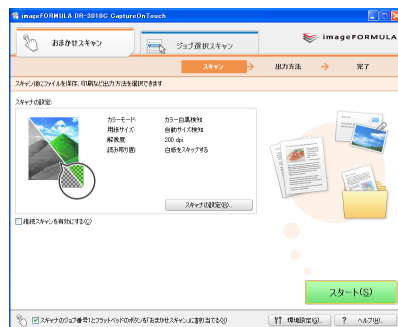
1. CaptureOnTouch とは

CaptureOnTouch は、画面の指示に従って簡単な操作で原稿をスキャンできるスキャンングアプリケーションです。



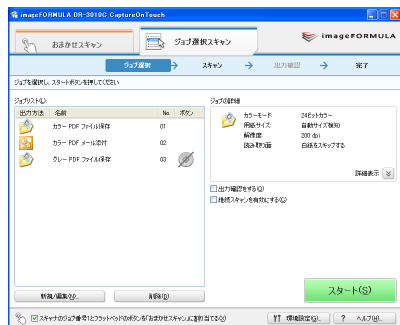
CaptureOnTouch には、目的や用途に応じて使い分けことが可能な複数のスキャン方法が用意されています。

おまかせスキャン



原稿をスキャンしてから、出力方法を選択して必要な設定をするスキャン方法です。画面の指示に従って手軽に原稿をスキャンできます。

ジョブ選択スキャン




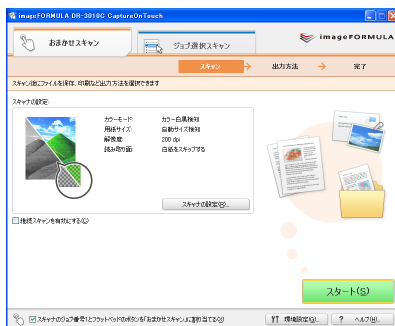
スキャン条件から出力方法までを 1 つのジョブに登録し、目的に合ったジョブを選択することで原稿をスキャンする方法です。決まった手順でスキャンを繰り返す場合に便利です。

2. CaptureOnTouch の起動と終了

コンピュータを起動すると、CaptureOnTouch がシステムに常駐し、タスクバーに CaptureOnTouch のアイコンが表示されます(デフォルト)。




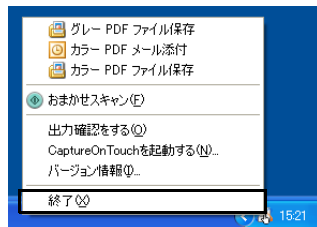
タスクバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、表示されるメニューの [CaptureOnTouch を起動する] をクリックすると、CaptureOnTouch のメイン画面が表示されます。



スタートメニューから起動することもできます。[スタート] - [すべてのプログラム] - [Canon DR-3010C] - [CaptureOnTouch] の順にクリックしてください。

終了するには

タスクバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、メニューの [終了] をクリックします。



システムへの常駐が終了し、タスクバーのアイコンがなくなります。

再起動するには

CaptureOnTouch を再起動するときは、スキャナのジョブボタンのいずれかを押します。CaptureOnTouch が起動してメイン画面が表示されます。



メモ

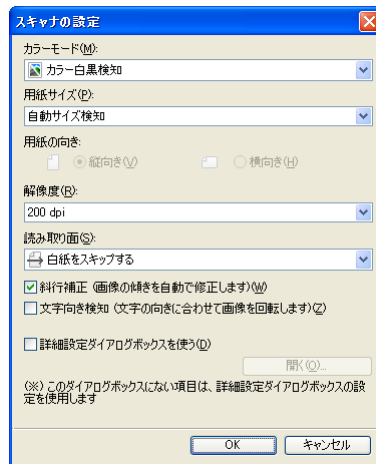
- CaptureOnTouch を再起動すると、システムに常駐したタスクバー（メニューバー）に CaptureOnTouch アイコンが表示されます。
- スタートメニューから再起動することもできます。[スタート] - [すべてのプログラム] - [Canon DR-3010C] - [CaptureOnTouch] の順にクリックしてください。

3. スキャナ設定

スキャン方法や原稿のサイズなど、さまざまなスキャン条件を設定します（これを「スキャナ設定」と呼びます）。

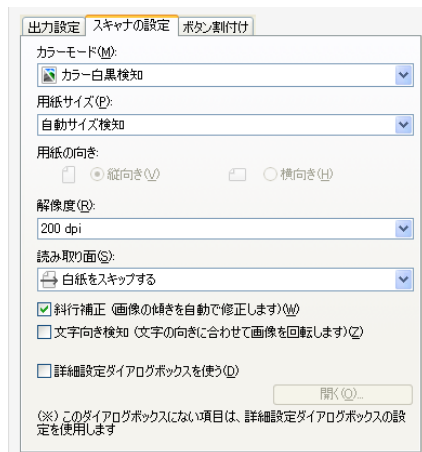
スキャナ設定の項目は、「おまかせスキャン」と「ジョブ選択スキャン」とで共通です。

「おまかせスキャン」の場合



「おまかせスキャン」ではスキャン開始前にスキャナ設定をします。

「ジョブ選択スキャン」の場合



「ジョブ選択スキャン」では、ジョブごとにスキャナ設定をします。



お願い

- スキャナ設定には、[スキャナの設定] ダイアログボックス（または [スキャナの設定] タブ）で設定する基本項目と、詳細設定ダイアログボックスで設定する設定項目があり、基本項目以外の設定は詳細設定ダイアログボックスの設定が適用されます。
- 設定項目の詳細はヘルプを参照してください。

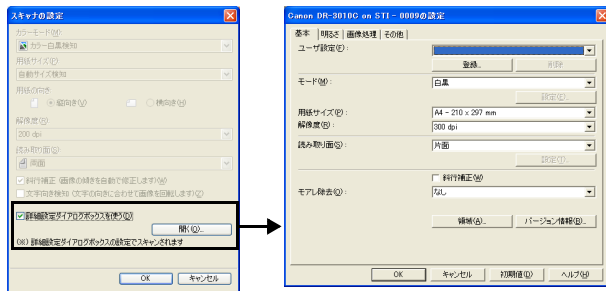
基本項目の設定

スキャン設定の基本項目を設定します。
その他の設定については、ドライバの設定ダイアログボックスの設定が適用されます。

- **カラーモード**
原稿をスキャンするモードを、次の中から選択します。

カラー白黒検知	原稿がカラーか白黒かを検知してスキャンします。
カラー（24ビット）	原稿をカラーでスキャンします。
グレースケール	原稿をグレースケールでスキャンします。
白黒	原稿を白黒二値でスキャンします。
- **用紙サイズ**
原稿の用紙サイズを指定します。
[自動サイズ検知] を指定したときは、スキャンした原稿の用紙サイズを検知し、検知したサイズで画像を保存します。
- **用紙の向き**
原稿をスキャナに挿入する向きと同じ向き（縦向きまたは横向き）を指定します。
この項目は、横向きでスキャナにセットできる用紙サイズを [用紙サイズ] で指定している場合にのみ設定できます。白紙スキップの閾値は、ドライバの設定が適用されます。
- **解像度**
スキャンの解像度を指定します。
- **読み取り面**
原稿を片面のみスキャンするか、両面をスキャンするかを指定します。
[白紙をスキップする] を指定したときは、原稿中に白紙があった場合にそのページを飛ばしてスキャンします。
- **斜行補正**
傾いた原稿をスキャンしたときに、スキャンした画像の傾きを検知してまっすぐに補正します。
- **文字向き検知**
読み取った画像の中にある文字の向きを認識し、文字の向きが正常になるように画像の向きを回転します。

- **詳細設定ダイアログボックスを使う**
基本項目以外の詳細なスキャナ設定は、詳細設定ダイアログボックスで行います。詳細設定ダイアログボックスを開くには、[詳細設定ダイアログボックスを使う] チェックボックスをオンにしてから、[開く] ボタンをクリックします。



設定項目の詳細は、ドライバの設定ダイアログボックスのヘルプを参照してください。

ドライバの設定ダイアログボックスには、[スキャナの設定] ダイアログボックスの基本項目と同じ設定項目があり、それぞれの設定内容は独立して保持されます。スキャン時にどちらの設定が適用されるかは、[詳細設定ダイアログボックスを使う] チェックボックスの設定によって次のように異なります。

[詳細設定ダイアログボックスを使う] の設定	基本項目	基本項目以外
オフ	[スキャナの設定] ダイアログボックスの設定	ドライバの設定ダイアログボックスの設定
オン	ドライバの設定ダイアログボックスの設定	

4. 出力方法の設定

CaptureOnTouch には、スキャン画像を処理するための 4 つの出力方法が用意されています。

出力方法の指定は、「おまかせスキャン」と「ジョブ選択スキャン」とで共通です。

「おまかせスキャン」の場合

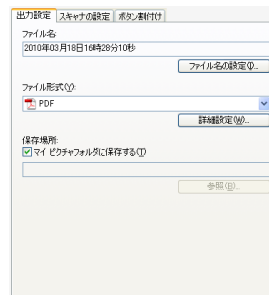
「おまかせスキャン」では、スキャン後に表示される [出力方法] 画面で出力方法を選択してから、それぞれの出力方法を指定します。

「ジョブ選択スキャン」の場合

「ジョブ選択スキャン」では、ジョブごとに出力方法を指定します。

出力方法によって、出力に関する設定項目が異なります。

ファイル保存



スキャンした画像を、指定したフォルダに保存します。この出力方法を指定したときは、保存する画像ファイルの設定をします。

メールに添付

スキャンした画像を、電子メールソフトウェアの新規作成メールに添付します。この出力方法を指定したときは、メールに添付する画像ファイルの設定をします。この機能を使用するには、使用する電子メールソフトウェアを、オペレーティングシステムの既定のプログラムとして指定しておく必要があります。代表的な対応ソフトウェアを下記に挙げます。

Windows メール、Outlook Express (どちらも OS 標準のアプリケーション) など、MAPI (Microsoft Messaging Application Programming Interface) に対応した電子メールアプリケーション

印刷

スキャンした画像を、指定したプリンタで印刷します。この出力方法を指定したときは、印刷するプリンタを指定します。

アプリケーション起動

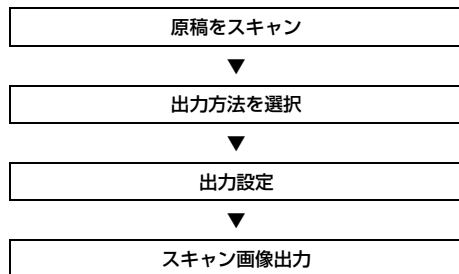
スキャンした画像ファイルを指定したフォルダに保存し、指定したアプリケーションで開きます。この出力方法を指定したときは、[参照] ボタンをクリックして、画像ファイルを開くことができるアプリケーションの実行ファイルを指定します。また、保存する画像ファイルの設定もします。

PaperPort をお使いの方へ

- ・本製品に付属の PaperPort は、[Documents] フォルダをデフォルトフォルダとしています。そのため、PaperPort に画像ファイルを送る場合の保存先フォルダは [Documents] (または [Documents] 中のフォルダ) を指定してください。その他のフォルダを指定した場合、エラーになる場合があります。
- ・[Documents] 以外のフォルダを指定する場合は、あらかじめ PaperPort の「フォルダマネージャ」を使って指定するフォルダを登録することにより [Documents] 以外のフォルダを指定できるようになります。
- ・Windows Vista の場合、ドキュメントフォルダとピクチャフォルダが同じフォルダ階層にあります。そのため保存先にピクチャフォルダを指定するときは、PaperPort の「フォルダマネージャ」を使ってピクチャフォルダを登録してください。

5. おまかせスキャン

操作の流れ

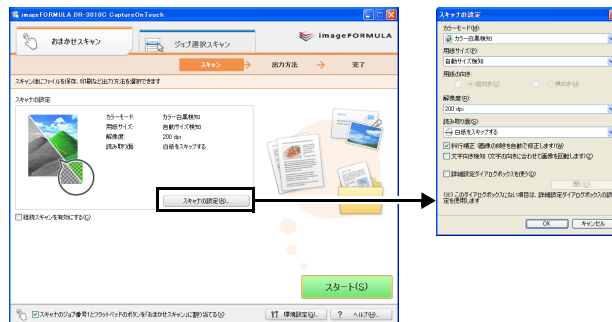


- 1 原稿をスキャナにセットします。
- 2 [おまかせスキャン] タブをクリックします。



「おまかせスキャン」のメイン画面が表示されます。

- 3 [スキヤナの設定] をクリックして [スキヤナの設定] ダイアログボックスを表示させ、スキヤナ設定をします。



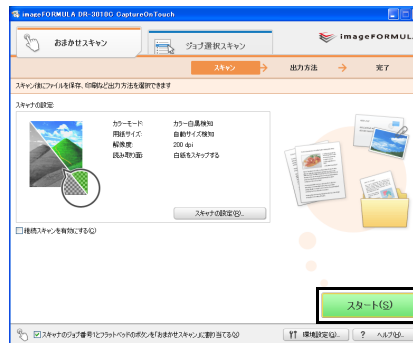
スキヤナ設定の項目についてはヘルプを参照してください。
設定が終わったら、[OK] ボタンをクリックして [スキヤナの設定] ダイアログボックスを閉じます。



メモ

複数の原稿をひとつのスキャン画像としてスキャンするときや、大量の原稿を分けてスキャンするときは、【継続スキャンを有効にする】チェックボックスをオンにしてください。

- 4 [スタート] ボタンをクリックします。



原稿がスキャンされます。スキャン中は、スキャンが終わったページ数と、スキャナ設定の内容が表示されます。スキャンが終わると、メインウィンドウが「出力方法」画面に切り替わります。



メモ

【継続スキャンを有効にする】チェックボックスをオンにしてスキャンした場合は、スキャンが終わると他の原稿を続けてスキャンするかどうかを問い合わせるメッセージが表示されます。この場合は、続きの原稿をスキャナにセットしてから【続けてスキャンする】ボタンをクリックします。【次のステップに進む】ボタンをクリックすると「出力方法」画面に切り替わります。

5 出力方法を指定します。



6 出力に関する設定をしてから、出力ボタンをクリックしてスキャン画像を出力します。



選択した出力方法ごとに出力ボタンの名前が異なります。たとえば、出力方法に【フォルダに保存する】を指定したときの出力ボタンは【保存】ボタンになります。出力が終わると、完了画面が表示されます。これでおまかせスキャンは完了です。



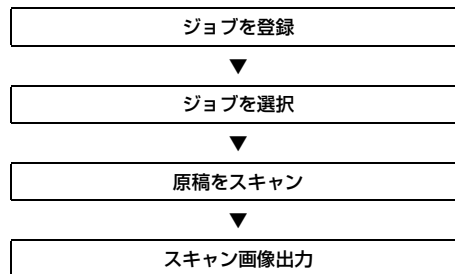


メモ

- [メイン画面に戻る] をクリックすると、おまかせスキャンのメイン画面に戻ります。
- 出力方法に [フォルダに保存する] を指定したときは、[保存先のフォルダを開く] をクリックすることで、画像ファイルが保存されたフォルダを開くことができます。

6. ジョブ選択スキャン

操作の流れ



ジョブの登録と編集

CaptureOnTouch には、ジョブ選択スキャンで使用するジョブを 9 個まで登録できます。

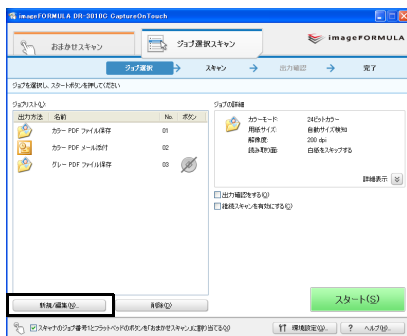
1

[ジョブ選択スキャン] タブをクリックします。



「ジョブ選択スキャン」のメイン画面が表示されます。

2 [新規 / 編集] ボタンをクリックします。



[ジョブの新規登録] ダイアログボックスが表示されます。

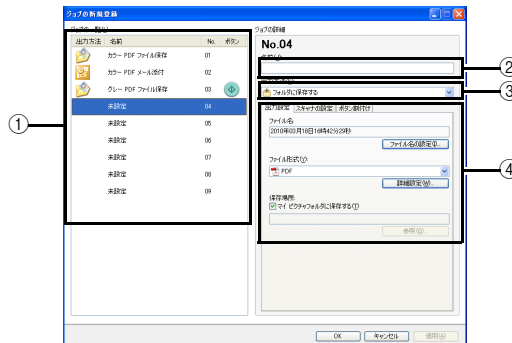


メモ

登録されているジョブを選択してから [新規 / 編集] ボタンをクリックすると、[ジョブの編集] ダイアログボックスが表示され、選択したジョブの登録内容を変更できます。

3 ジョブを設定します。

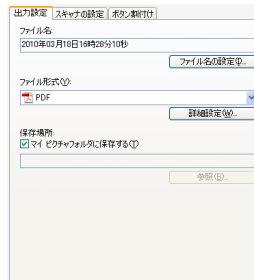
- ① ジョブの一覧で、未設定のジョブ番号を選択します。登録されているジョブを選択すると、タイトルバーの表示が [ジョブの編集] になり、登録済みのジョブの内容を変更できます。
- ② ジョブの名前を入力します。
- ③ ジョブの出力方法を指定します。
- ④ ジョブを設定します。



ジョブの設定は、次の3つのタブで行います。

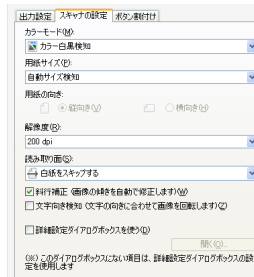
[出力設定] タブ

出力方法に関する設定をします。表示される設定項目は [出力方法] の指定に応じて切り替わります。



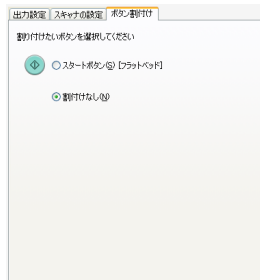
[スキヤナの設定] タブ

スキャン条件の設定をします。

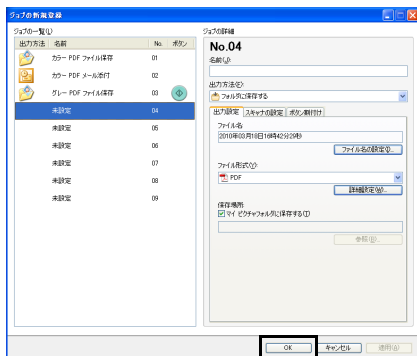


[ボタン割付け] タブ

オプションのフラットベッドユニットが取り付けられている場合のみ、[ボタン割付け] タブが表示されます。フラットベッドスキャナのスタートボタンを割り付けることができます。



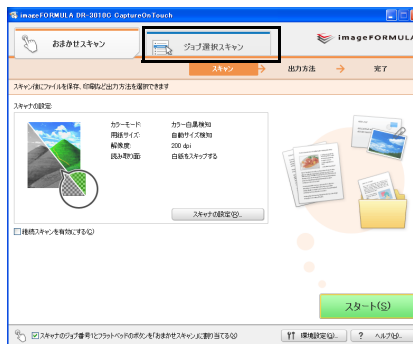
4 [OK] ボタンをクリックします。



設定した内容でジョブが登録され、ジョブリストに表示されます。登録済みのジョブの設定内容を確認したり変更するときは、[新規 / 編集] ボタンをクリックします。

ジョブを選択してスキャンする

- 1 原稿をスキャナにセットします。(22 ページ)
- 2 [ジョブ選択スキャン] タブをクリックします。



「ジョブ選択スキャン」のメイン画面が表示されます。

3 [ジョブリスト] で、ジョブをクリックします。

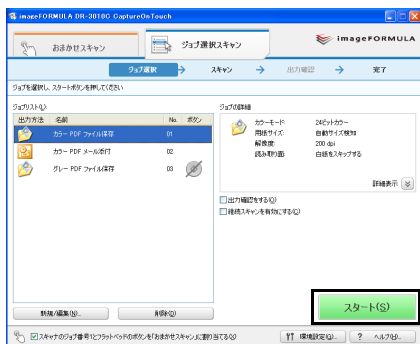




メモ

- 【出力確認をする】チェックボックスをオンにすると、スキャン後に出力設定の内容を確認できます。
- 【継続スキャンを有効にする】チェックボックスをオンにすると、原稿がなくなったときにスキャンを続けることができます。

4 【スタート】 ボタンをクリックします。



原稿がスキャンされます。スキャン中は、スキャンが終わったページ数と、スキャナ設定の内容が表示されます。
原稿のすべてのページがスキャンされると、登録されているジョブの設定内容に従って出力され、完了画面が表示されます。



メモ

- 【メイン画面に戻る】をクリックすると、ジョブ選択スキャンのメイン画面に戻ります。
- 出力方法が「ファイル保存」のジョブを実行したときは、【保存先のフォルダを開く】をクリックすることで、画像ファイルが保存されたフォルダを開くことができます。

【継続スキャン】をオンにしてスキャンした場合
原稿がなくなったときに継続確認画面が表示されます。
他の原稿を続けてスキャンするときは、原稿をスキャナにセットしてから【続けてスキャンする】ボタンをクリックします。
原稿をすべてスキャンし終わったときは、【次のステップに進む】ボタンをクリックします。

【出力確認をする】をオンにしてスキャンした場合
スキャンした画像を出力する前に、出力確認画面が表示されます。
必要に応じて出力方法の設定を変更してから出力ボタンをクリックします。
出力ボタンの名前は選択した出力方法ごとに異なります。

7. 環境設定

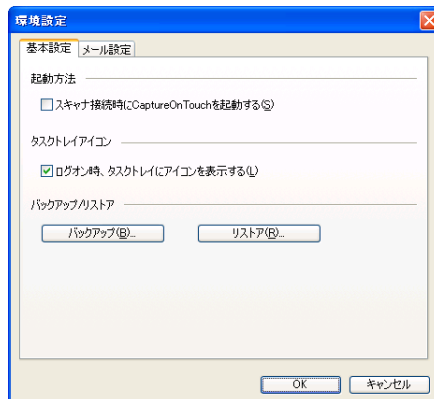
CaptureOnTouch の環境設定を行うには、メイン画面の【環境設定】ボタンをクリックして【環境設定】ダイアログボックスを開きます。



【環境設定】ダイアログボックスは【基本設定】タブと【メール設定】タブで構成されます。それぞれのタブの設定について、以降で説明します。

【基本設定】タブ


【基本設定】タブでは以下の設定を行います。



起動方法の設定

【スキャナ接続時に CaptureOnTouch を起動する】チェックボックスをオンにすると、Windowsがスキャナを認識したときに CaptureOnTouch が起動します。

タスクバーのアイコンの表示

【ログオン時、タスクトレイにアイコンを表示する】をオフにすると、タスクバーに  (CaptureOnTouch アイコン) は表示されません。

バックアップ / リストア

【バックアップ】ボタンと【リストア】ボタンで、CaptureOnTouch の設定ファイル（設定内容や登録ジョブなど）をバックアップしたり、バックアップしたデータから設定を復元できます。

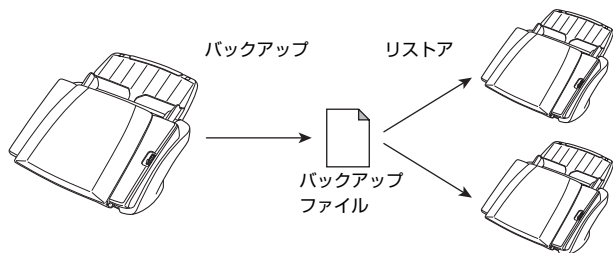
【バックアップ】ボタン

CaptureOnTouch の設定をバックアップファイル(*.reg)にバックアップします。CaptureOnTouch を使用する前にバックアップを行うことにより、CaptureOnTouch の初期状態を保持できます。

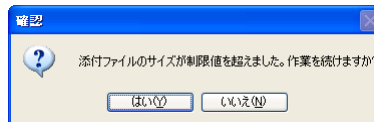
【リストア】ボタン

バックアップしたレジストリファイルから設定を復元します。

複数台のスキャナを使用している場合に、1台のスキャナで行った環境設定をバックアップし、他のスキャナにリストアすることで同じ設定にできます。

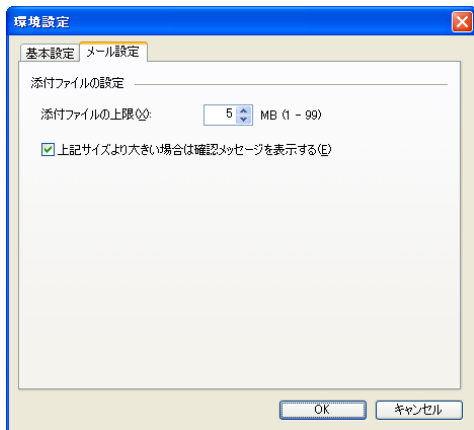


- 「おまかせスキャン」の場合は、スキャンした画像のファイルサイズがここで設定したファイルサイズよりも大きかった場合に確認メッセージが表示されます。
- 「ジョブ選択スキャン」の場合は、スキャン中に設定したファイルサイズを超えたときに確認メッセージが表示されます。



[メール設定] タブ

[メール設定] タブでは、メールに添付する画像ファイルの上限を設定します。



添付ファイルの上限

[上記サイズより大きい場合は確認メッセージを表示する] チェックボックスをオンにすると、添付ファイルが上限サイズを超えたときに確認メッセージが表示されます。

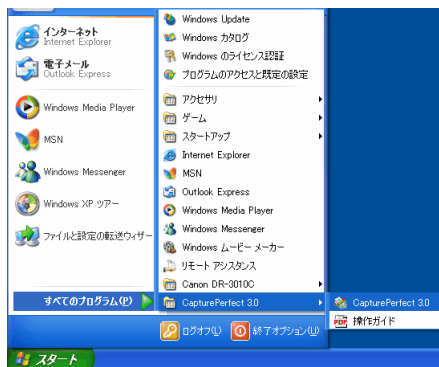
第5章 ISIS/TWAIN ドライバの設定

1. お使いになる前に.....	52
2. ISIS/TWAIN ドライバ設定ダイアログボックス.....	53
読み取りモードの設定.....	54
カラー / 白黒原稿の自動検知.....	55
用紙サイズの設定.....	56
読み取る解像度の設定.....	57
読み取り面の設定.....	57
斜めに読み取られた画像の補正.....	58
モアレ（縞模様）の除去.....	59
読み取り領域の調整.....	59
明るさ / コントラストの調整.....	61
ガンマカーブの設定.....	62
画像の輪郭の調整.....	63
画像の回転.....	63
文字向き検知.....	64
裏写り / 原稿の地色の除去.....	64
特定の色を読み飛ばす.....	65
赤色を強調する.....	65
読み取り中断時の処理の設定.....	66
原稿の重送検知.....	66
給紙オプションについて.....	67
プレスキャン.....	68
読み取り条件の登録.....	69
バージョンの確認.....	69

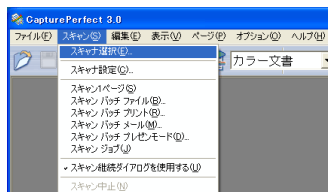
1. お使いになる前に

DR-3010CをISIS/TWAIN互換アプリケーションで使用するためには、最初に使用するスキャナとしてDR-3010Cを選ぶ必要があります。ここでは、CapturePerfect 3.0 でのスキャナを選ぶ操作について説明します。

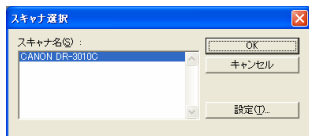
- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] をクリックします。
次に [CapturePerfect 3.0] をクリックし、[CapturePerfect 3.0] をクリックします。



- 2 [スキャン] メニューの [スキャナ選択] をクリックします。



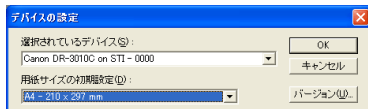
3 [CANON DR-3010C] を選択し、[OK] をクリックします。



メモ

[CANON DR-3010C] が表示されないときは、ISIS/TWAIN ドライバを再インストールしてください。(→ P.13 「第 2 章 本機の準備をする 2. ソフトウェアをインストールする」)

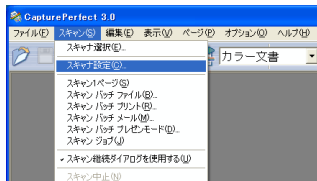
4 用紙サイズの初期サイズを設定します。



メモ

- [デバイスの設定] ダイアログボックスは、[スキャナ選択] ダイアログボックスで [CANON DR-3010C] をはじめて選択して [OK] をクリックしたとき、および [スキャナ選択] ダイアログボックスの [設定] をクリックすると表示されます。
- ISIS ドライバの設定ダイアログボックスで [初期値] をクリックしたときに、ここでの設定が反映されます。
- TWAIN ドライバの場合、初期値は「A4」に設定され、変更することはできません。

5 [スキャン] メニューの [スキャナ設定] をクリックします。

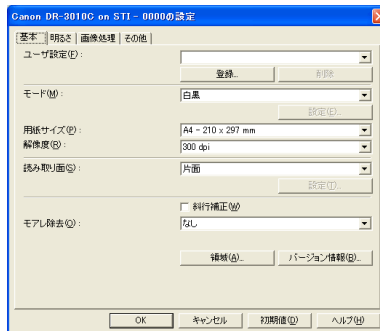


ISIS 設定ダイアログボックスが表示されます。

2. ISIS/TWAIN ドライバ設定ダイアログボックス

ISIS/TWAIN ドライバの [設定] ダイアログボックスは [基本] タブ、[明るさ] タブ、[画像処理] タブ、[その他] タブの 4 つのタブで構成されています。

各タブの設定項目を設定して、読み取り条件を設定します。設定方法の詳細については、ヘルプを合わせてお読みください。



[OK] ボタン

設定した内容を反映させてダイアログボックスを閉じます。

[スキャン] ボタン

設定ダイアログボックスからスキャンを実行する TWAIN 互換アプリケーションの場合、[OK] ボタンの代わりに [スキャン] ボタンが表示され、設定した内容でスキャンを実行します。

[キャンセル] ボタン

設定した内容を反映させないでダイアログボックスを閉じます。

[初期値] ボタン

設定を初期状態に戻します。

[ヘルプ] ボタン

開いているタブおよびダイアログボックスのヘルプを表示します。



メモ

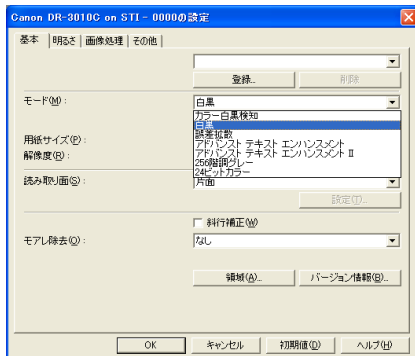
TWAIN ドライバをご使用の場合、[基本] タブ、[画像処理] タブにそれぞれ以下の 2 つの設定が追加になります。詳細はヘルプをお読みください。

- ・ [基本] タブ：スキャンオプション
- ・ [画像処理] タブ：白黒反転

読み取りモードの設定

目的に合わせた読み取りモードを選ぶ操作について説明します。

- 1 [基本] タブをクリックし、[モード] ボックスの目的に合ったモードをクリックします。



メモ

- 読み取る原稿に合わせて以下のいずれかのモードを設定してください。ただし、モードの設定によっては、機能の一部が制限されます。

■カラー/白黒検知

【カラー白黒検知】

スキャンした原稿が、白黒かカラーかを検知して、白黒画像またはカラー画像で保存します。

- ・カラー白黒検知を選択すると【設定】が有効になり、【カラー白黒検知設定】ダイアログボックスを開いてカラー原稿と判断するときの設定と、白黒と判断したときに読み取るモードを選択します。
- ・アプリケーションによっては、【カラー白黒検知】を選択すると動作が不安定になる場合があります。このようなときは、【カラー白黒検知】を選択しないでください。
- ・設定の詳細については、「カラー/白黒原稿の自動検知」を参照してください。

■白黒

【白黒】

文字や線画の原稿を白黒2値で読み取ります。

【誤差拡散】

写真などの原稿を白黒2値で読み取るためのモードです。

【アドバンスドテキストエンハンスメント】

背景色が濃い原稿や、背景が模様など均一でない原稿の読み取りに適しています。

- ・背景が均一のときは、文字の周りの背景を除去します。
- ・背景が模様など均一でないときは、文字が読みやすくなるように背景を処理します。

【アドバンスドテキストエンハンスメント II】

背景色が均一で、文字や背景が薄い原稿の読み取りに適しています。

- ・文字の間隔が狭い部分の背景は除去できない場合があります。
- ・文字が薄い原稿は、【明るさ】タブの【コントラスト】を調整することにより文字が読みやすくなります。
- ・背景が模様など均一でないときは、背景が表示されて文字が読みづらくなることがあります。

■グレースケール

【256 階調グレー】

写真などの原稿をグレースケールで読み取ります。

■カラー

【24 ビットカラー】

カラー写真などの原稿をフルカラーで読み取ります。

●モードの設定により以下のタブの機能の一部が無効になります。

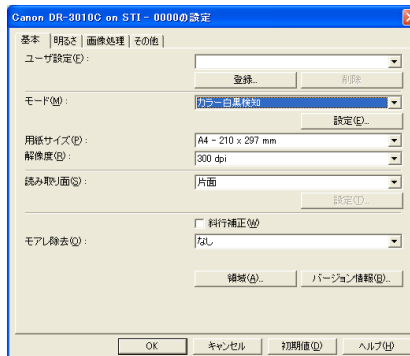
設定タブ	基本		画像処理				その他	
	斜行補正	モアレ除去	エッジ強調	裏写り/地色除去	白黒反転 (TWAINドライバ)	カラードロップアウト	バッチ区切り (SSドライバ)	プレスキャン
読み取りモード								
カラー白黒検知	○	○	○	×	×	×	○	×
白黒	○	○	○	○	○	○	○	○
誤差拡散	○	○	○	○	○	○	○	○
アドバンステキストエンハンスメント	○	○	○	×	○	○	○	○
アドバンステキストエンハンスメントII	○	○	×	×	○	○	○	○
256 階調グレー	○	○	○	○	×	○	○	○
24 ビットカラー	○	○	○	○	×	×	○	○

×：使用不可

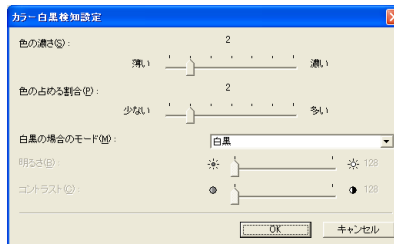
カラー / 白黒原稿の自動検知

原稿がカラーか白黒かを自動検知して読み取る操作について説明します。

- 1 [基本] タブを選択し、[モード] ボックスの [カラー白黒検知] を選択して、ダイアログボックスの [設定] をクリックします。



- 2 [カラー白黒検知設定] ダイアログボックスの各項目を設定して [OK] をクリックします。





メモ

読み取る原稿に合わせて設定することができる項目の内容は以下のとおりです。

【色の濃さ / 色の占める割合】

通常は初期値（色の濃さ：2、色の占める割合：2）でスキャンし、カラー原稿を白黒として読み取りたいときに設定を変更します。

- ・色の濃さ：色の薄いカラー原稿を白黒として読み取りたい場合に「濃い」の方向へ設定変更します。
- ・色の占める割合：カラーの占める割合が低い原稿を白黒として読み取りたい場合に「多い」の方向へ設定変更します。

【白黒の場合のモード】

原稿を白黒と判断したときの読み取りモードを設定します。

【明るさ】

白黒の場合のモードで【アドバンスドテキストエンハンスメント】、【アドバンスドテキストエンハンスメント II】を選択したときの明るさを調整します。そのほかのモードでの明るさは、【明るさ】タブの【明るさ】の設定が反映されます。

【コントラスト】

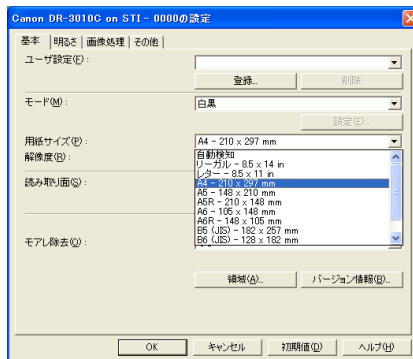
白黒の場合のモードで【アドバンスドテキストエンハンスメント II】を選択したときのコントラストを調整します。そのほかのモードでのコントラストは、【明るさ】タブの【コントラスト】の設定が反映されます。

用紙サイズの設定

読み取る原稿に合わせて読み取りサイズを選ぶ操作について説明します。

1

【基本】タブをクリックし、【用紙サイズ】ボックスの用紙サイズをクリックします。



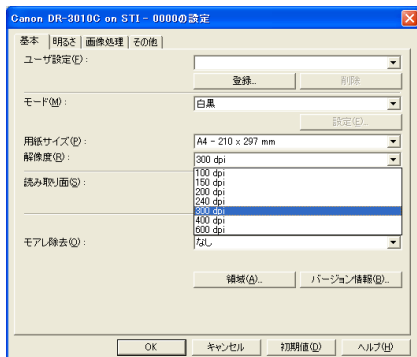
メモ

- 以下のような原稿をスキャンするときは、【自動検知】を選択します。
 - ・非定形サイズの原稿。
 - ・サイズの異なる原稿が混在している場合。
 - ・長尺モードを設定する場合。（→ P.36「長尺モードの設定」）
- 【自動検知】を選択すると、【スキャン領域】ダイアログボックスの【領域】の設定が無効になります。
- アプリケーションによっては、【自動検知】を選択すると動作が不安定になる場合があります。このようなときは、【自動検知】を選択しないでください。

読み取る解像度の設定

原稿を読み取る際の解像度を設定する操作について説明します。

- 1 [基本] タブをクリックし、[解像度] ボックスの読み取る解像度を選択します。



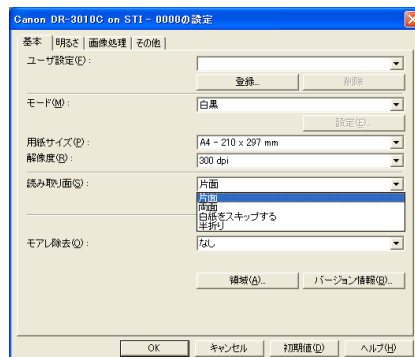
メモ

- 解像度を高くすると画像はきれいになりますが、ファイルサイズが大きくなります。
- 解像度を 300dpi 以下に設定すると、[モアレ除去] の設定が有効になり、読み取った画像にモアレが発生するときにモアレ除去の設定をします。

読み取り面の設定

スキャンする面を選ぶ操作について説明します。

- 1 [基本] タブを選択し、[読み取り面] ボックスのスキャンする面を選択します。



メモ

- 読み取る面に合わせて以下のいずれかの項目を設定してください。

[片面]

給紙口にセットした原稿の表面をスキャンします。

[両面]

原稿の両面をスキャンします。

[白紙をスキップする]

スキャンした画像から原稿が白紙であるかないかを判断し、白紙と判断された画像の保存をスキップします。

- ・ [白紙をスキップする] を選択すると、[設定] が有効になり、[白紙スキップの設定] ダイアログボックスを開きます。
- ・ 白紙がスキップされなかったり、白紙でない原稿がスキップされる場合は、[白紙スキップの設定] ダイアログボックスでコンテンツ密度を調整します。



- ・コンテンツ密度は白紙スキップさせる原稿にあわせて調整します。白紙原稿がスキップされないときはコンテンツ密度を高く、白紙でない原稿がスキップされる場合はコンテンツ密度を低く調整します。
- ・[ガンマ設定] ダイアログボックスの [カスタム] チェックボックスがオンになっている場合は、白紙スキップが正常に動作しないことがあります。
- ・アプリケーションの設定に読み取り面の設定 (片面、両面) がある場合は、「片面」に設定してください。

[半折り]

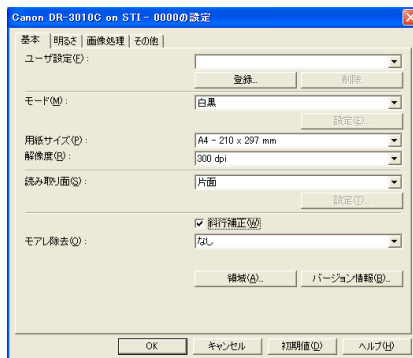
原稿を 2 つ折りにしてセットし、両面をスキャンしてできた表と裏の画像を 1 枚の画像に合成します。

- ・[その他] タブの [パッチ区切り] ボックスの [パッチコード] をクリックすると、[半折り] をクリックすることができません。

斜めに読み取られた画像の補正

原稿が斜めに給紙されたときに読み取った画像の斜行を検知して、画像の傾きを補正する操作について説明します。

- 1 [基本] タブをクリックし、ダイアログボックスの [斜行補正] チェックボックスをオンにします。



メモ

原稿によっては斜行補正が正常に作動しなかったり、画像の一部が欠落することがあります。

モアレ（縞模様）の除去

カラー原稿やグレースケールでスキャンしたときに発生しやすいモアレ（縞模様）を除去する操作について説明します。

- 1 [基本] タブをクリックし、[モアレ除去] ボックスの [高画質モアレ除去] をクリックします。



メモ

- [高速モアレ除去] は、解像度が 240dpi 以下のとき表示されます。
- [高画質モアレ除去] は、解像度が 300dpi 以下のとき表示されます。300dpi を超える解像度を選択すると、モアレ除去は設定できません。
- 解像度に合わせて以下のいずれかの項目を設定してください。

[なし]

モアレ除去を行いません。

[高速モアレ除去]

読み取り速度を優先させるモードで、300dpi でスキャンした画像から指定した解像度の画像を生成します。

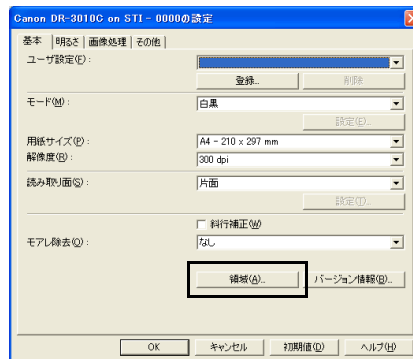
[高画質モアレ除去]

画質を優先させるモードで、600dpi でスキャンした画像から指定した解像度の画像を生成します。画質は高画質になりますが、読み取り速度は低下します。

読み取り領域の調整

原稿の一部をスキャンする操作について説明します。

- 1 [基本] タブをクリックし、ダイアログボックスの [領域] をクリックします。

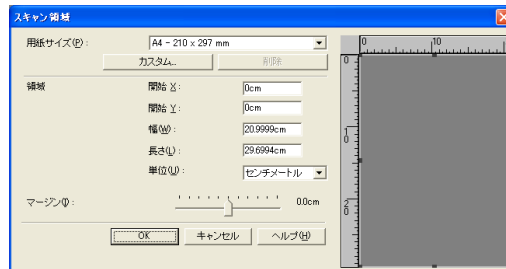


メモ

[用紙サイズ] ボックスで設定したサイズの一部を読み取るときや、非定形の原稿サイズを登録するための [スキャン領域] ダイアログボックスが表示されます。

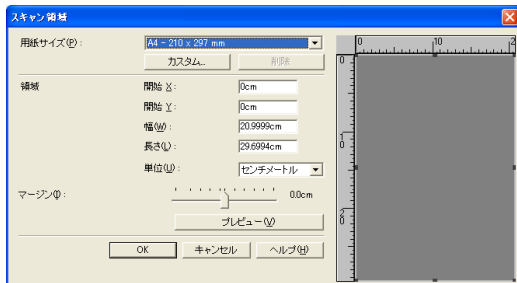
[スキャン領域] ダイアログボックスは ISIS ドライバ、TWAIN ドライバで異なり、TWAIN ドライバの場合、使用するアプリケーションによって 2 種類のダイアログボックスが表示されます。

[スキャン領域] ダイアログボックス (ISIS ドライバ)



【スキャン領域】ダイアログボックス (TWAIN ドライバ)

設定ダイアログボックスに「スキャン」が表示されるアプリケーションの場合



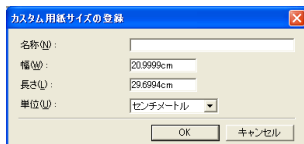
ジョブ登録ツールなど、設定ダイアログボックスに【OK】が表示されるアプリケーションの場合、領域ウィンドウと【プレビュー】は表示されません。



用紙サイズ

【用紙サイズ】ボックスの設定と連動し、スキャンする原稿のサイズを選択します。

- ・【カスタム】をクリックすると、【カスタム用紙サイズの登録】ダイアログボックスが開き、非定形サイズの原稿をカスタム用紙サイズとして登録することができます。



領域

スキャンする領域を選択します

- ・以下の設定のときは、領域の設定は無効になります。
 - 1.【用紙サイズ】ボックスの【自動検知】をクリックした場合
 - 2.【画像処理】タブの【文字向検知】チェックボックスをオンにした場合
- ・【基本】タブの【斜行補正】チェックボックスをオンにした場合、指定した領域がずれてスキャンされます。

領域ウィンドウ

用紙サイズの設定に連動して領域ウィンドウの表示が変化し、領域の設定に合わせて領域ウィンドウ内の領域が変化します。

- ・領域ウィンドウ内の領域は、マウスでカーソルをドラッグして領域を指定することもできます。
- ・CapturePerfect 3.0 では、最後にスキャンした画像が領域ウィンドウに表示されます。

マージン

スキャン領域の上下左右にマージンを設定し、原稿の端が欠けないようにしたり、画像のまわりに黒い枠がつかないようにスキャン領域を調整します。

- ・原稿の端が欠けるようなときは、スライダを右に動かしてスキャン領域を広くします。
- ・画像のまわりに黒い枠がつかないようにするときには、スライダを左に動かしてスキャン領域を狭くします
- ・マージンの単位は、「単位」の設定に合わせて変更します。

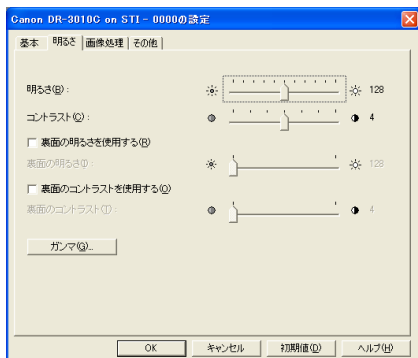
プレビューボタン (TWAIN ドライバのみ)

「プレビューボタン」をクリックすると、原稿を 1 枚スキャンして領域ウィンドウにプレビュー画像が表示されます。

明るさ / コントラストの調整

原稿を読み取るときの明るさとコントラストを調整する操作について説明します。

- 1 [明るさ] タブをクリックし、ダイアログボックスの [明るさ] スライダ、[コントラスト] スライダを調節して、原稿を読み取る明るさとコントラストを設定します。



●明るさとコントラストの調整は、[基本] タブの [モード] ボックスの設定によって、調整できる項目が以下のように制限されます。

モード	明るさ	コントラスト	裏面の明るさ	裏面のコントラスト
白黒	○	○	○	○
誤差拡散	○	○	○	○
アドバンスドテキストエンハンスメント	○	×	×	×
アドバンスドテキストエンハンスメントⅡ	○	○	×	×
256 階調グレー	○	○	○	○
24 ビットカラー	○	○	○	○
カラー白黒検知	○	○	○	○

○：設定可 ×：設定不可



メモ

●読み取る原稿に合わせて設定できる項目の内容は以下のとおりです。

[明るさ]

読み取る原稿の画像の明るさを調整します。

- ・ 画像が濃いときや、裏面の文字が写り込むようなときは、スライダを右に動かして設定値を高くします。
- ・ 画像が薄いときは、スライダを左に動かして設定値を低くします。

[コントラスト]

読み取る原稿の画像のコントラストを調整します。

[裏面の明るさを使用する] チェックボックス

原稿の表裏の濃淡に差があるときにオンにし、裏面の明るさを調整します。

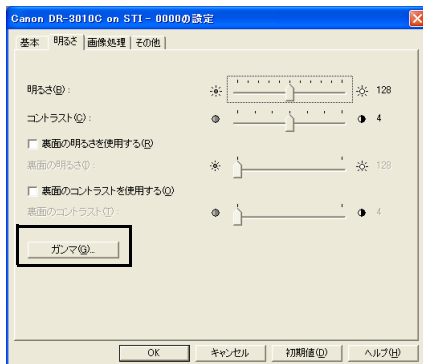
[裏面のコントラストを使用する] チェックボックス

原稿の表裏の濃淡に差があるときにオンにし、裏面のコントラストを調整します。

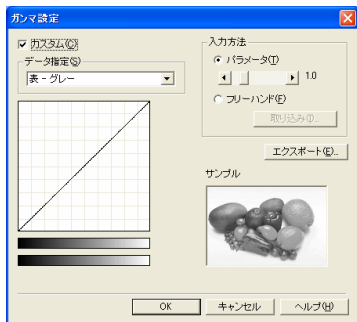
ガンマカーブの設定

原稿を読み取るときのガンマ補正を設定する操作について説明します。

- 1 [明るさ] タブをクリックし、ダイアログボックスの [ガンマ] をクリックします。



- 2 [ガンマ設定] ダイアログボックスの [カスタム] チェックボックスをオンにし、各項目の設定をします。



メモ

- [ガンマ設定] ダイアログボックスの [カスタム] チェックボックスをオンにすると、[明るさ] タブの設定はすべて自動になります。

- 読み取る原稿に合わせて設定できる項目の内容は以下のとおりです。
データ指定

カスタム設定を適用する面と色を指定します。

- ・ 指定した色に合わせてカラーバー、サンプル画像の色が変わります。

入力方法

設定方法を選択してガンマ補正値を設定します。

[パラメータ]

スライダを左右に動かして 0.2 ~ 5.0 の範囲でガンマ補正値を指定します。

- ・ ガンマ補正値とガンマカーブグラフ、サンプル画像の色は連動して変化します。
- ・ ガンマカーブグラフ上のポイントをマウスでクリックすると、クリックしたポイントに合わせてガンマカーブ、サンプル画像の色が変化します。
- ・ ガンマカーブグラフ上でマウスをドラッグして移動させると、ガンマカーブが追従します。

[フリーハンド]

ガンマテーブルの入力値に対する出力値をマウスで指定します。

- ・ ガンマカーブグラフ上のポイントをマウスでクリックすると、クリックしたポイントに出力値が設定されます。
- ・ ガンマカーブグラフ上でマウスをドラッグして移動させると、マウスの動きに合わせて出力値が設定されます。

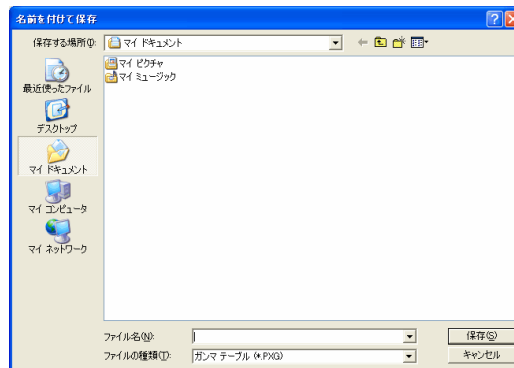
[取り込み]

[エクスポート] で書き出したガンマテーブルデータ (*.pxg) を取り込みます。

- ・ 取り込んだガンマデータは、ガンマカーブグラフに反映されます。

[エクスポート]

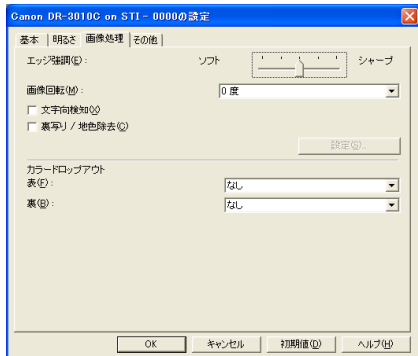
設定したガンマ補正値を、ガンマテーブルデータ (*.pxg) としてファイルに書き出します。



画像の輪郭の調整

原稿を読み取るときの画像の輪郭を調整する操作について説明します。

- 1 [画像処理] タブをクリックし、ダイアログボックスの [エッジ強調] スライダーを調節して、原稿を読み取る画像の輪郭を設定します。



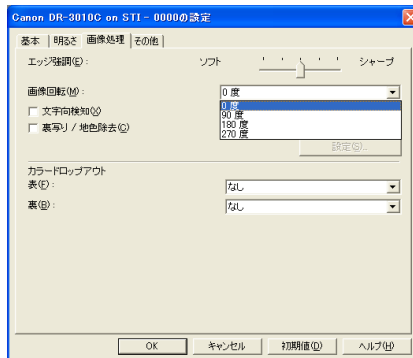
メモ

スライダーを「ソフト」の方向に動かすと画像の輪郭が柔らかくなり、「シャープ」の方向に動かすと画像の輪郭がくっきりとします。

画像の回転

読み取った画像の向きを回転する操作について説明します。

- 1 [画像処理] タブをクリックし、[画像回転] ボックスの画像を回転させる角度をクリックします。



メモ

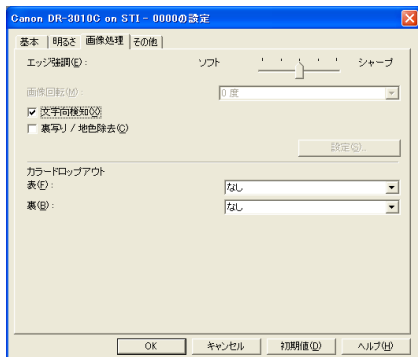
セットした原稿の向きと指定した角度により読み取った画像が次のように回転します。

原稿：下向き (ウラ面)				
画像回転 (右回転)	0度	90度	180度	270度
出力画像				

文字向き検知

原稿を読み取るときの文字の向きを検知し、出力画像を自動で正しい向きに修正する操作について説明します。

- 1 [画像処理] タブをクリックし、[文字向検知] チェックボックスをオンにします。



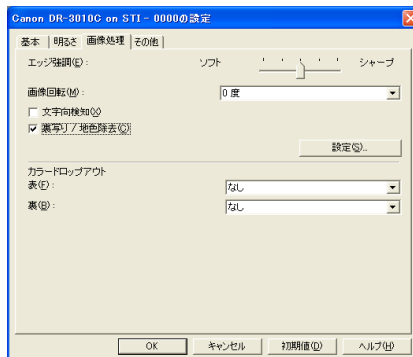
メモ

- [文字向検知] チェックボックスをオンにすると、[画像回転] ボックスと、[スキャン領域] ダイアログボックスの領域の設定が無効になります。
- アプリケーションによっては、文字向き検知に対応していない場合があります。[文字向検知] チェックボックスをオンにするとアプリケーションが正常に動作しなくなるようなときは、[文字向検知] チェックボックスをオフにしてください。

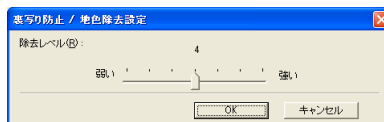
裏写り / 原稿の地色の除去

薄い原稿や裏面が濃い原稿をスキャンしたときに発生する裏写りや、原稿の地色を除去する操作について説明します。

- 1 [画像処理] タブをクリックし、[裏写り / 地色除去] チェックボックスをオンにして、[設定] をクリックします。



- 2 [裏写り防止 / 地色除去設定] ダイアログボックスの[除去レベル] スライダーを調節して、裏写りや原稿の地色の除去レベルを設定します。



特定の色を読み飛ばす

赤・青・緑の3色の中から指定した色の罫線や枠線を読み飛ばして原稿を読み取る操作について説明します。

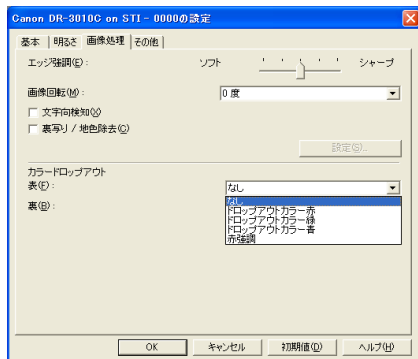


メモ

[基本] タブの [モード] ボックスの [24 ビットカラー] または [カラー自動検知] をクリックすると、設定することができません。

1

[画像処理] タブをクリックし、[カラードロップアウト] ボックスの読み飛ばす色をクリックします。



メモ

原稿の表面と裏面を個別に設定することができます。

赤色を強調する

原稿を白黒スキャンするときに赤色を強調する操作について説明します。

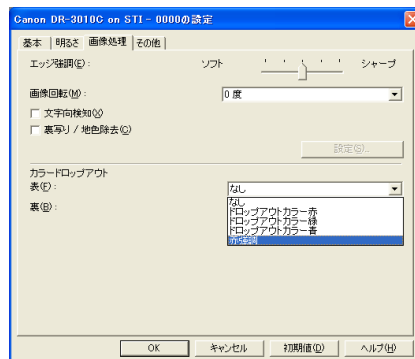


メモ

[基本] タブの [モード] ボックスで [24 ビットカラー] または [カラー自動検知] を選択すると、設定することができません。

1

[画像処理] タブをクリックし、[カラードロップアウト] ボックスの [赤強調] をクリックします。



メモ

原稿の表面と裏面を個別に設定することができます。

読み取り中断時の処理の設定

原稿を読み取り中に紙づまりなどで給紙が停止したときの処理方法を設定する操作について説明します。

- 1 [その他] タブをクリックし、[継続モード] チェックボックスをオンにして、[OK] をクリックします。



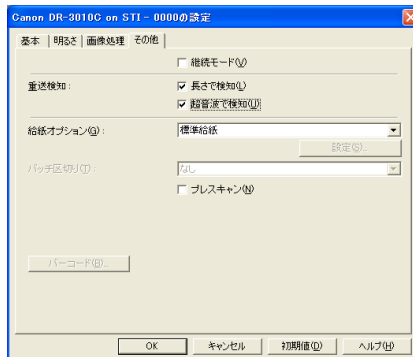
メモ

[継続モード] チェックボックスをオンにすると、アプリケーションにエラーを送信しないで読み取りを中断します。給紙が停止した原因を処理したあと、通常の操作で読み取りを継続することができます。

原稿の重送検知

原稿が重なって給紙されたことを検知して、搬送を停止させる機能で、読み取る原稿に合わせて設定する操作について説明します。

- 1 [その他] タブをクリックし、[重送検知] の [長さで検知] チェックボックス、[超音波で検知] チェックボックスを読み取る原稿の束に合わせて選択し、[OK] をクリックします。



メモ

[長さで検知]

サイズが同じ原稿の束をスキャンするときに有効な検知方法で、1枚目の原稿の長さを基準にして、基準の長さより50mm以上長い、または50mm以上短い原稿を検知したときに重送と判断して給紙を停止させます。

[超音波で検知]

サイズが異なる原稿の束をスキャンするときに有効な検知方法で、重なって給紙された原稿と原稿の隙間を超音波で検知したときに重送と判断して給紙を停止させます。

- 2つの検知方法は、同時に利用することができます。
- 原稿の重なりが50mm未満のときや、静電気などで原稿が密着しているときは、超音波による重送検知が正常に検知できない場合があります。
- [超音波で検知] チェックボックスをオンにした場合は、半折りでのスキャンができません。

給紙オプションについて

原稿の給紙方法を選ぶ操作について説明します。

- 1 [その他] タブをクリックし、[給紙オプション] ボックスの原稿の給紙方法をクリックします。



メモ

●読み取る原稿に合わせて設定できる給紙方法は以下のとおりです。

【標準給紙】

一度にセットできる少ない原稿の束をスキャンするときに有効で、セットした原稿がなくなるとスキャンを停止します。

【パネルで給紙】

サイズの異なる用紙が混在している原稿の束を連続してスキャンするときに有効で、原稿をセットした後、スキャンパネルのスタートボタンでスキャンを開始し、ストップボタンでスキャンを停止します。

・サイズの異なる原稿が混在しているときなど、原稿をセットした後に原稿ガイドの位置を調整しながらスキャンすることができます。

【自動給紙】

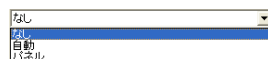
同じサイズの原稿の束を連続してスキャンするときに有効で、原稿のセットをスキャナが検知するとスキャンを開始し、ストップボタンでスキャンを停止します。

- ・[自動給紙] をクリックすると、[設定] が有効になり、原稿を検知してからスキャンを開始するまでの時間を設定できます。設定できる時間は、0秒～60秒です。



バッチ区切り (ISIS ドライバのみ)

アプリケーションでバッチ区切りを有効にしてスキャンを開始したときのバッチ区切りのタイミングを選びます。([標準給紙] をクリックすると、バッチ区切りが無効になります)

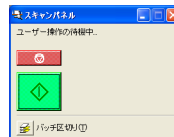


【自動】

原稿の束ごとにバッチが区切られます。

【パネル】

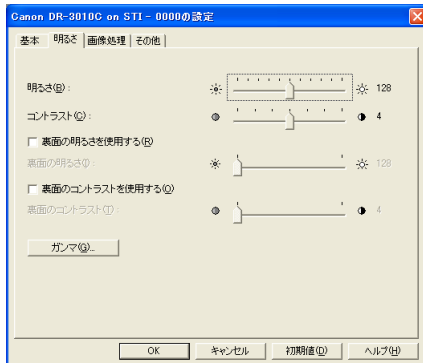
スキャンパネルのバッチ区切りボタンを押下状態にしてスキャンを継続したときにバッチが区切られます。(→ P.29 「スキャンパネルについて」)



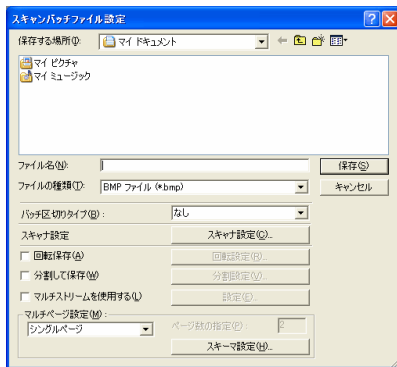
プレスキャン

原稿を1枚スキャンして画像を確認し、明るさやコントラストを調整してスキャンをする操作について説明します。

1 [その他] タブをクリックし、[プレスキャン] チェックボックスをオンにします。



2 [スキャン] メニューの [スキャンバッチファイル] をクリックします。保存する場所、保存するファイル名、ファイル形式を設定し、[保存] をクリックしてスキャンを始めます。



3 [プレスキャン] ウィンドウの [明るさ] と [コントラスト] をスライダや上下ボタンで調整してスタートボタンをクリックします。



メモ

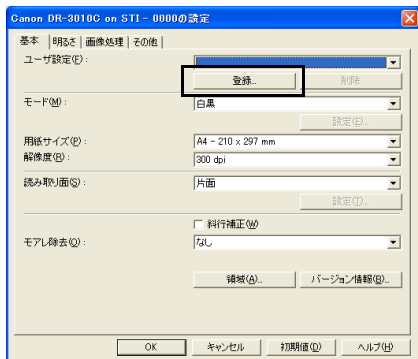
[プレスキャン] ウィンドウは、スキャンした1枚目の原稿の画像で明るさとコントラストを確認、調整してからスキャンするための機能です。[プレスキャン] ウィンドウに表示された画像は、拡大して確認することができます（[プレスキャン] ウィンドウに表示された画像にマウスを移動すると、左クリックで画像を拡大、右クリックで画像を縮小することができます）。

明るさとコントラストの設定値を変更すると、[プレスキャン] ウィンドウに表示された画像に反映されます。画像を確認したあと、スタートボタンをクリックすると調整した設定でスキャンを続行します。ストップボタンをクリックするとスキャンを中止します。

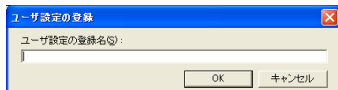
読み取り条件の登録

設定した読み取り条件に名前を付けて登録する操作について説明します。

- 1 [基本] タブ、[明るさ] タブ、[画像処理] タブ、[その他] タブの各項目の読み取り条件を設定します。
- 2 [基本] タブをクリックし、ダイアログボックスの[登録] をクリックします。



- 3 [ユーザ設定の登録] ダイアログボックスの[ユーザ設定の登録名] に名前を入力して [OK] をクリックします。



バージョンの確認

現在使っている ISIS/TWAIN ドライバのバージョンを確認する操作について説明します。

- 1 [基本] タブをクリックし、ダイアログボックスの [バージョン情報] をクリックします。



- 2 [バージョン情報] ダイアログボックスの内容を確認したら [OK] をクリックします。



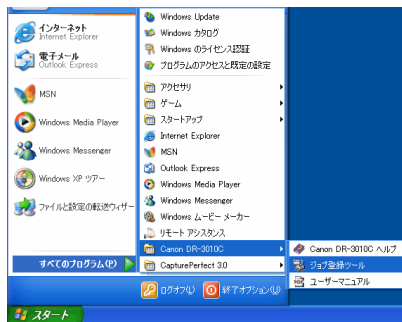
第6章 ジョブ登録ツールの設定

1. ジョブ登録ツールの起動.....	70
2. ジョブ登録ツール設定ダイアログボックス.....	71
ジョブ登録ツールダイアログボックス.....	71
新規 / 編集ダイアログボックス.....	71
アプリケーション起動の設定.....	75
管理ダイアログボックス.....	77
登録ジョブ一覧の印刷.....	79

1. ジョブ登録ツールの起動

ジョブ登録ツールは、ISIS/TWAIN ドライバと一緒にインストールされる TWAIN 互換アプリケーションソフトウェアで、操作パネルから実行するジョブの登録に使用します。ジョブ登録ツールは以下の手順で起動します。

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] をクリックします。次に [Canon DR-3010C] をクリックし、[ジョブ登録ツール] をクリックします。

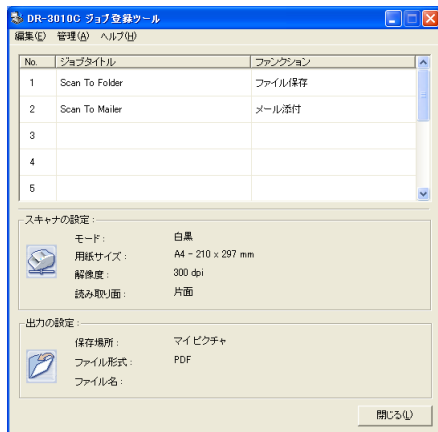


2. ジョブ登録ツール設定ダイアログボックス

ジョブ登録ツール設定ダイアログボックスは、[ジョブ登録ツール] ダイアログボックス、[新規 / 編集] ダイアログボックスと [管理] ダイアログボックスで構成されており、[新規 / 編集] ダイアログボックスは、ファンクションの設定に合わせたダイアログボックスが表示されます。

ジョブ登録ツールダイアログボックス

[スタート] メニューから「ジョブ登録ツール」を起動したときに表示されるダイアログボックスです。



登録ジョブ一覧

登録してあるジョブの番号と、割り当てられている現在の設定を表示します。登録ジョブ一覧からジョブをクリックし、[編集] メニューの [新規 / 編集] をクリックすると [新規 / 編集] ダイアログボックスが表示されます。

No.	ジョブタイトル	ファンクション
1	Scan To Folder	ファイル保存
2	Scan To Mailer	メール添付
3		
4		
5		

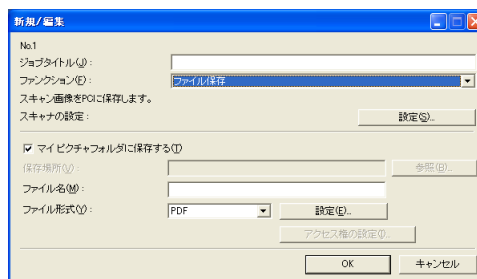
[閉じる] ボタン

[ジョブ登録ツール] ダイアログボックスを閉じます。

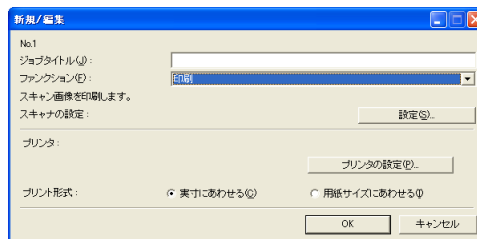
新規 / 編集ダイアログボックス

[新規 / 編集] ダイアログボックスは、[ジョブ登録ツール] ダイアログボックスのジョブをクリックし、[編集] メニューの [新規 / 編集] をクリックしたときに表示されるダイアログボックスです。表示される [新規 / 編集] ダイアログボックスは、ジョブに登録されているファンクションの設定によって、以下のダイアログボックスが表示されます。

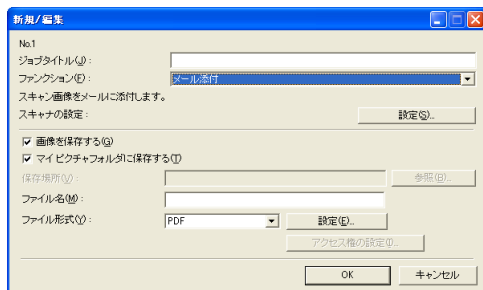
ファイル保存



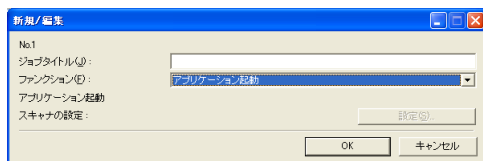
印刷



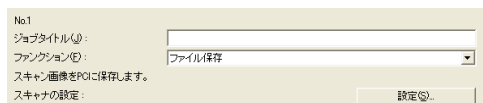
メール添付



アプリケーション起動



各ファンクション共通の設定項目



ジョブ番号 [No.1 ~ 9]

選択したジョブの番号を表示します。設定した内容は、表示されている番号のジョブに登録されます。

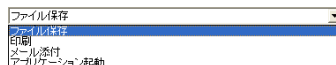
ジョブタイトル

[ジョブ登録ツール] ダイアログボックスの「ジョブタイトル」に表示されるジョブタイトルを入力します。

- ジョブタイトルに使用できる文字数は、半角英数カナで最大 40 文字、全角で最大 20 文字です。

ファンクション

ジョブごとに設定するファンクションを選びます。



- ファンクションを変更すると、[新規 / 編集] ダイアログボックスが変更されます。

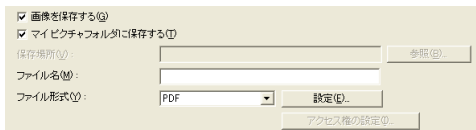
スキャナの設定

[ファンクション] ボックスで [ファイル保存]、[印刷]、[メール添付] をクリックしたときに有効になり、[設定] をクリックして、スキャナの設定をします。



- スキャナの設定方法については、「第 5 章 ISIS/TWAIN ドライバの設定 (→ P.52)」を参照してください。

画像ファイルを保存するための設定項目



【画像を保存する】チェックボックス

【ファンクション】ボックスで【メール添付】をクリックしたときに表示されるチェックボックスで、スキャンした画像を保存する場合にオンにします。

【マイピクチャフォルダに保存する】チェックボックス

【マイ ドキュメント】フォルダの中の【マイ ピクチャ】フォルダに画像ファイルを保存します。

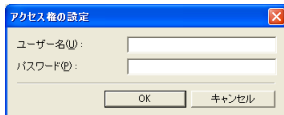
- このチェックボックスをオフにすると、保存場所の設定と【アクセス権の設定】が有効になります。

保存場所

【マイピクチャフォルダに保存する】チェックボックスをオフにしたときに有効になり、スキャンした画像を保存するフォルダ名を入力します。または、【参照】をクリックしてフォルダを指定します。

【アクセス権の設定】ボタン

【マイピクチャフォルダに保存する】チェックボックスをオフにしたときに有効になり、保存場所で指定したネットワーク上の共有フォルダにアクセスするためのユーザー名とパスワードを設定します。



- ・ ネットワーク上の共有フォルダには、アクセス権を設定して利用者を制限している場合があります。この場合、ユーザー名とパスワードを入力しなければ共有フォルダにアクセスすることができません。コンピュータの管理者に共有フォルダに設定されているアクセス権を確認し、ユーザー名とパスワードを入力します。

ファイル名

保存するファイル名を入力します。

- 入力できる文字数は、半角英数カナで最大 32 文字です。
- ファイル名には、スキャンしたときのタイムスタンプ (YYYYMMDDHHmmSSMMM) が自動的に末尾に付け加えられます。
例) ファイル名に「Sample」を指定してスキャンした日時が 2008 年 5 月 24 日 21 時 16 分 32.836 秒の場合
→ Sample20080524211632836.pdf

ファイル形式

保存するファイル形式を選びます。

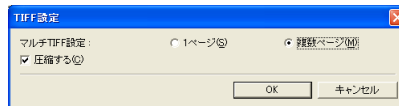


【TIFF】、【PDF】または【JPEG】をクリックすると【設定】が有効になります。

【設定】ボタン

ファイル形式で、【TIFF】、【PDF】または【JPEG】をクリックした場合に有効になり、それぞれの設定ダイアログボックスを表示します。

TIFF 設定 ダイアログボックス



【マルチ TIFF 設定】

複数ページの原稿をスキャンしたときの画像ファイルの保存方法を設定します。

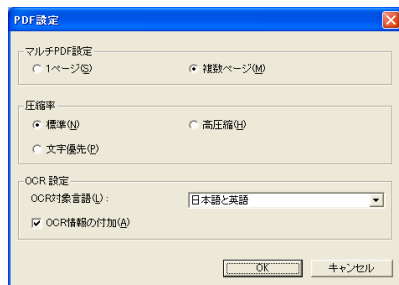
- ・ 【1 ページ】をクリックすると、1 ページ / 1 ファイルで画像ファイルが保存されます。
- ・ 【複数ページ】をクリックすると、全ページが 1 つの画像ファイルに保存されます。

〔圧縮する〕チェックボックス

このチェックボックスをオンにすると、画像ファイルが圧縮されて保存されます。画像の種類が白黒 2 値の場合「CCITT_ グループ 4」、画像の種類がグレーおよびカラーの場合は「JPEG」で圧縮されます。このチェックボックスをオフにした場合、保存されるファイルサイズが大きくなります。

- ・「CCITT_ グループ 4」: FAX 機器などのデータ通信で使用されている圧縮形式で、白黒 2 値画像の圧縮形式として使用されます。
- ・「JPEG」: グレースケールやカラー画像の保存に使用されている圧縮形式です。〔圧縮する〕チェックボックスをオンにした場合は、JPEG ファイルの標準の圧縮率が適用されます。
- ・お使いのアプリケーションが上記の圧縮形式に対応していない場合、スキャンした画像ファイルが開けないことがあります。このようなときは〔圧縮する〕チェックボックスをオフにしてスキャンしてください。

PDF 設定ダイアログボックス



マルチ PDF 設定

複数ページの原稿をスキャンしたときの PDF ファイルの保存方法を設定します。

- ・〔1 ページ〕をクリックすると、1 ページ / 1 ファイルで PDF ファイルが保存されます。
- ・〔複数ページ〕をクリックすると、全ページが 1 つの PDF ファイルに保存されます。

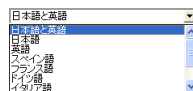
圧縮率

PDF ファイルの圧縮率を選択します。

- 〔標準〕をクリックすると、標準の圧縮率で保存されます。
- 〔高圧縮〕をクリックすると、ファイルが高圧縮で保存されます。画質は若干劣化しますがファイルのサイズは小さくなります。
- 〔文字優先〕をクリックすると、文字の可読性を損なわないように、文字以外の部分が圧縮されて保存されます。
 - ・圧縮率の設定は、スキャナ設定時に指定した読み取りの〔モード〕ボックスの〔256 階調グレー〕または〔24 ビットカラー〕をクリックした場合に有効です。読み取りの〔モード〕ボックスの〔白黒〕、〔誤差拡散〕などの 2 値画像をクリックした場合は、読み取る原稿によりファイルのサイズが変わります。

OCR 対象言語

〔OCR 情報の付加〕チェックボックスをオンにしたとき、読み取る活字の対象となる言語をリストボックスから選びます。



- ・〔簡体字中国語〕または〔繁体字中国語〕をクリックした場合、中国語以外の環境では、中国語の OCR 結果を正常に表示させることはできません。

〔OCR 情報の付加〕チェックボックス

このチェックボックスをオンにすると、画像の中の活字部分が認識され、認識された部分にテキストデータが付加された状態で保存されます。

- ・OCR 情報を付加した PDF ファイル (*.pdf) には、画像として取り込まれた原稿の文字列が文字認識されてテキストデータとして保存されています。

JPEG ファイル設定ダイアログボックス

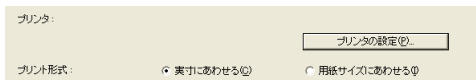


品質

画質と圧縮率のバランスを選択します。初期値は [標準] が選択されています。高画質にすると圧縮率が低くなり、ファイルサイズは大きくなります。高圧縮にするとファイルサイズは小さくなり、粗い画質になります。

- ・ [高画質]：画質を優先して圧縮します。圧縮値は 90 です。
- ・ [標準]：標準の圧縮です。圧縮値は 75 です。
- ・ [高圧縮]：圧縮率を優先して圧縮します。圧縮値は 10 です。
- ・ [任意設定]：スライダーで 0～100 の任意の圧縮値を設定する場合に使用します。

スキャンした画像をプリンタで印刷するための設定



プリンタ

画像を印刷するプリンタを表示します。プリンタの設定は [プリンタの設定] をクリックして、設定を変更します。

プリント形式

印刷するサイズを選択します。

- ・ [実寸にあわせる] をクリックすると、原稿と同じサイズで印刷します。
- ・ [用紙サイズにあわせる] をクリックすると、スキャンした原稿のサイズが印刷する用紙より大きい場合、印刷する用紙のサイズにあわせて印刷します。

ボタン

[OK]

設定の変更が反映され、[ジョブ登録ツール] ダイアログボックスに戻ります。

[キャンセル]

設定の変更が反映されずに [ジョブ登録ツール] ダイアログボックスに戻ります。

アプリケーション起動の設定

ISIS/TWAIN 互換アプリケーションをイベント登録し、[新規 / 編集] ダイアログボックスの [アプリケーション起動] をジョブに登録しておく、本体のスタートキーを押してイベント登録したアプリケーションでスキャンすることができます。ここでは、ISIS/TWAIN 互換アプリケーションをイベント登録する操作について説明します。

1

[スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。

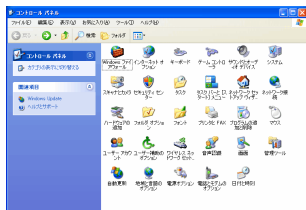


2 コントロールパネルがカテゴリ表示の場合は、クラシック表示に切り替えます。または、作業する分野で [プリンタとその他のハードウェア] をクリックし、[スキャナとカメラ] をクリックします。

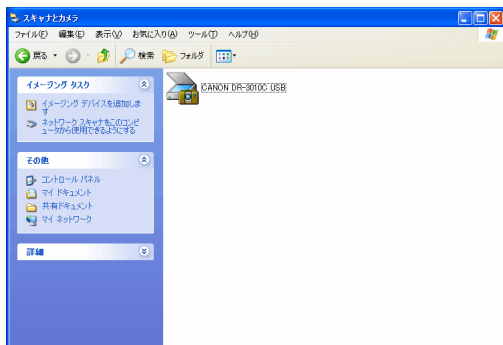
コントロールパネル (カテゴリ表示) プリンタとその他のハードウェア



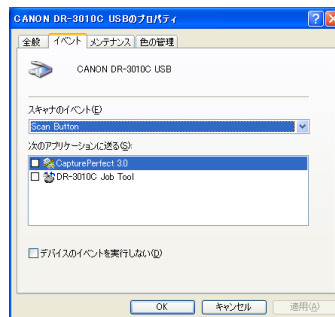
コントロールパネル (クラシック表示)



3 [CANON DR-3010C USB] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。



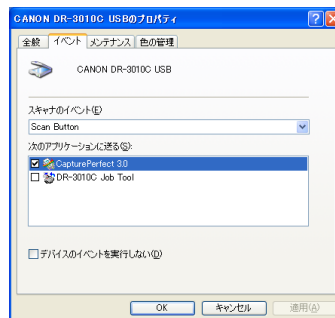
4 [イベント] タブをクリックし、[スキャナのイベント] で [Scan Button] を選択します。



お願い

- [スキャナのイベント] で [Job Tool] を選択して設定を変更しないでください。ジョブ機能が正常に動作しなくなる場合があります。
- [デバイスのイベントを実行しない] チェックボックスはオンにしないでください。ジョブ機能が動作しなくなります。

5 [次のアプリケーションに送る] に表示されているアプリケーション一覧からイベント登録するものを選択し、チェックボックスをオンにします。





お願い

[次のアプリケーションに送る]で一覧表示されている[DR-3010C Job Tool]は選択しないでください。ジョブ機能が正常に動作しなくなります。



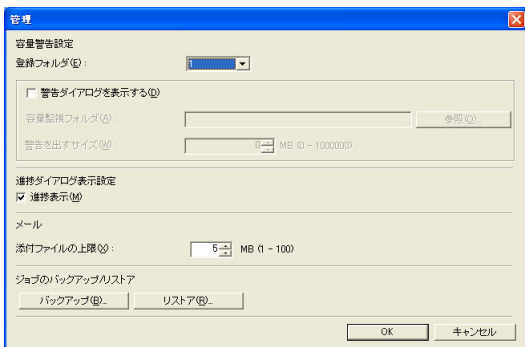
メモ

- 複数のチェックボックスをオンにしておくと、本体のスタートキーを押したときに [アプリケーションの選択] ダイアログボックスが表示され、その中からスキャンを実行するアプリケーションを選択できます。
- [次のアプリケーションに送る]に表示されているアプリケーションは、イベント機能に対応しているアプリケーションのみです。ただし、アプリケーションによっては正常に起動しないものもあります。詳細については、お使いのアプリケーションのメーカーにお問い合わせください。

6 [OK] ボタンをクリックします。

管理ダイアログボックス

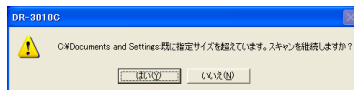
[ジョブ登録ツール] ダイアログボックスの [管理] メニューの [管理設定] をクリックしたときに表示されるダイアログボックスで、「画像を保存するフォルダの監視」、「ジョブ実行時の進捗表示」、「メールに添付する画像ファイルのサイズ制限」、「ジョブデータのバックアップ」について設定します。



画像を保存するフォルダの監視に関する設定

容量警告設定

容量警告設定は、画像ファイルを保存するフォルダをあらかじめ特定しておき、特定したフォルダに対して保存できる容量を設定します。スキャン開始時または、スキャン中にファイルの総容量が設定したサイズを超えたときに警告メッセージを表示します。



- 容量警告設定は、最大 5 つのフォルダに設定することができます。フォルダの容量を設定するには、[登録フォルダ] ボックスの番号 (1 ~ 5) をクリックします。

[警告ダイアログを表示する] チェックボックス

選択した登録フォルダの番号に対して容量制限を行う場合にオンにし、容量制限を監視するフォルダの指定と警告を出すサイズを設定します。

容量監視フォルダ

容量制限を行うフォルダを指定します

警告を出すサイズ

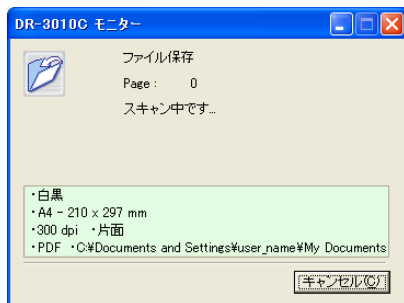
指定したフォルダに保存されるすべてのファイルの合計の上限サイズを入力します。

- CD-R などの媒体に保存するときは、媒体に保存できる容量を指定します。
- 容量制限が有効になっている場合、設定されたフォルダの中のファイルの総合計が上限サイズを超えていると、スキャン開始時に警告メッセージが表示されます。
- 警告が表示されたときは、メッセージに従い、そのまま継続するか、保存先を変更してスキャンをしてください。

ジョブの進捗表示に関する設定

[進捗表示] チェックボックス

このチェックボックスをオンにしてジョブを開始すると、[DR-3010C モニター] ダイアログボックスを表示してジョブの進捗状態を表示します。



メールに添付する画像ファイルの制限に関する設定

[添付ファイルの上限] ボックス

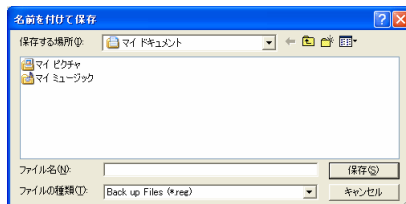
[メール添付] をクリックしたときに、添付する画像ファイルのサイズの上限を設定します。スキャンした画像のサイズが設定したサイズになるとメッセージを表示してスキャンを中止します。

- 添付ファイルの上限は、メールサーバで制限されている添付ファイルのサイズの上限を超えないでください。メールサーバの設定については、お使いのメールシステムの管理者にお問い合わせください。

ジョブのバックアップに関する設定

[バックアップ] ボタン

登録したジョブデータのバックアップファイル (*.reg) を任意のフォルダに書き出します。



[リストア] ボタン

書き出したバックアップファイル (*.reg) を読み込んで、ジョブデータを復元します。

- 登録されているジョブ No. と、バックアップファイルに同じジョブ No. がある場合は、バックアップファイルのデータが登録されているジョブに上書きされます。

ボタン

[OK]

設定の変更が反映され、[ジョブ登録ツール] ダイアログボックスに戻ります。

[キャンセル]

設定の変更を反映されずに [ジョブ登録ツール] ダイアログボックスに戻ります。

登録ジョブ一覧の印刷

【管理】メニューの【印刷】をクリックして表示される印刷ダイアログボックスで、登録ジョブ一覧をプリンタに印刷することができます。印刷される領域の大きさは、約 54mm × 86mm です。

No.	ジョブタイトル	ファンクション
1	Scan To Folder	ファイル保存
2	Scan To Mailer	メール添付
3	カラー、斜行補正してPD...	ファイル保存
4		
5		
6		
7		
8		
9		



メモ

ジョブタイトルに文字例が入りきらないときは、上図のジョブ番号 3 のように、ジョブタイトルの末尾を“...”と省略します。

第7章 メンテナンス

1. 日常のお手入れ	80
本体の清掃	80
本体内部の清掃	80
読み取りガラスとローラーの清掃	81
2. ローラーと原稿押えガイドの取り外し / 取り付け	83
ローラーの交換時期	83
フィードローラーの取り外し / 取り付け	83
リタードローラーの取り外し / 取り付け	85
原稿押えガイドの取り外し / 取り付け	87
カウンタのリセット	87

1. 日常のお手入れ

読み取り品質を維持するために、以下のような日常の清掃を行ってください。

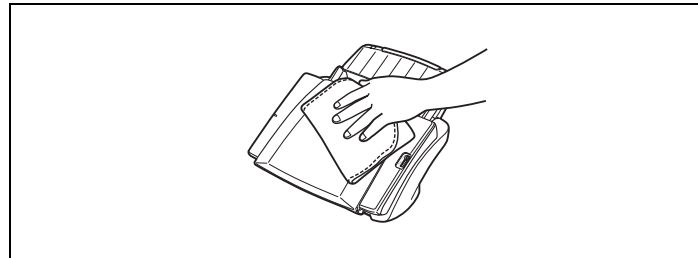


注意

- 本体および内部の清掃を行うときは、安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてから清掃を行ってください。
- 清掃の際、スプレー容器は使用しないでください。光源などの精密機器が濡れて破損する恐れがあります。
- シンナーやアルコールなどの有機溶剤は決して使用しないでください。外装が変形、変色したり、溶解する恐れがあります。また、火災や感電の原因になることもあります。

本体の清掃

本体表面は、水を染み込ませ固くしぼった布で汚れを落としたあと、きれいな乾いた布で拭きます。



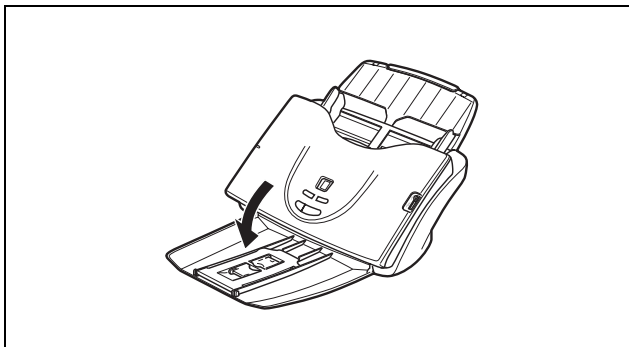
本体内部の清掃

本体内部にほこりや紙粉がたまると、スキャンした画像にすじが入る原因になります。本体内部にたまったほこりや紙粉は、ブローなどを使って定期的に取り除いてください。また、大量の原稿をスキャンしたときなどは、スキャナの電源を切った後に紙粉の除去を行ってください。

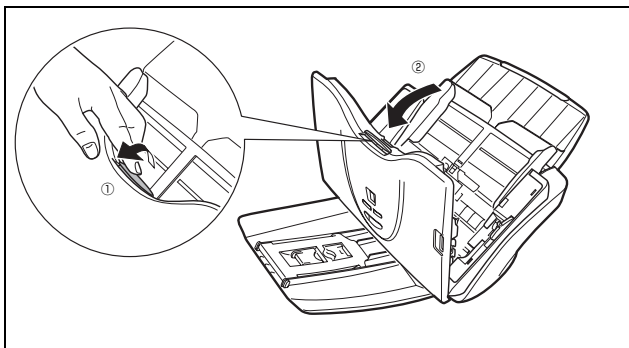
読み取りガラスとローラーの清掃

スキャンした画像にすじが入ったり、スキャンした原稿が汚れていたりする場合には、本体内部にある読み取りガラスやローラーが汚れている可能性があります。定期的に清掃してください。

- 1 排紙トレイを開きます。

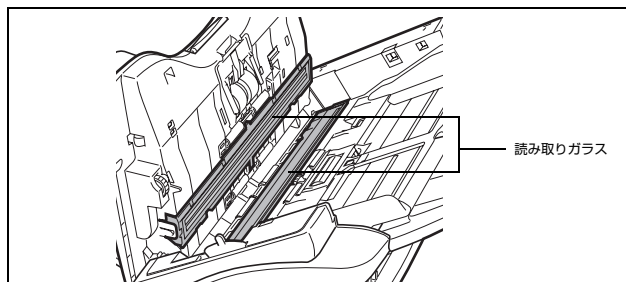


- 2 OPEN レバーを手前に引きながら (①)、前ユニットを開きます (②)。



- 3 ブロアなどを使って、本体内部にたまったほこりや紙粉を取り除きます。

- 4 きれいな乾いた布で読み取りガラスの汚れを拭き取ります。読み取りガラスは表面用と裏面用に 2 つあります。両方ともきれいに拭いてください。



注意

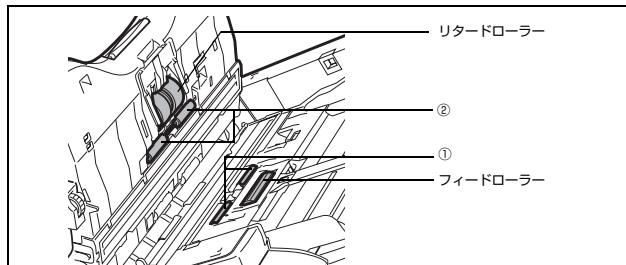
水や中性洗剤を直接スプレーしないでください。光源などの精密機器が破損する恐れがあります。



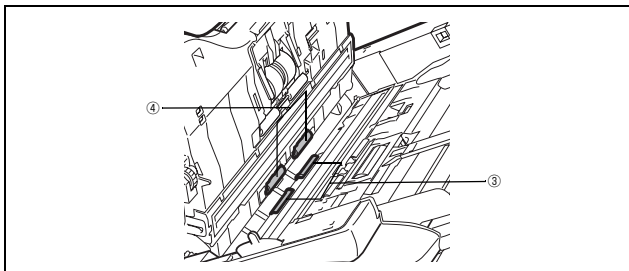
お願い

読み取りガラスにキズがあるとスキャンした画像にすじが入ったり、搬送エラーの原因になります。読み取りガラスにキズがあるようなときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

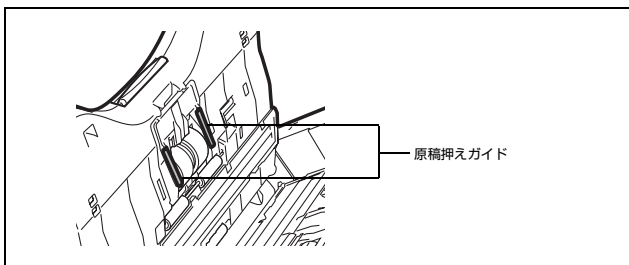
- 5 ローラー①は無理に回転させずに見えている部分を清掃します。ローラー②は回転させながら清掃します。ローラーは、水で湿らせた布で拭いて汚れを取り除いたあと、きれいな乾いたやわらかい布で拭いてください。



- 6** ローラー③は無理に回転させずに見えている部分を清掃します。ローラー④は回転させながら清掃します。ローラーは、水で湿らせた布で拭いて汚れを取り除いたあと、きれいな乾いたやわらかい布で拭いてください。



- 7** 水を含ませて固くしぼった布で、原稿押えガイドの汚れを拭きとります。



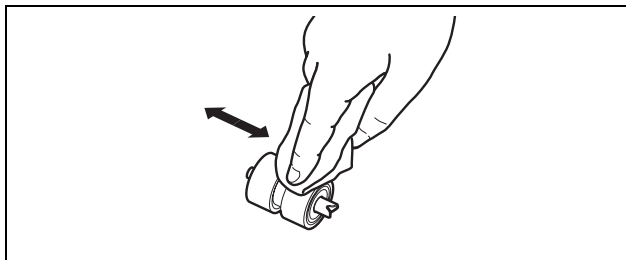
- 8** フィードローラー、リタードローラーを取り外します。(→ P.83、P.85)



お願い

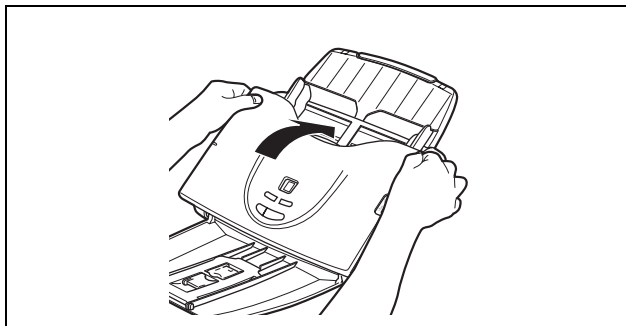
フィードローラーとリタードローラーは、本体から取り外して清掃し、清掃が終わったら本体に戻してください。

- 9** 水を含ませて固くしぼった布で、取り外したローラーの汚れを拭きとります。



- 10** 取り外したローラーを取り付けます。(→ P.84、P.86)

- 11** 前ユニット上部の左右をゆっくり押します。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



2. ローラーと原稿押えガイドの取り外し/取り付け

フィードローラー、リタードローラー、原稿押えガイドの清掃および交換の際は、それぞれの手順に従ってローラーの取り外し、取り付けを行ってください。

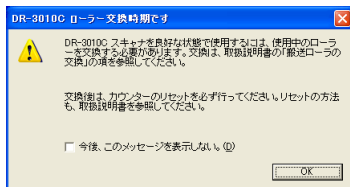


注意

ローラー、原稿押えガイドの取り外し、取り付けを行うときは、無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

ローラーの交換時期

搬送枚数が10万枚を超えた場合、コンピュータを再起動したときにローラー交換のメッセージが表示されます。交換ローラーキットをお買い求めになり、フィードローラー、リタードローラーと原稿押えガイドの交換を行ってください。



お願い

- ローラーは消耗品です。ローラーが磨耗してくると紙づまりや原稿が正しく給紙されないなどの不具合が起きやすくなります。このようなときは、交換ローラーキットをお買い求めの上、フィードローラー、リタードローラーの交換を行ってください。
- メッセージが表示される前でも、搬送のメッセージが起きやすくなってきたらローラーの磨耗を確認の上、ローラーを交換してください。
- ローラーを交換した後は、カウンタを必ずリセットしてください。(→P.87「カウンタのリセット」)
- 交換ローラーキット(フィードローラー、リタードローラー、原稿押えガイド)についてはお買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

フィードローラーの取り外し / 取り付け

フィードローラーの清掃および交換の際は、以下の手順に従ってローラーの取り外し、取り付けを行ってください。

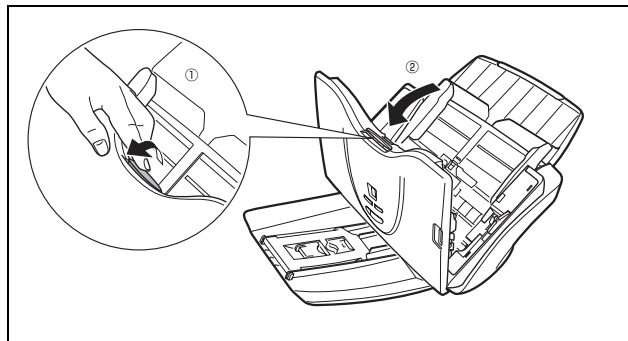


注意

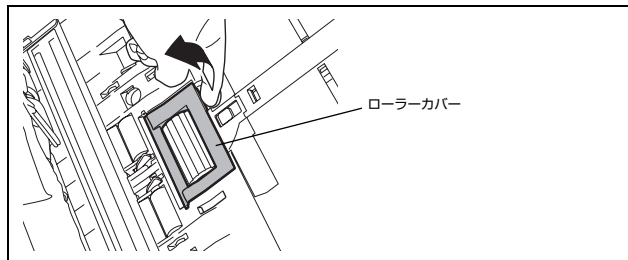
フィードローラーの取り外し、取り付けを行うときは、無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

フィードローラーの取り外し

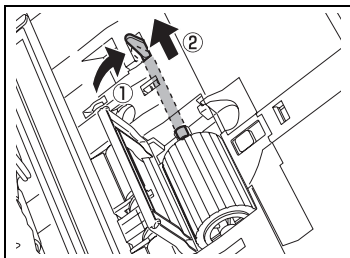
- 1 OPEN レバーを手前に引きながら ①、前ユニットを開きます ②。



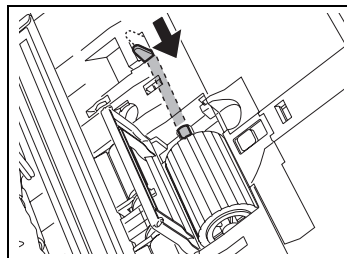
- 2 ローラーカバーのくぼみに指をかけて開きます。



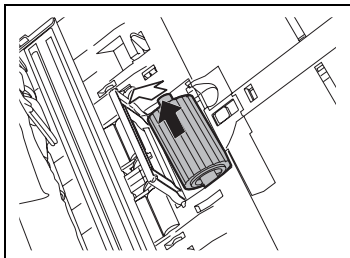
- 3** ローラー固定レバーを起こし (①)、左方向へスライドさせます (②)。



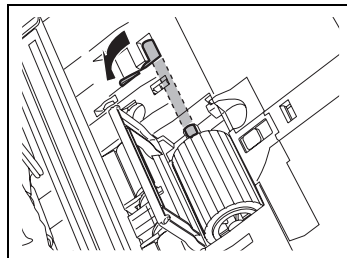
- 2** ローラー固定レバーを右にスライドさせ、フィードローラーの左側の穴にはめ込みます。



- 4** フィードローラーを左に寄せて軸から離し、取り出します。

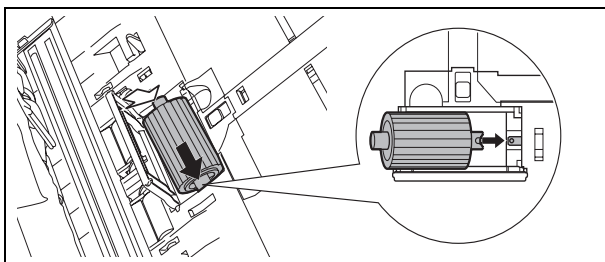


- 3** レバーを倒してフィードローラーの軸を固定します。

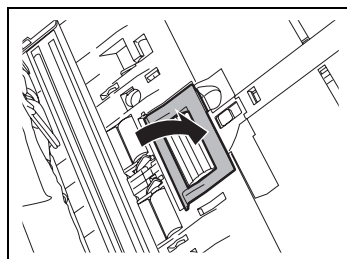


フィードローラーの取り付け

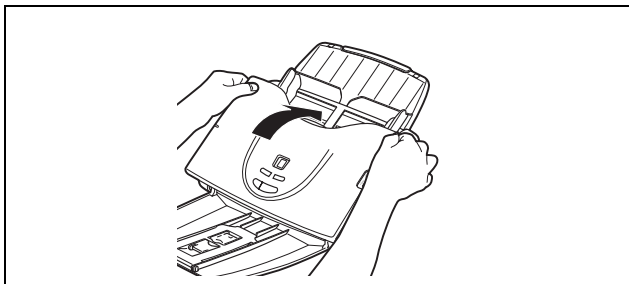
- 1** ローラーカバー内部のくぼみにフィードローラーをセットし、ローラーの切り欠き部を本体側の軸に合わせます。



- 4** ローラーカバーを閉めます。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



- 5** 前ユニット上部の左右をゆっくり押します。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



リタードローラーの取り外し / 取り付け

リタードローラーの清掃および交換の際は、以降の手順に従ってローラーの取り外し、取り付けを行ってください。

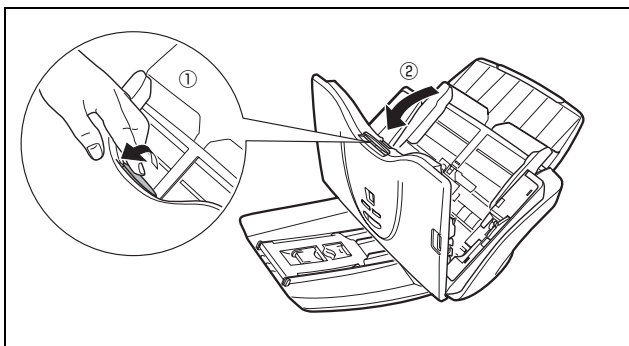


注意

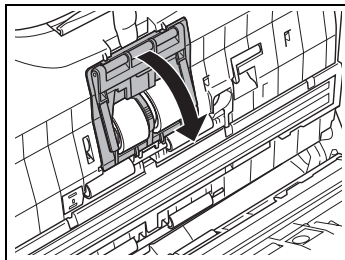
リタードローラーの取り外し、取り付けを行うときは、無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

リタードローラーの取り外し

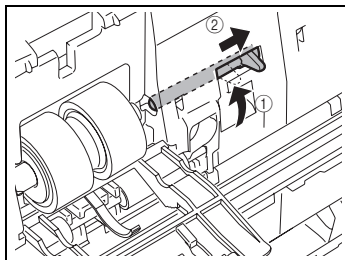
- 1** OPEN レバーを手前に引きながら ①、前ユニットを開きます ②。



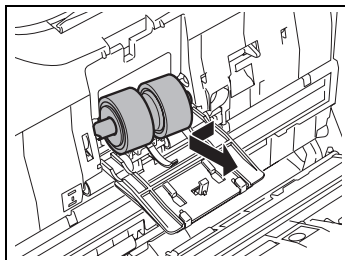
- 2** 前ユニット内側にあるローラーカバーに指を掛けて開きます。



- 3** ローラー固定レバーを起こし ①、右にスライドさせます ②。

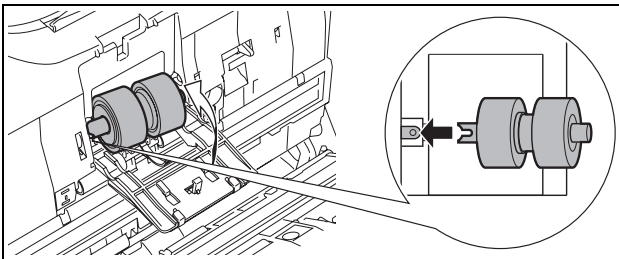


- 4** リタードローラーを矢印の方向に寄せて軸から離し、取り出します。

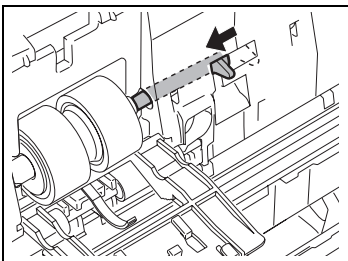


リタードローラーの取り付け

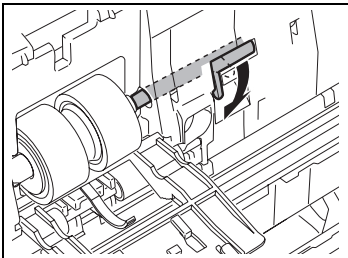
- 1** ローラーカバー内部のくぼみにリタードローラーをセットし、ローラーの切り欠き部を前ユニットの軸に合わせます。



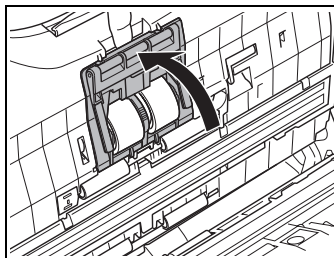
- 2** ローラー固定レバーを左にスライドさせ、リタードローラーの左側の穴にはめ込みます。



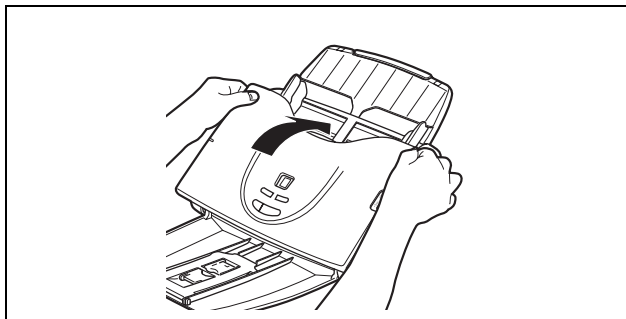
- 3** レバーを倒してリタードローラーの軸を固定します。



- 4** ローラーカバーを閉めます。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



- 5** 前ユニット上部の左右をゆっくり押します。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



原稿押えガイドの取り外し / 取り付け

原稿押えガイドの交換の際は、以降の手順に従って原稿押えガイドの取り外し、取り付けを行ってください。

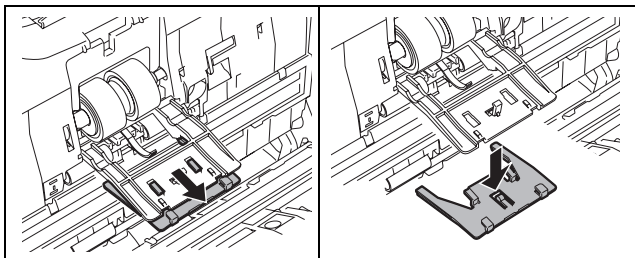


注意

原稿押えガイドの取り外し、取り付けを行うときは、無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

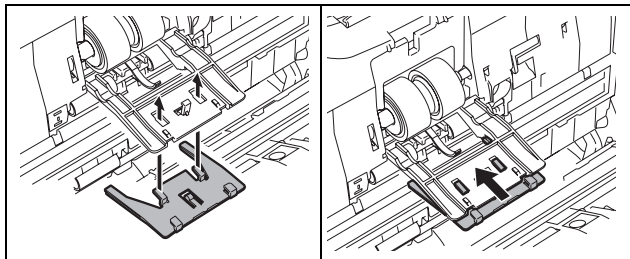
原稿押えガイドの取り外し

- 1 ローラーカバーを開き、原稿押えガイドをスライドさせて取り外します。



原稿押えガイドの取り付け

- 1 原稿押えガイドのフック（4箇所）をローラーカバーに掛け、スライドさせて取り付けます。



カウンタのリセット

ローラーを交換した後は「カウンタ」の設定ダイアログボックスを開き、カウンタをリセットしてください。

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。

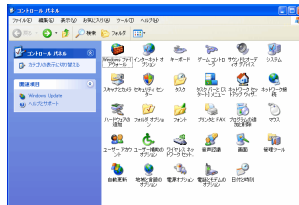


- 2 コントロールパネルがカテゴリ表示の場合は、作業する分野で [プリンタとその他のハードウェア] をクリックし、[スキャナとカメラ] をクリックします。クラシック表示の場合は、[スキャナとカメラ] をダブルクリックします。

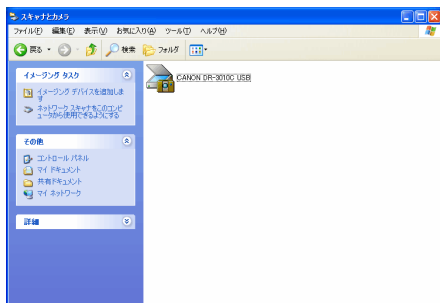
コントロールパネル (カテゴリ表示) プリンタとその他のハードウェア



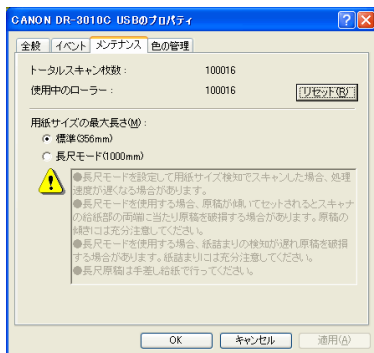
コントロールパネル (クラシック表示)



- 3 [CANON DR-3010C USB] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。



- 4 [メンテナンス] タブをクリックし、[リセット] をクリックします。



- 5 [使用中のローラー] のカウンタが 0 にリセットされたことを確認し、[OK] をクリックします。

第 8 章 トラブルシューティング

1. お問い合わせの多いトラブル.....	89
2. ソフトウェアの操作で困ったときは	91
3. Q & A (役立つヒント集)	91
4. ソフトウェアをアンインストールする	93
ISIS/TWAIN ドライバ / CaptureOnTouch / ジョブ登録 ツールのアンインストール.....	94
CapturePerfect 3.0 のアンインストール	95
5. 給紙トレイの取り外し	95

1. お問い合わせの多いトラブル

ここでは、お問い合わせの多いトラブルについて、その対処方法を説明しています。

問題が解決しないときは、お買い求めの販売店または 100 ページに記載されているサービス窓口にご相談ください。

Q1. 電源が入らない。

- A1. (1) 電源スイッチの位置を確認してください。
 (2) AC アダプタの電源プラグが確実にコンセントに接続されていることを確認してください。
 (3) 電源スイッチの位置が「AUTO」になっているときは、コンピュータの電源を入れないとスキャナの電源も入りません。

Q2. スキャナが認識されない。

- A2. (1) スキャナとコンピュータが USB ケーブルで正しく接続されていることを確認してください。
 (2) スキャナの電源が入っていることを確認してください。この前の「Q1. 電源が入らない」も参照してください。
 (3) コンピュータの USB インタフェースがスキャナに対応していない可能性があります。本製品は、すべての USB インタフェースでの動作を保証していません。
 (4) 付属の USB ケーブルでスキャナとコンピュータを接続していることを確認してください。市販の USB ケーブルによっては、スキャナに対応していないことがあります。
 (5) USB HUB を経由してスキャナとコンピュータを接続している場合は、USB HUB を取り外し、スキャナとコンピュータを直接接続してください。

Q3. 原稿が斜めに給紙される (スキャン画像が斜めになる)。

- A3. (1) 原稿ガイドをできるだけ原稿にぴったりと合わせて、まっすぐ給紙されるように原稿をセットしてください。
 (2) スキャナドライバの設定で [斜行補正] を有効にしてください。
 (3) すでに大量の枚数をスキャンしている場合は、ローラーを清掃してください。それでも原稿が斜めに給紙される場合は、ローラー交換などのメンテナンスが必要です。ローラーの清掃および交換については「第 7 章 メンテナンス」を参照してください。

- Q4. スキャナドライバで両面スキャンを設定しているのに、両面でスキャンされない。
- A4. CaptureOnTouch および CapturePerfect 3.0 のどちらの場合も、片面のみをスキャンする設定となっているジョブを使用した場合は、スキャナドライバの設定にかかわらず常に片面のみがスキャンされることに注意してください。
たとえば、CaptureOnTouch の [ジョブの登録] ダイアログボックスの [スキャナの設定] タブで片面スキャンとなるよう設定されている場合、そのジョブでは常に片面のみがスキャンされます。また、CapturePerfect 3.0 の場合は、[スキャン] メニューの [スキャンバッチファイル] などでスキャナドライバの設定をしていても、ジョブでのスキャン時には常にジョブに登録されている設定が適用されます。
ジョブの設定を変更するか、両面スキャン用のジョブを作成してください。
-
- Q5. スキャン画像に白線 / すじが発生する。
- A5. 読み取りガラス (表面と裏面の両方とも) やローラー (ゴムローラー、金属ローラー共に) を清掃してください。糊や修正液など粘着性のある汚れを清掃するときは、線の現れる場所をやや強めに拭いてみてください。清掃後も問題が解決しない場合は、内部ガラスにキズが付いている可能性があります。お買い上げの販売店または担当サービス窓口にお問い合わせください。
-
- Q6. ページが抜ける (足りない)。
- A6. スキャナドライバの [読み取り面] の設定が [白紙スキップ] に設定されていると、黒い部分が少ない原稿が意図せず削除 (スキップ) されることがあります。片面や両面など他の読み取りモードを選択するか、黒点の割合を小さくしてください。原稿の重送が原因でページが抜ける場合の対処については、このあとの [Q7. 原稿が詰まる (または重送する)] を参照してください。
-
- Q7. 原稿が詰まる (または重送する)。
- A7. (1) [リファレンスガイド] の [第 3 章 付録] を参照して、ローラーをスキャナに取り付けてください (出荷時はローラーがスキャナに取り付けられていません。そのまま使用すると正常に給紙できません)。ローラーを取り付けている場合は、正しく取り付けられているかを確認し、必要に応じてローラーを清掃してください。
(2) 原稿が静電気などにより密着すると正常にスキャンできません。よくさばいてからセットしてください。
(3) 給紙切替レバーを「非分離」の位置にセットして、1 枚ずつ手差し給紙でスキャンしてください。
-
- Q8. スキャン画像を JPEG 形式で保存したいのに、TIFF 形式で保存される。
- A8. スキャナドライバの設定で [モード] を [カラー白黒検知] にしてスキャンした場合、白黒と認識された原稿は設定にかかわらず自動的に TIFF 形式で保存されます。これは、JPEG 形式は白黒 2 値画像に対応していないためです。すべて JPEG 形式で保存したい場合は、[モード] を [カラー] または [256 階調グレー] に設定してスキャンしてください。
-
- Q9. スキャン画像が全ページバラバラの複数の文書として保存される。
- A9. ・ CaptureOnTouch では、出力するファイル形式を TIFF または PDF にした場合に、複数ページを 1 つのスキャン画像として保存できます。この場合は、[ファイル形式] を選択した後で [詳細設定] ボタンをクリックし、表示されるダイアログボックスで [全てのページを 1 つのファイルにする] を選択してください。
・ CapturePerfect には、[スキャン] メニューの [スキャンバッチファイル] を選択し、画面下部に「シングルページ / マルチページ (すべてのページ) / マルチページ (指定ページ)」が選択できる項目があります。ここがシングルページに設定されていると、1 ページごとに 1 文書で保存されてしまいます。スキャン画像を 1 つの文書に保存するには、「マルチページ (すべてのページ)」に設定してください。
-
- Q10. 原稿は給紙されたのに、スキャン画像が保存されない。
- A10. スキャナドライバの設定画面で、給紙方法を「パネルで給紙」に設定していると、原稿が給紙されても、それ以降のスキャン動作は、スキャンパネルのスキャンボタンをクリックするまで行われません。
-
- Q11. JPEG 形式や BMP 形式 (PICT 形式) で複数ページのスキャン画像を 1 つのファイルに保存できない。
- A11. JPEG 形式および BMP 形式 (PICT 形式) では、複数ページのスキャン画像を 1 つのファイルに保存できません。TIFF 形式 (または PDF 形式) で保存してください。

2. ソフトウェアの操作で困ったときは

ここでは、付属ソフトウェア (CaptureOnTouch、CapturePerfect) の操作時に起こりうるトラブルとその対処方法を説明します。

スキャンに時間がかかる。

- (1) 他のアプリケーションソフトが起動しているときは、終了させてください。
- (2) システムに常駐するアプリケーション (ウイルス対策ソフトウェアなど) によってシステムのメモリが不足すると、スキャン速度が遅くなります。このような常駐ソフトを終了してからスキャンしてください。
- (3) ハードディスクの空き容量が不足していると、スキャン時に作成される一時ファイル (一時的にスキャンデータを保存したファイル) が作成できません。ハードディスク上のデータを整理して空き容量を確保してください。
- (4) コンピュータの USB ポートが Hi-Speed USB 2.0 に対応していない場合は、スキャン速度が低下します。
- (5) Hi-Speed USB 2.0 に対応していない市販の USB ケーブルを使用している場合は、付属の USB ケーブル (Hi-Speed USB 2.0 対応) に換えてください。
- (6) Hi-Speed USB 2.0 に対応していない USB HUB を経由してスキャナとコンピュータを接続している場合は、USB HUB を取り外し、スキャナとコンピュータを直接接続してください。

保存したスキャン画像が、アプリケーションソフトで開けない。

- (1) スキャン画像をマルチページ TIFF ファイルに保存した場合は、マルチページ TIFF ファイルに対応したアプリケーションソフトが必要です。
- (2) マルチページ TIFF ではない TIFF ファイルに保存した場合でも、TIFF ファイルが圧縮されていると、アプリケーションによっては開けないことがあります。CaptureOnTouch および CapturePerfect の TIFF ファイルの圧縮方式に対応していないアプリケーションソフトを使用した場合に起こります。この場合は画像ファイルの圧縮形式を「なし」にしてスキャンしてください。

CapturePerfect で PDF ファイルが開けない。

キャノン製以外のアプリケーションソフトで作成した pdf ファイルは、CapturePerfect では開けないことがあります。

3. Q & A (役立つヒント集)

ここでは、原稿をスキャンするうえで知っておくと便利なヒントを挙げます。

スキャン画像はどこに保存されますか？ また、保存先を変更することはできますか？

ソフトウェアで指定された下記の場所に保存されます。いずれについても任意のフォルダに変更できます。

CaptureOnTouch

- ・おまかせスキャンの場合は、出力設定画面で指定したフォルダに保存されます。
- ・ジョブ選択スキャンの場合は、ジョブの登録時に [出力設定] タブで指定したフォルダに保存されます。

CapturePerfect

- ・スキャン 1 ページなど通常の操作でスキャンしたときは、スキャンを実行するたびに、スキャン画像の保存先を指定します。
- ・ジョブを登録してスキャンした場合は、ジョブの設定にて指定されたフォルダに保存されます。

スキャン設定をするにはどうすればよいですか？

CaptureOnTouch

- ・おまかせスキャンの場合は、最初のメイン画面で [スキャナの設定] ボタンをクリックし、表示される画面でスキャン設定ができます。
- ・ジョブ選択スキャンの場合は、ジョブの登録時に [スキャナ設定] タブで設定できます。

CapturePerfect

- ・通常のスキャン用には、[スキャン] メニューの [スキャナ設定] をクリックして、スキャナドライバの設定画面を開いて設定します。
- ・ジョブのスキャン設定は、ジョブごとに設定します。

複数のページを 1 つのファイルに保存したり、複数のページを 1 ファイルずつ保存できますか？

スキャン画像のファイル形式が BMP (PICT) または JPEG の場合は、スキャン画像は常に 1 ページごとに 1 ファイルとなります。

スキャン画像のファイル形式が PDF または TIFF の場合は、マルチページとシングルページのどちらで保存するかを指定できます。「1. お問い合わせの多いトラブル」の Q9 も参照してください。

スキャナ設定の内容のコピーやバックアップはできますか？

CaptureOnTouch

環境設定で設定内容をバックアップすると、スキャナ設定の内容もバックアップされます。この後の「CaptureOnTouch の設定内容のコピーやバックアップはできますか？」も参照してください。

CapturePerfect

スキャナ設定の内容のコピーやバックアップはできません。

CaptureOnTouch の設定内容のコピーやバックアップはできますか？

【環境設定】 ボタンをクリックして【環境設定】ダイアログボックスを表示させると、【基本設定】タブの【バックアップ / リストア】で設定内容をバックアップしたり復元できます。

スキャン画像のファイル名はどのようなルールで付けられるのですか？

CaptureOnTouch

スキャン画像のファイル名は、【ファイル名の設定】ダイアログボックスでの設定に従います。このダイアログボックスは、おまかせスキャンの出力設定画面、およびジョブの登録での【出力設定】タブで、【ファイル名の設定】ボタンをクリックすると表示されます。このダイアログボックスにある、次の 3 つの設定項目の一部またはすべてを設定することで、スキャン画像のファイル名が決まります。

設定項目	説明
ファイル名	ファイル名に付加する任意の文字列を指定できます。
日時を付加する	ファイル名に日時を付加します。リストボックスで日時の記述順を選択します。「YYYY」が年、「MM」が月、「DD」が日を表します。どの記述順を選択しても、末尾に時刻が付加されます。
ファイル名に連番を付ける	スキャン画像のページの保存順に連番を付けます。連番の桁数と開始番号を指定します。

【ファイル名の設定】ダイアログボックスの【ファイル名】には、ファイル名の設定の例が表示されます。

半折りスキャンをするにはどうすればよいですか？

原稿を 2 つに折り、折り目を右側にしてスキャナにセットします。スキャナ設定で原稿の半分のサイズ（2 つ折りにしたときの大きさ）を指定してスキャンします。詳細は 25 ページを参照してください。

白紙のページを飛ばして、白紙でないページだけをスキャンすることはできますか？

スキャナドライバの設定画面で【白紙をスキップする】を指定してスキャンします。

カードをスキャンするにはどうすればよいですか？

カードを横向きにしてスキャナにセットします。スキャナ設定でカードのサイズと同じサイズ（または自動検知）を指定してスキャンします。詳細は 24 ページを参照してください。

一度スキャンしたファイルにページを追加したり挿入したりできますか？

CapturePerfect には、スキャン画像にページを追加、挿入する機能があります。詳細は CapturePerfect の操作ガイドを参照してください。

CapturePerfect の OCR 結果を Excel や Word に貼り付けるにはどうすればよいですか？

CapturePerfect で OCR 認識を有効にしてスキャンした後で、【編集】メニューの【バーコード / OCR の修正】をクリックして【バーコード / OCR の修正】ダイアログボックスを開くと、【OCR / 文字列】ボックス内のテキストをコピーできます。または、OCR 認識を有効にしてスキャンした PDF ファイルを Acrobat などのアプリケーションで開いて、必要なテキストをコピーしてください。

サイズの違う原稿を混載してスキャンするにはどうすればよいですか？

スキャナドライバの設定画面で【用紙サイズ】を「自動検知」にしてスキャンします。詳細は 31 ページを参照してください。

名刺や写真を上手にスキャンするコツを教えてください。

スキャナドライバの設定画面で【用紙サイズ】を「自動検知」にしてスキャンします。または、スキャンする名刺や写真と同じサイズを登録してスキャンします。詳細は 60 ページを参照してください。

スキャンしたデータを印刷したい。

CaptureOnTouch

- ・おまかせスキャンの場合は、出力方法選択画面で [印刷する] を選択します。
- ・ジョブ選択スキャンの場合は、ジョブの登録時に [出力方法] で「印刷」を選択します。

CapturePerfect

スキャンパッチプリントでスキャンします。または、出力先をプリンタにしてジョブに登録します。

スキャンしたデータを共有フォルダに保存したい。

CaptureOnTouch

- ・おまかせスキャンの場合は、出力方法選択画面で [フォルダに保存する] を選択し、出力設定画面で共有フォルダを保存先に指定します。
- ・ジョブ選択スキャンの場合は、ジョブの登録時に [出力方法] で「ファイル保存」を選択し、[出力設定] タブで共有フォルダを保存先に指定します。

CapturePerfect

スキャンパッチファイル (またはスキャン 1 ページ) でスキャンします。または、出力先をファイルにし、共有フォルダを保存先としてジョブに登録します。

スキャンしたデータをメールに添付させたい (またはメール送信したい)。

CaptureOnTouch

- ・おまかせスキャンの場合は、出力方法選択画面で [メール添付] を選択します。
- ・ジョブ選択スキャンの場合は、ジョブの登録時に [出力方法] で「メール添付」を選択します。

CapturePerfect

スキャンパッチメールでスキャンします。または、出力先をメールにしてジョブに登録します。

4. ソフトウェアをアンインストールする

ISIS/TWAIN ドライバ、ジョブ登録ツール、CapturePerfect が正常に動作しないようなときは、以下の手順でソフトウェアをアンインストールしてください。そして、DR-3010C セットアップディスクを使ってソフトウェアを再インストールしてください。(→ P.14 「ソフトウェアのインストール」)



お願い

Administrator 権限のアカウントでログオンしてください。

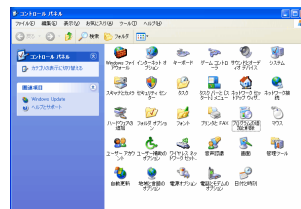
1

[スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。

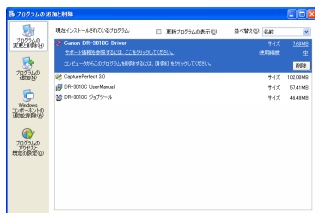


2

[プログラムの追加と削除] をクリックします。



[プログラムの追加と削除] ダイアログボックスが表示されます。



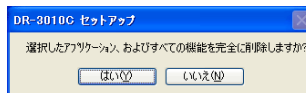
ISIS/TWAIN ドライバ / CaptureOnTouch / ジョブ登録ツールのアンインストール

- 1 プログラムの一覧から、[Canon DR-3010C Driver] (または [DR-3010C CaptureOnTouch] / [DR-3010C ジョブツール]) をクリックし、[削除] をクリックします。



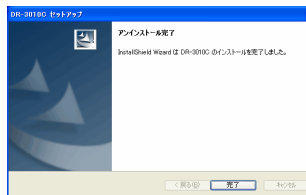
メモ
[DR-3010C ジョブツール] をクリックしたときは、[変更と削除] をクリックします。

- 2 [DR-3010C セットアップ] ダイアログボックスの [はい] をクリックします。



メモ
ジョブ登録ツールを削除するときは、[ファイル削除の確認] ダイアログボックスの [はい] をクリックします。

- 3 [完了] をクリックします。



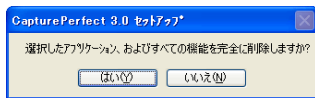
メモ
ジョブ登録ツールを削除するときは、[共有ファイルを削除しますか?] ダイアログボックスの [すべてはい] をクリックし、[はい] をクリックします。アンインストールが完了したら、[OK] をクリックします。

CapturePerfect 3.0 のアンインストール

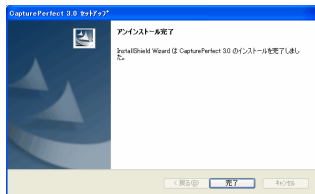
- 1 プログラムの一覧から、[CapturePerfect 3.0] をクリックし、[削除] をクリックします。



- 2 [CapturePerfect 3.0 セットアップ] ダイアログボックスの [はい] をクリックします。



- 3 [完了] をクリックします。

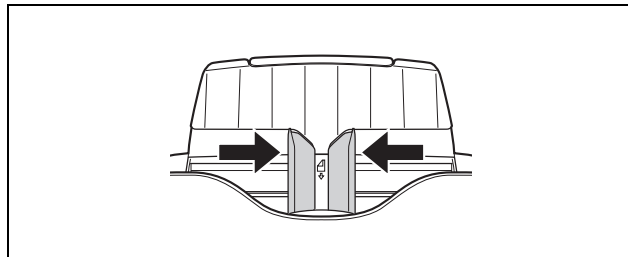


5. 給紙トレイの取り外し

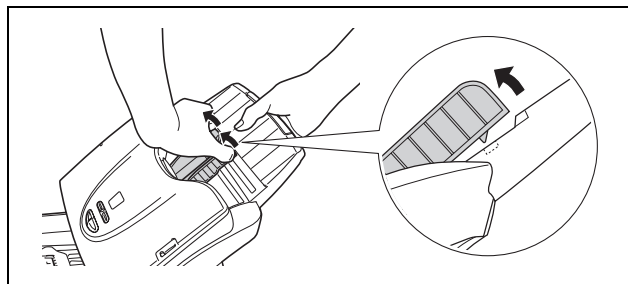
給紙トレイを取り付けた状態では、本機を購入時の梱包箱に収納することができません。

本機を修理や保管のために梱包箱に収納するときは、以降の手順に従って給紙トレイを取り外してください。

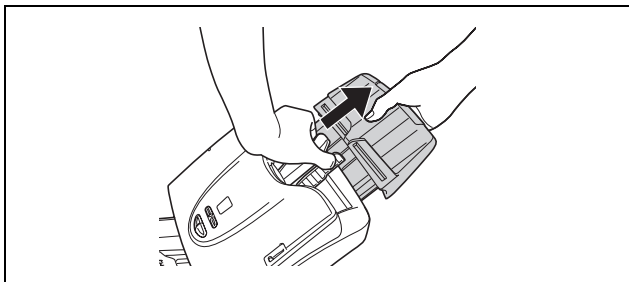
- 1 原稿ガイドを中央に寄せます。



- 2 給紙トレイを押さえながら両方の原稿ガイドを持ち上げ、原稿ガイドの裏にある爪を給紙トレイの溝から外します。



- 3 原稿ガイドの裏にある爪を給紙トレイの溝から外した状態で、給紙トレイを引き抜いて取り外します。



第9章 付録

仕様.....	97
仕様.....	97
交換部品.....	98
外形寸法図.....	99
保証とアフターサービス.....	99
修理受付窓口.....	100
サービス&サポートのご案内.....	101
保守サービスのご案内.....	102
アドビシステムズ社製品について.....	103

仕様

仕様

本体

形式	卓上型シートスルースキャナ
読み取り原稿サイズ	
普通紙	
サイズ	幅 : 50 ~ 216mm 長さ : 53.9 ~ 356mm*
紙厚 (分離給紙の場合)	52 ~ 209g/m ² (0.06 ~ 0.25mm)
紙厚 (非分離給紙の場合)	40 ~ 209g/m ² (0.05 ~ 0.25mm)
	* スキャナ本体の設定を長尺モードに設定することにより、最大 1,000mm までの原稿をスキャンすることができます。(→ P.36 「長尺モードの設定」)
名刺	
サイズ	幅 50mm × 長さ 53.9mm 以上
紙厚	300g/m ² (0.35mm) 以下
カード	
サイズ	53.9mm × 85.5mm (ISO7810/JIS 規格準拠)
カード厚	0.76mm 以下
挿入方向	横送りのみ
エンボス付き	可能
給紙方法	自動
読み取りセンサ	コンタクトイメージセンサ
光源	LED
読み取り面	片面 / 両面
読み取りモード	白黒、誤差拡散、256 階調グレースケール、アドバンスドテキストエンハンスメント、アドバンスドテキストエンハンスメントII、24 ビットカラー
読み取り解像度 (主走査×副走査)	100×100dpi/150×150dpi/200×200dpi 240×240dpi/300×300dpi/400×400dpi 600×600dpi
読み取り速度 (条件 : CPU Pentium4 3.2GHz、実装メモリ 1GB、原稿サイズ A4)	
白黒 片面	200 × 200dpi 30 枚 / 分
300 × 300dpi	30 枚 / 分
両面	200 × 200dpi 60 面 / 分
300 × 300dpi	60 面 / 分
グレースケール 片面	200 × 200dpi 30 枚 / 分
300 × 300dpi	30 枚 / 分

	両面	200 × 200dpi	60 面 / 分
		300 × 300dpi	60 面 / 分
24ビットカラー	片面	100 × 100dpi	30 枚 / 分
		200 × 200dpi	30 枚 / 分
	両面	100 × 100dpi	60 面 / 分
		200 × 200dpi	60 面 / 分
インターフェース		Hi-Speed USB 2.0	
その他の機能		自動原稿厚調整、半折りスキャン	
外形寸法		310 (幅) × 292 (奥行き) × 197 (高さ) mm	
質量 (AC アダプタを除く)		約 2.9kg	
電源 (AC アダプタ使用)		DC16V 1.0A	
消費電力		動作時 : 16.5W 以下	
		スリープモード : 3.7W 以下	
		電源スイッチ OFF 時 : 0.5W 以下	
騒音		66dB 以下	
使用環境		温度 : 10 °C ~ 32.5 °C	
		湿度 : 20 ~ 80% (RH)	

AC アダプタ (100 ~ 240V 型)

型番	MG1-4315
入力	AC100 ~ 240V 50/60Hz 65VA ~ 82VA
出力	DC16V 1.8A
質量	約 0.3kg (電源コード含む)

交換部品

交換ローラーキット (商品コード: 3335B001AA)

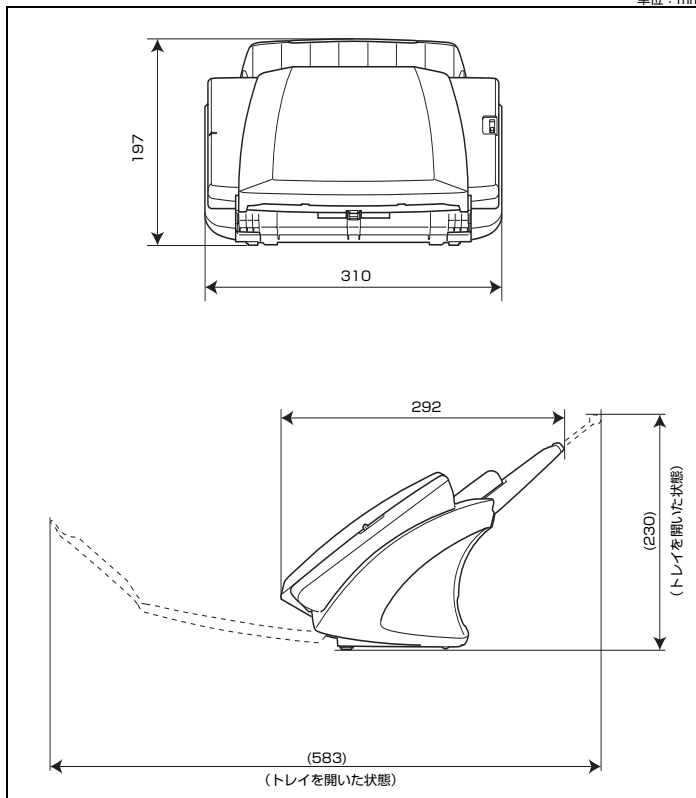
搬送ローラー (フィードローラー、リタードローラー、原稿押えガイド) の交換キットです。

- ローラーの交換については、P.83「フィードローラーの取り外し / 取り付け」、P.85「リタードローラーの取り外し / 取り付け」を参照してください。
- 原稿押えガイドの交換については、P.87「原稿押えガイドの取り外し / 取り付け」を参照してください。
- 交換部品についての詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

製品改良のため仕様は予告なく変更することがあります。

外形寸法図

単位：mm



保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はご購入日より1年間です。

■修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店または次ページに記載されているサービス窓口へご相談ください。

■修理を依頼される前に

89ページの「1. お問い合わせの多いトラブル」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときに、ご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後5年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

■給紙トレイについて

修理の際の輸送に購入時の梱包箱を使用するときは、給紙トレイを取り外してください。給紙トレイの取り外しについては、95ページの「5. 給紙トレイの取り外し」を参照してください。

修理受付窓口

保証内容や修理についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または、下記のキヤノンサービスセンターへお問い合わせください。下記、修理受付窓口の受付時間は、9:00AM ~ 5:30PM です。土曜、日曜、祝祭日は休まさせていただきます。(ただし、サービスセンター上野、サービスセンター新宿の営業時間は、10:00AM ~ 6:00PM、休業日は日曜、祝祭日です。)また、※印の QR センター、サービスセンターでは、郵送・宅配による修理品もお取扱いを致しております。
お願い：DR-3010C のお取扱い方法のお問い合わせは、必ず販売店または「お客様相談センター」あてにご連絡ください。

北海道地区

※サービスセンター札幌

TEL 011-207-2411

〒0600003 北海道札幌市中央区北3条西4-1-1 日本生命札幌ビル
高層棟 1F

東北地区

※サービスセンター仙台

TEL 022-217-3210

〒9808560 宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビルデン
ク 1F

関東・信越地区

サービスセンター上野

TEL 03-3837-2961

〒1100005 東京都台東区上野 1-1-12 信井ビル 1F

サービスセンター新宿

TEL 03-3348-4725

〒1630401 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 1F

サービスセンター横浜

TEL 045-312-0211

〒2200004 神奈川県横浜市西区北幸 2-6-26 HI 横浜ビル 2F

東日本修理センター

TEL 043-211-9032

〒2618711 千葉県千葉市美浜区中瀬 1-7-2 キヤノン MJ 幕張事業
所 1F

※キヤノンテクニカルセンター（郵送・宅配のみ）

TEL 0297-35-5000

〒3060605 茨城県坂東市馬立（マタテ）1234 F7 棟 3F

中部・北陸地区

※サービスセンター名古屋

TEL 052-209-6000

〒4600003 愛知県名古屋市中区綿 1-11-11 名古屋インターシ
ティ 2F

近畿地区

※サービスセンター大阪中之島

TEL 06-6459-2565

〒5300005 大阪府大阪市北区中之島 6-1-21 キヤノンビジネスサ
ポート中之島ビル 2F

中国・四国地区

サービスセンター広島

TEL 082-240-6712

〒7300051 広島県広島市中区大手町 3-7-5 広島パークビル 1F

九州地区

※サービスセンター福岡

TEL 092-411-4173

〒8120017 福岡県福岡市博多区美野島 1-2-1 キヤノン MJ 福岡ビ
ル 1F

2010年3月23日現在 上記の内容は、都合により予告なく変更する
場合がございますのでご了承ください。

サービス&サポートのご案内

- お客様相談センター
取扱い方法および修理に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター
全国共通電話番号



050-555-90072

受付時間： <平日> 9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00
(土日祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。)

※上記番号は 050 から始まる IP 電話（株式会社エヌ・ティ・ティ・エムイー (NTT-ME) の XePhion Call Direct）を利用しています。NTT の固定電話（一般回線）から地域・時間帯にかかわらず同一通話料金（10.4 円 / 3 分）でご利用になれます。

※携帯電話・PHS をご利用の場合、ご契約先携帯電話事業者の定める通話料金となります。詳しくはご契約の携帯電話事業者にお問い合わせください。尚、一部の PHS からはご利用いただけませんのでご了承ください。

※お客さまが 050 から始まる IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。IP 電話からのご利用は、IP 電話事業者間の接続状況によります。NTT-ME の XePhion Call Direct の上記番号との通話（接続）可否については、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。IP 電話からつながらない場合の事象（話中音、アナウンス、ブザー音など）はプロバイダーによって異なります。また、IP 電話の相互通話であっても上記番号との通話料金はプロバイダーによって異なります。詳しくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

※上記番号におかけになってもつながらない場合は、NTT の固定電話（一般回線）からおかけいただくか、043-211-9156 におかけくださいますようお願いいたします。

※お客様相談センターの詳細につきましてはキャノンホームページ (<http://cweb.canon.jp/e-support/rc/>) をご参照ください。

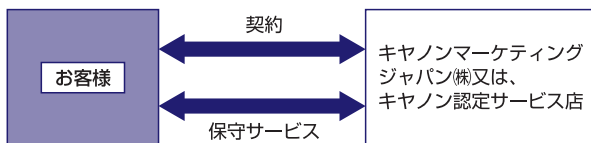
- 消耗品の入手方法
消耗品はお買い上げ頂いた販売店、お近くのキャノン製品取扱店およびキャノンマーケティングジャパン（株）販売窓口にてご購入ください。尚、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。
- キャノンホームページ <http://canon.jp/>
※<http://canon.jp/support> では、製品情報、最新ドライバのダウンロード、QA 検索などの情報が掲載されています。是非ご利用ください。
※ホームページのレイアウトは、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
※通信料はお客様のご負担になります。

保守サービスのご案内

- ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために
このたびはドキュメントスキャナをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくドキュメントスキャナの無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キヤノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行ないます。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

キヤノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するサービスです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）



- 精密機器だからこそ保守契約が必要です
ご購入いただきました機器は精密機器です。万一、思いがけないトラブルが発生した場合、時間的なロスだけでなく、予期せぬ出費が発生します。そこで、トラブルが起こってからではなく、事前に一定の料金をお支払いいただくことで、ご愛用の機器の修理に備えるのがキヤノンの保守契約制度です。

キヤノン保守契約制度のメリット

- 都度の修理料金は不要
保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。
- 保守点検の実施
お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

※天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。
※消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります。

購入時契約のおすすめ

ご愛用品は原則として保守契約に加入してご使用願うことになっております。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度で済み便利です。キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いします。

アドビシステムズ社製品について

この製品には「Adobe Acrobat」がバンドルされています。「Adobe Acrobat」のインストールおよびサポートについては、以下をご参照ください。

■インストール

Adobe Acrobat DVDをDVD-ROMドライブに挿入し、Adobe Acrobatをインストールして使用します。

DVDからAcrobatソフトウェアを直接起動し、実行することはできません。画面に表示される指示に従ってインストールします。詳細についてはDVDに収納されているHow To Installファイルをご覧ください。なお、インストールの際にはAdobe Acrobat DVDが収納されているソフトウェアケースに記載されているシリアル番号が必要になりますので、シリアル番号の控えを手元に保管、管理していただくようお願い致します。

■アドビ製品のサポートについて

本製品にバンドルされておりますアドビ製品 Adobe Acrobat のサポートについては、オンラインで提供されている無償のサービス&サポートデータベースやアドビユーザフォーラム、お電話での有償サポートをご利用いただけます。

サポートの内容について

1. インターネット（アドビホームページ）からの技術情報提供

- 営業時間： 年中無休（メンテナンス期間を除く）
サポート料金： 無料
サポート内容： 以下の Web サイトよりサポート、技術情報やFAQの検索ができます。
<http://www.adobe.com/jp/support/acrobat/>

2. 製品テクニカルサポート

アドビ製品 Adobe Acrobat についての技術的なご質問に関するサポートは、有償サポートを通してのみご利用いただけます。有償テクニカルサポートプログラムのお申込み、契約内容については以下の Web ページをご覧ください。

Adobe- サポートプログラム

<http://www.adobe.com/jp/support/programs/>
最新のサポート情報につきましては、以下のサポートページをご覧ください。
<http://www.adobe.com/jp/support/>

■アドビ製品のユーザ登録について

アドビ製品の情報をいち早く入手するために、ユーザ登録をお勧めします。シリアル番号は、お客様のライセンスを特定する個別の番号で非常に重要なものです。

ユーザ登録は以下の方法で行うことができます。

1. 製品インストール時に表示されるユーザ登録画面から登録できます（インターネット環境が必要です）。
2. アドビのホームページからオンライン登録します。
<http://www.adobe.com/jp/register>

アドビのプライバシーポリシーについては、
<http://www.adobe.com/jp/misc/privacy.html>
をご覧ください。

■ライセンス認証について

アドビ製品を使用するには、正規にご購入いただいたお客様の使用権利を守るため、「ライセンス認証」という簡単な手続きが必要です。「ライセンス認証」は、インターネットまたは電話（自動応答）で24時間いつでも行うことができます。

詳しくは、下記の Web ページをご覧ください。

製品ライセンス認証センター

<http://www.adobe.com/jp/activation/>

その他

上記情報は、アドビの都合により変更される場合がありますので、適宜、アドビのホームページによりご確認くださいませようお願い申し上げます。

（本ドキュメントの内容は2008年1月現在のものです）

以上

索引

英数字	
AC アダプタ.....	7
CaptureOnTouch.....	38
おまかせスキャン.....	44
環境設定.....	50
出力方法.....	42
ジョブ選択スキャン.....	46, 48
ジョブの登録と編集.....	46
スキャナ設定.....	40
CapturePerfect 3.0.....	13, 26
操作手順.....	52
DR-3010C ドライバ.....	13
DR-3010C モニター.....	29
ISIS/TWAIN ドライバ設定ダイアログボックス.....	53
赤色を強調する.....	65
明るさ / コントラストの調整.....	61
裏写り / 原稿の地色の除去.....	64
画像の回転.....	63
画像の輪郭の調整.....	63
カラー / 白黒原稿の自動検知.....	55
ガンマカーブの設定.....	62
給紙オプションについて.....	67
原稿の重送検知.....	66
特定の色を読み飛ばす.....	65
斜めに読み取られた画像の補正.....	58
バージョンの確認.....	69
プレスキャン.....	68
モアレ（縞模様）の除去.....	59
文字向き検知.....	64
用紙サイズの設定.....	56
読み取り条件の登録.....	69
読み取り中断時の処理の設定.....	66
読み取り面の設定.....	57
読み取りモードの設定.....	54
読み取り領域の調整.....	59
読み取る解像度の設定.....	57
ISIS ドライバ.....	59
OPEN レバー.....	10
TWAIN ドライバ.....	60
USB コネクタ.....	10
USB 連動スイッチ.....	8
ア行	
アドビシステムズ社製品について.....	103
アプリケーション起動の設定.....	75
お問い合わせの多いトラブル.....	89
オペレーティングシステム.....	12
おまかせインストール.....	14
おまかせスキャン.....	44
カ行	
カードのセット.....	24
外形寸法図.....	99
カウンタ.....	87
各部の名称.....	10
紙づまり.....	34
給紙切替レバー.....	11
給紙口.....	10
給紙トレイ.....	10
原稿押えガイド.....	87
取り付け.....	87
取り外し.....	87
原稿ガイド.....	10
原稿について.....	19
原稿のセット.....	22
ケンジントン.....	10
交換部品.....	98
こんなときは.....	33
コンピュータと接続する.....	17
サ行	
サービス.....	101
サポート.....	101
重送検知.....	66
修理受付窓口.....	100
仕様.....	97
ジョブ機能.....	28
ジョブスキャン (CaptureOnTouch).....	46, 48
ジョブ登録ツール.....	70
スキャナの移動.....	7
スキャナの準備.....	21
給紙トレイ.....	21
排紙ストッパー.....	21

補助トレイ	21
スキャンパネル	29
スキャン方法	26
スタートキー	10
ストップキー	10
清掃	
原稿押えガイド	82
本体	80
読み取りガラス	81
ローラー	81
積載制限マーク	22
設置場所	6
セットアップディスク	13
選んでインストール	14
おまかせインストール	14
マニュアルを読む	14
操作パネル	10
ソフトウェア	
アンインストール	93
インストール	13
タ行	
長尺モード	36
電源コネクタ	10
電源スイッチ	10
電源ランプ	10
動作環境	12
特長	8
ナ行	
日常のお手入れ	80
日常の取り扱い	7
ハ行	
廃棄	8
排紙口	10
排紙トレイ	10
はじめに	3
バッチ区切り	67
半折り	25
非分離給紙	23
表示パネル	10

フィードローラー	
取り付け	84
取り外し	83
プラスキー	10
分離給紙	22
保守サービス	
キヤノン保守契約制度	102
保守サービスのご案内	102
保証とアフターサービス	99
補助トレイ	10
本機の認識	18

マ行

マイナスキー	10
前ユニット	10
目的別にスキャンする	30
A3 サイズの原稿 (片面) をスキャンする	31
PDF ファイルにセキュリティを設定する	33
薄い原稿や裏面の濃い原稿の裏写りを低減する	32
画像の傾きを補正してスキャンする	32
カラー / 白黒が混在した原稿をスキャンする	30
原稿の裏面などの白紙面を読み飛ばす	31
原稿のテキストデータを検索キーワードとして残す	33
原稿の文字を鮮明にする	30
サイズが異なる原稿を混在でスキャンする	31
サイズが小さいファイルを作成する	33
指定した色 (赤・青・緑) の枠線や罫線を削除する	32
白黒スキャンでの印影を鮮明にする	32
モアレ (縞模様) を除去する	32
文字方向が異なる原稿を修正してスキャンする	32

ラ行

リタードローラー	
取り付け	86
取り外し	85
ローラー交換	
カウンタのリセット	87
交換時期	83